

官報 號外

明治二十九年三月二十五日 水曜日

内閣官報局

○第九回 帝國議會 貴族院議事速記錄第四十一號
明治二十九年三月二十四日(火曜日)午前十時五十四分開議

議事日程 第四十一號 明治二十九年三月二十四日
午前十時開議

第一 牛馬賣買免許稅規則其ノ他廢止法 法律案(政府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第二 醬油稅則中改正法律案(政府提出 衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第三 河川法案(政府提出衆議院送付) 裁判所ノ設立及位置並管轄區域 變更ニ關スル法律案(政府提出衆 議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第四 河川法案(政府提出衆議院送付) 會計檢查院法中改正法律案(政府 提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第五 會計檢查官總戒法案(政府提出) 馬匹ノ調査及検査ニ關スル法律案 (政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第六 會計檢查官退官ニ關スル法律案 (政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第七 會計檢查官退官ニ關スル法律案 (政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第八 會計檢查官退官ニ關スル法律案 (政府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第九 銀行合併法案(政府提出衆議院送 付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十 大阪府下郡廢置法律案(政府提 出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十一 兵庫縣下郡廢置及郡界變更法律 案(政府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十二 埼玉縣下國界變更及郡廢置法律 案(政府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十三 群馬縣下郡廢置及郡界變更法律 案(政府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十四 千葉縣下郡廢置法律案(政府提 出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十五 茨城縣下郡廢置及郡界變更法律 案(政府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十六 栃木縣下郡廢置法律案(政府提 出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十七 福島縣下郡廢置法律案(政府提 出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)

第十八 岐手縣下郡廢置及郡界變更法律 案(政府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十九 富山縣下郡分離及廢置法律案 (政府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第二十 熊本縣下郡廢置法律案(政府提 出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第二十一 鹿兒島縣下國界並郡界變更及 郡廢置法律案(政府提出衆議 院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第二十二 岡山縣兵庫縣境界變更並福岡 縣大分縣境界變更法律案(政 府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第二十三 鹿兒島縣下國界並郡界變更及 郡廢置法律案(政府提出衆議 院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第二十四 奈良縣下郡廢置法律案(政府 提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第二十五 三重縣下郡廢置法律案(政 府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第二十六 滋賀縣下郡界變更及郡廢置法 律案(政府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第二十七 静岡縣下郡廢置法律案(政府 提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第二十八 島根縣下郡廢置法律案(政府 提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第二十九 岐阜縣下郡廢置及郡界變更法 律案(政府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第三十 愛媛縣下郡廢置法律案(政府 提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第三十一 東京府下郡廢置法律案(政府提出衆 議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員)
第三十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 香川縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院 送付)	第一讀會
第三十三 葉烟草專賣資金會計法案(政府提出衆議院 送付)	第一讀會
第三十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第三十五 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可 關スル法律案(甲)(政府提出衆議院送付)	第一讀會
第三十六 第三十七 第三十八	第一讀會

第三十九

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ
關スル法律案(乙)(政府提出衆議院送付)

第一讀會

第四十

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第四十一

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ
關スル法律案(丙)(政府提出衆議院送付)

第一讀會

第四十二

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第四十三

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ
關スル法律案(丁)(政府提出衆議院送付)

第一讀會

第四十四

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第四十五

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ
關スル法律案(戊)(政府提出衆議院送付)

第一讀會

第四十六

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第四十七

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ
關スル法律案(己)(政府提出衆議院送付)

第一讀會

第四十八

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第四十九

鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第五十

集會及政社法中刪除法律案(衆議院提出)

第一讀會

第五十一

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第五十二

輸入羊毛海關稅免除法律案(衆議院提出)

第一讀會

第五十三

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第五十四

神祇ニ關スル官衙設置ノ建議案(丸山作樂君外一名發議)

第一讀會

第五十五

國勢調査ニ關スル建議案(船越篤君外一會議)

第一讀會

第五十六

農商工會設置ニ關スル建議案(前田正名會議)

第一讀會

第五十七

君發議)

第一讀會

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨二十三日本院ニ於テ可決ニ爲リマシタル政府提出、民法中修正案、營業稅法案、葉煙草專賣法案、烟草稅則中改正法律案、酒造稅法案、自家用酒稅法案、混成酒稅法案、沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案、明治十九年勅令第六十一號稅率改正法律案、登錄稅法案、事業公債條例案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院へ通知致シマシテゴザイマス、同日衆議院ヨリ明治二十八年度歲入歲出總額算追加案(辛)號、明治二十八年度特別會計歲入歲出豫算追加案(丙)號、明治二十九年度歲入歲出豫算追加案(乙)號、同(丙)號、同(乙)號、同(庚)號、同(辛)號、同(壬)號、明治二十九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(甲)號、明治二十九年度特別會計歲入歲出豫算追加案(乙)號、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件是ダケヲ領收致シマシテゴザイマス、是ヨリ會議ヲ開キマスガ、本日ノ議事日程ニ移リマスル前唯今御報告ニ及ビマシタル豫算ノ各案デアリマスルガ是ノ審查期限ヲ定ムルノ件ヲ議事日程ヲ變更シテ第一ニ

議シタイト存シマスノデ別ニ御異議ハゴザイマスマ
(「異議ナシト呼フ者多シ」)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ別ニ御異議ナシト認メマシテ議事日程ヲ變更シテ第一ニ豫算審査期限ヲ定ムルノ件ヲ議シマス

○公爵近衛篤麿君 右ノ豫算ノ期限ハ明後日ノ午前十時マデニ審査ヲ終リマシテ明後日ノ午前十時マデニ報告ヲスルト云フコトニ致シタイト思ヒマス

○子爵岡部長職君 贊成

○子爵岡部長職君 贊成

○子爵保君 贊成ヲ致シマス

○子爵岡部長職君 贊成

○子爵近衛篤麿君 右ノ豫算ノ期限ハ明後日ノ午前十時マデニ審査ヲ終リマシテ此發議ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、然ラバ審査期限ハ明後日ノ午前十時ト極リマシタ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、然ラバ審査期限ハ明後日ノ午前十時ト極リマシタ

○子爵岡部長職君 贊成

○子爵岡部長職君 贊成

○子爵保君 贊成ヲ致シマス

○子爵保君 贊成

同法案ノ特別委員選舉ノ日程ガ掲載ニ相成テ居リマスルガ會期モ實ニ切迫致シテ居ルコトデアリマスカラシテ先づ此法案ヲ特別委員ニ付託シタイト存ジマス、依リマシテ日程第三十一東京府下郡廢置法律案ヨリ第四十七豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案此諸案ヲ特別委員ニ付託スルコトノ動議ヲ提出致シマス合セマシテ第五十一、郡制改正法律案竝ニ第五十三、輸入羊毛海關稅免除法律案、此二案ノ特別委員付託モ共ニ議事日程ヲ變更シテ第一ニ議セラル、コトニ致シタイト存シマス、是ダケヲ發議致シマス

○子爵曾我祐準君 贊成ヲ致シマス

○小原重哉君 贊成

○子爵小笠原壽長君 贊成

○澤簡德君 贊成

○子爵板倉勝達君 贊成

○森山茂君 贊成

○子爵鍋島直彬君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 岡部子爵ノ動議ハ即チ東京府下郡廢置法律案ト云フ所ヨリ豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル諸案ノ終マデ、及衆議院提出ノ二ツノ案ト是ダケヲ總テ引上げテ他ノ案ヨリ先ニ議スルト云フコトデゴザリマス、此動議ノ決ヲ採リマス

○田中芳男君 一寸岡部子爵ニ伺ヒマスガ、政府案ヲ議事日程ヲ變更シテ第

一二議スルト云フコトハ御尤ノ事ニアリマスカラ本員モ贊成致シマス積ニアリマスガ、衆議院送付ノモノモ矢張同シヤウニ政府案ヨリ先ニ議サウト云フ

スウ云フ御見込ナノデゴザイマスカ

○子爵岡部長職君 唯今本員ガ發議致シマシタコトハ第五十一竝第五十三ノ

兩案ハ衆議院提出デアリマスガ共ニ一讀會ニ上ツテ速ニ委員ニ付託スベキモ

ノデアリマスカラシテ是モ共ニ線上ゲテ委員ニ付託ダケハ致シタイト云フ考

デゴザイマス

提出、民法中修正案、營業稅法案、葉煙草專賣法案、烟草稅則中改正法律案、酒造稅法案、自家用酒稅法案、混成酒稅法案、沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案、明治十九年勅令第六十一號稅率改正法律案、登錄稅法案、事業公債條例案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院へ通知致シマシテゴザイマス、同日衆議院ヨリ明治二十八年度歲入歲出豫算追加案(辛)號、明治二十八年度特別會計歲入歲出豫算追加案(丙)號、同(乙)號、同(庚)號、同(辛)號、同(壬)號、明治二十九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(甲)號、明治二十九年度特別會計歲入歲出豫算追加案(乙)號、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件是ダケヲ領收致シマシテゴザイマス、是ヨリ會議ヲ開キマスガ、本日ノ議事日程ニ移リマスル前唯今御報告ニ及ビマシタル豫算ノ各案デアリマスルガ是ノ審查期限ヲ定ムルノ件ヲ議事日程ヲ變更シテ第一ニ

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 岡部子爵ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザリマス、然ルニ郡制改正法律案ト輸入羊毛海關稅免除法律案ハ衆議院提出デアリマスニ依テ政府ノ同意ヲ求メ

ネバナリマセヌ同意ヲ求メマス

○公爵近衛篤麿君 棉花輸入稅ノ委員會ヲ開クコトニナツテ居リマスガ退席致シマシテ宜シウゴザイマスカ

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 差支ナイト存ジマス別段御異議ガナケレバ宣シ

ウゴザイマス、……政府ノ同意ヲ得マシテゴザリマス

○子爵岡部長職君 唯今議事日程ヲ變更シマシテ議サウト云フ諸案ハ一括シテ問題ニ供セラレンコトヲ希望致シマス、而シテソレガ成立チマシタ以上ハ特別委員ノ選舉ニ移リマシテ別ニ發議ヲ致シマス心得デ居リマス

○子爵曾我祐準君 賛成ヲ致シマス

○松本鼎君 賛成

○子爵五條爲榮君 賛成

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 是ハ別ニ決議ヲ採ルニ及ビマスマイ一括シテス

ルト云フコトニ御異議ガナケレバ其事ニ致シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

然ラバ東京府下郡廢置法律案、香川縣下郡廢置法律案、葉烟草專賣資金會計法案、豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案是ガ六ツゴザリマス、ソレニ郡制改正法律案、輸入羊毛海關稅免除法律案是ダケヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマス

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕

東京府武藏國南豐島郡及東多摩郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ南豐島郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

香川縣下郡廢置法律案

香川縣下郡廢置法律案ニ於テ大川郡ヲ置ク

香川縣下郡廢置法律案ニ於テ木田郡ヲ置ク

香川縣下郡廢置法律案ニ於テ鶴足郡ヲ置ク

香川縣下郡廢置法律案ニ於テ仲多度郡ヲ置ク

此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

葉烟草專賣資金會計法

第一條 葉烟草專賣資金會計法ニ依リ政府ニ於テ收納スル葉烟草賠償ノ爲メ葉烟草

第二條 專賣資金ヲ置キ特別會計ヲ設置ス

度一般ノ歲入ニ編入シ資金ハ翌年度ニ繰越スヘシ

第三條 政府ハ毎年葉烟草專賣資金特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入

第四條 歲出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘシ

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(甲)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一 山梨縣下甲府ヨリ靜岡縣下岩淵ニ至ル鐵道

一 東京府下上野ヨリ千葉縣下千葉佐倉ヲ經テ銚子ニ至ル鐵道ヨリ分岐シテ木更津ニ至ル鐵道線中千葉縣下曾我町ヨリ木更津ニ至ル鐵道

一 京都府下舞鶴ヨリ福井縣下小濱ヲ經テ敦賀ニ至ル鐵道

一 兵庫縣下姫路ヨリ生野若ハ筆山ヲ經テ京都府下舞鶴又ハ國部ニ至ル鐵道線中兵庫縣下姫路ヨリ笛山ヲ經テ京都府下園部ニ至ル鐵道

一 香川縣下多度津ヨリ愛媛縣下今治ヲ經テ松山ニ至ル鐵道

一 福岡縣下小倉ヨリ大分縣下大分、宮崎縣下宮崎ヲ經テ鹿兒島縣下鹿兒島ニ至ル鐵道中大分縣下柳ヶ浦ヨリ大分ニ至ル鐵道

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(乙)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一 宮城縣下石ノ巻ヨリ小午田ヲ經テ山形縣下船形町ニ至ル鐵道線中宮城縣下石ノ巻ヨリ同縣下溫泉村鐵治屋澤ニ至ル鐵道

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ本線路ノ全部ヲ敷設スルノ必要ヲ認ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之カ敷設ヲ爲サ、ルトキハ其ノ建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當ノ條件ヲ付スヘシ

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(丙)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一 京都府下舞鶴ヨリ兵庫縣下豐岡、鳥取縣下鳥取、島根縣下松江、濱田ヲ經テ山口縣下山口近傍ニ至ル鐵道線中兵庫縣下和田山ヨリ湯島ニ至ル鐵道

政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ兵庫縣下和田山ヨリ鳥取縣下鳥取ニ至ル豫定鐵道線路ノ全部ヲ敷設スルノ必要ヲ認ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之カ敷設ヲ爲サ、ルトキハ其ノ建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當ノ條件ヲ付スヘシ

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(丁)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一 京都府下舞鶴ヨリ兵庫縣下豐岡、鳥取縣下鳥取、島根縣下松江、濱田ヲ經テ山口縣下山口近傍ニ至ル鐵道線中兵庫縣下和田山ヨリ島根縣下

政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ鳥取縣下米子ヨリ島根縣下濱田ニ至ル豫定鐵道線路ノ全部ヲ敷設スルノ必要ヲ認ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之

カ敷設ヲ爲ササルトキハ其ノ建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當ノ條件ヲ附スヘシ

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ數設許可ニ關スル法律案(戊)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ數設ヲ許可スルコトヲ得

一 熊本縣下熊本ヨリ大分縣下大分ニ至ル鐵道線中熊本縣下熊本ヨリ大津ニ至ル鐵道

一 同鐵道線中大分縣下大分ヨリ竹田ニ至ル鐵道

政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ該豫定鐵道線路ノ全部ノ敷設貫通ヲ妨クルノ虞ナカラシメントカ爲メ相當ノ條件ヲ附スヘシ

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ數設許可ニ關スル法律案(己)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一 香川縣下琴平ヨリ高知縣下高知ヨリ經テ須崎ニ至ル鐵道線中高知縣下山田野地ヨリ須崎ニ至ル鐵道

一 香川縣下琴平ヨリ高知縣下高知ヨリ經テ須崎ニ至ル鐵道ニ德島縣下德島ヨリ接續スル鐵道線中德島縣下德島ヨリ川田ニ至ル鐵道

政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ德島縣下德島ヨリ高知縣下高知ヨリ經テ須崎ニ至ル聯繫線路ノ全部ノ敷設貫通ヲ妨クルノ虞ナカラシメントカ爲メ相當ノ條件ヲ附スヘシ

郡制改正法律案

第一章 總則
第一款 郡及其ノ區域
第一條 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス
第二條 郡ハ法人トシ法律勅令ヲ以テ定メタル範圍内ニ於ケル公共事務並法律勅令ニ依リ郡ニ屬スル事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ自ラ之ヲ處理スルモノトス

郡制

第二款 郡ハ國ノ行政區畫トス

第三款 郡ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ府縣ノ行政區畫トス

第四款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第五款 郡ハ法人トシ法律勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第七款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第八款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第九款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第十款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第十一款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第十二款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第十三款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第十四款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第十五款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第十六款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第十七款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第十八款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第十九款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第二十款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第二十一款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第二十二款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第二十三款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第二十四款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第二十五款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第二十六款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第二十七款 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

第六條 郡會ハ各選舉區ニ於テ選舉シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス
選舉區ハ一町村ヲ以テ一選舉區ト爲スヘシ但シ場合ニ依リ郡條例ヲ以テ數町村ヲ合シ一選舉區ト爲スコトヲ得
町村組合ニシテ組合會ヲ設ケ其ノ町村一切ノ事務ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村ト看做スヘシ

第七條 郡會議員ノ數ハ十五名以上三十名以下トス

郡會議員ノ配當法ハ主トシテ人口ヲ標準トシ郡條例ヲ以テ之ヲ定ム

郡會議員ノ選舉區及議員ノ配當法ヲ改正スルトキハ議員全數ヲ改選スヘシ

第八條 郡內ノ町村公民ニシテ町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ郡内ニ於

テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ム者ハ郡會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス

本條ニ規定スル直接國稅額ニ就テハ家督ニ依リ財產ヲ相續シタル者ハ前

財產主ノ納稅額ヲ以テ其ノ納稅資格ニ算入ス

住居ヲ移シタル爲町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其ノ住居同郡内ニ在リ住居ヲ除ク外其ノ他ノ要件ヲ失ハサルトキハ仍郡會議員ノ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ郡會議員ノ被選舉權ヲ有セス

一 所屬府(東京府ハ警)縣ノ官吏

二 其ノ郡ノ官吏及有給吏員

三 檢事及警察官吏

四 神官僧侶又ハ諸宗ノ教師

五 小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選ニ應セントスル者ハ本屬長官ノ許可ヲ受ク

ヘシ

第六條 郡會議員ハ名譽職トス

郡會議員ノ任期ハ四年トシ每二年其ノ半數ヲ改選ス若其ノ員數二分シ難

キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任スヘキ者ハ

抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

退任者ハ再選セラル、コトヲ得

第十條 議員中顧員アルトキハ遲クトモ三箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間内ニ在職スルモノトス

第十一條 郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示ニ依リ町村長敷町村ヲ以テ選舉區ト爲シタル場合ニ於テハ郡長ノ指定シタル町村長之ヲ管理スヘシ其ノ告示ハ定期改選若クハ總選舉ヲ行フ場合ニ於テハ少クトモ七十日前補

(四)

選舉又ハ當選ヲ辭シ若クハ選舉ノ無效ト爲リタルトキ及ぼノ他ノ事故ニ依リ更ニ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ少クトモ十日前之ヲ發スヘシヲ期トシ其ノ現在資格ニ依リ十日以内ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ數町村ヲ以テ一選舉區ト爲シタル場合ニ於テハ郡長ノ指定シタル町村長ニ

之ヲ送付スヘシ選舉ヲ管理スル町村長ハ名簿調製期限ノ翌日ヨリ七日間其ノ町村役場ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ同期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ於テ之ヲ決定シ之ヲ申立入ニ通知スヘシ町村長ニ於テ修正スヘシト決定シタルトキハ選舉前二十日ヲ限り之ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登錄セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ニ關スルコトヲ得ス

前項町村長ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ補闕選舉又ハ當選ヲ辭シ若クハ選舉ノ無效ト爲リタルトキ及其ノ他ノ事故ニ依リ更ニ選舉ヲ行フ場合ニモ亦之ヲ使用スルモノトス

郡參事會若クハ府縣參事會ノ裁決確定シ又ハ行政裁判所ノ判決アリタルニ依リ名簿ノ訂正スヘキモノアルトキハ町村長ニ於テ其ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ二十四時間以内ニ之ヲ修正スヘシ

本條ニ依リ町村長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ公告スヘシ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿ノ無效ト爲リタルトキハ前名簿ニ記載スヘキ選舉人資格ニ依リ郡長ノ指定シタル期日マテニ新ニ名簿ヲ調製スヘキモノトス其ノ縦覽修正ニ關スル期限等ハ總テ本條ノ例ヲ準用ス

第十三條 選舉ヲ管理スル町村長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前選舉ノ場所日時及選舉スヘキ議員ノ數ヲ公告スヘシ

第十四條 選舉掛ハ名譽職トシ選舉ヲ管理スル町村長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ町村長若クハ其ノ代理者ハ掛長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス

投票ハ午前八時ニ始メ午後五時ニ終フ
第十五條 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス
第十六條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ハ選舉會場ニ於テ被選舉人ノ氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ掛長ニ差出スヘシ但シ選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票ヲ終ルマテ開クコトヲ得ス

第十七條 投票ニ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ニ過キ又ハ不足アルモノ投票ヲ無效トセス其ノ定數ニ過クルモノバ末尾ニ記載シタル人名ヲ順次ニ棄却スヘシ

左ノ投票ハ之ヲ無效トス

一 記載セル氏名ノ讀難キモノ

二 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

三 被選舉權ナキ者ノ人名ヲ記載スルモノ以上三種ノ投票中他ニ列記ノ被選舉人ニ就テハ仍其ノ效アリトス

四 氏名ヲ記載セサルモノ被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記スモノハ無效ト爲スノ限りニ在ラス

六 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用井サルモノ投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用井サルモノ

投票ノ受理並效力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

第十八條 選舉ハ選舉人自ラ之ヲ行フヘシ他人ニ託シテ投票ヲ差出スコトヲ許サス

第十九條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ投票ノ數相同キトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム

第二十條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記録シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉人名簿其ノ他關係書類ヲ合綴シテ之ニ署名捺印シ少クトモ四年間之ヲ保存スヘシ投票ハ之ヲ選舉錄ニ附屬シ選舉ノ效力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ

第二十一條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ選舉掛長直ニ當選人ニ通知シ同時ニ郡長ニ報告スヘシ當選人當選ノ通知ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ郡長ニ届出ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ通知ヲ受ケタル最終ノ日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ郡長ニ届出ヘシ定期改選ト補闕選舉トヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ兩選舉ニ當リタルトキモ亦前項ノ例ヲ適用ス

前三項ノ届出ヲ其ノ期限内ニ爲サルトキハ當選ヲ辭シタル者ト祝做ス
ヘシ
第二十二條 議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行ハシヘシ二人以上投票同數ニシテ年長ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ依テ當選セサリシ者二人以上アルトキハ第十九條第一項ノ例ヲ適用ス
二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セサリシ者ヲ以テ當選人トス但シ抽籤ノ爲當選セサリ

シ者二人以上アルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム
第二十三條 當選人確定シタルトキハ郡長ハ直ニ當選證書ヲ附與シ及管内ニ告示スヘシ

第二十四條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願センストルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ郡參事會ニ申立ツルコトヲ得

前項郡參事會ノ裁決ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十五條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ事ノ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサル場合ヲ除ク外其ノ選舉ヲ無效トス

當選人中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ當選ヲ無效トス

選舉若クハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第二十六條 議員中資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス其ノ要件ノ有無ハ郡參事會之ヲ決定ス

郡會ニ於テ其ノ議員中資格要件ヲ有セサル者アルコトヲ發見スルトキハ之ヲ郡長ニ通知スヘシ

郡長ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡參事會ノ議ニ付スヘシ郡長若クハ名譽職參事會員ニ於テ發見シタルトキ亦同シ

本條郡參事會ノ決定ニ關シテハ第二十四條第二項ノ例ヲ適用ス

郡會議員ハ其ノ資格要件ヲ有セストスル決定若クハ裁決確定シ又ハ判決アル會議ニ對シテハ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

第二十七條 郡會議員選舉ニ關スル罰則ハ明治二十三年法律第三十九號市町村會議員選舉罰則ヲ適用ス

第二款 職務權限及處務規程

第二十八條 郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

一 郡條例及郡規則ヲ設クル事

二 郡費ヲ以テ支辨スヘキ事業但シ法律勅令中別段ノ規程アルモノハ此ノ限ニ在ラス

三 郡ノ歲入出豫算ヲ定ムル事

四 決算報告ヲ認定スル事

五 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手數料並夫役現品ノ賦課徵收

六 郡有不動產ノ賣買交換讓渡讓受並質入書入ノ事

七 積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事

八 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

九 郡有財產及郡ノ營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

十 郡ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事項

其他法律命令ニ依リ郡會ノ權限ニ屬スル事項

第二十九條 郡會ハ郡ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閱シ郡長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ施行並收入支出ノ正否ヲ検査スルノ職權ヲ有

第三十條 郡會ハ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ郡參事會ニ委任スルコトヲ得スル事件ニ就テハ會議ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ郡會ノ議事ニ參與シ及其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

第三十一條 郡會ハ郡ノ利害ニ關スル事件ニ付意見書ヲ郡長若クハ監督官廳ニ差出スコトヲ得

第三十二條 郡會ハ官廳ノ諮詢アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

第三十三條 郡會議員ハ選舉人ノ指示若クハ委嘱ヲ受クベカラサルモノトス

第三十四條 郡會議員ハ自己及其ノ父母兄弟姊妹若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ就テハ會議ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ郡會ノ議事ニ參與シ及其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項除席ノ爲ニ議員ノ數減少シテ會議ヲ開ク定數ニ満タサルトキモ仍會議ヲ開クコトヲ得

第三十五條 郡會ハ郡會議員中ヨリ議長副議長各々一名ヲ選舉スヘシ

議長及副議長ハ郡會議員ノ定期改選期日ノ前日マテ在職スルモノトス

第三十六條 郡長若クハ特ニ郡長ノ委任ヲ受ケタル郡ノ官吏及吏員ハ郡會ノ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ何時ニテモ之ヲ許スヘシ

第三十七條 郡會ハ毎年一回通常會ヲ開クヘシ其ノ他必要アルトキハ其ノ以前ニ告示スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條 郡會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付集會再回ニ至ルモ議員仍半數ニ満タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條 郡會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十條 郡會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一名毎ニ匿名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半數ヲ得タル者ナキトキハ最

多數ヲ得タル者二名ヲ取リ之ニ就テ決選投票セシム其ノ二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナレハ議長自ラ抽籤シテ之ヲ定

ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トシ若同數ナレハ議長若クハ議員ノ發議ハ討論ヲ用井シテ其ノ可否ヲ決スヘシ

七條第十八條ヲ適用ス議長選舉ノ場合ニハ議員中ノ年長者ヲ以テ假議長トス

第四十一條 郡會ノ會議ハ公開ス但シ郡長ノ要求アリタルトキ又ハ議長若クハ議員三名以上ノ發議ニ依リ可決シタルトキハ傍聽ヲ禁スルコトヲ得

議長若クハ議員ノ發議ハ討論ヲ用井シテ其ノ可否ヲ決スヘシ

第四十二條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開

閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第四十三條 議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用井又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スル

コトヲ得ス
會議中此ノ法律若クハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ若クハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシム命ニ從ハサシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騒擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第四十條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他議事ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ若クハ制止シ若命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騒擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十五條 議場ノ秩序ヲ紊乱又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員若クハ第三十六條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第四十六條 郡會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ掌理セシム書記ハ議長之ヲ選任ス

第四十七條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ製シ會議ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記錄セシムヘシ會議錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名捺印スルヲ要ス其ノ議員ハ郡會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十八條 郡會ハ府縣知事ノ認可ヲ得テ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ其ノ會議規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ郡會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規程ヲ設クルコトヲ得

第三章 郡參事會
第一款 組織及選舉
第四十九條 郡ニ郡參事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス
一 郡長
二 名譽職參事會員 五名

名譽職參事會員ハ郡條例ヲ以テ其ノ定員ヲ增減スルコトヲ得

第五十條 郡參事會ハ郡長ヲ以テ議長トス議長故障アルトキハ出席會員中ニ於テ臨時議長ヲ互選スヘシ

第五十一條 名譽職參事會員ハ郡會ニ於テ其ノ議員中ヨリ選舉スヘシ名譽職參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ從フ但シ任期満限ノ後ト雖後任者就職ノ日マテ在職スルモノトス

退任者ハ再選セラル、コトヲ得

郡會ハ每通常會ニ於テ名譽職參事會員ノ補充員トシテ正員ト同數ヲ選舉シ關員アルトキハ郡長ニ於テ補充員中投票多數ノ順次ニ依リ之ヲ補闕シ仍關員ヲ生シタル場合ニ於テハ三十日以内ニ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ但シ其ノ補闕員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第五十二條 名譽職參事會員ノ選舉ノ效力ニ就テハ郡參事會自ラ之ヲ決定ス

名譽職參事會員中資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス

本條第一項ノ事件ニ關シテハ第二十四條第二項第二十五條第一項第三項ノ例ヲ適用ス

第二款 職務權限及處務規程

第五十三條 郡參事會ノ職務權限左ノ如シ
一 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル集スルノ暇ナシト認ムルモノアルトキ郡會ニ代テ議決スル事

三 郡會ノ議決シタル範圍内ニ於テ郡有財產及郡ノ營造物ノ管理ニ關シ必要ナル事項ヲ議決スル事
四 郡費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關シ必要ナル事項ヲ議決スル事但シ法律勅令中別段ノ規程アルモノハ此ノ限ニ在ラス

五 郡ノ會計及出納ヲ檢查スル事
六 郡ノ證書及公文書類ノ保管ヲ檢查スル事
七 郡長ヨリ郡會ニ提出スル議案ニ付郡長ニ對シ意見ヲ述ヘ及會議ニ報告スル事

八 官廳ノ諮詢ニ對シテ意見ヲ述フル事
其ノ他法律命令ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事項

第五十四條 郡參事會ハ郡長之ヲ招集ス
會員半數以上ノ請求アルトキハ郡長ハ郡參事會ヲ招集スヘシ

第五十五條 郡參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス
第五十六條 郡參事會ハ名譽職參事會員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付集會再開ニ至ルモノ名譽職參事會員仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

郡參事會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル會議ノ顛末ハ之ヲ會議錄ニ記載シ議長及名譽職參事會員二名以上之ニ署名捺印スヘシ

第五十七條 第三十四條第一項ノ規程ハ郡參事會ニモ亦之ヲ適用ス但シ同條ノ規程ニ依リ會員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ郡長ハ補充員ヲ以テ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ郡會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ不足ヲ補充シテ第四十九條ノ定數ニ満タシムヘシ

第五十八條 司村制ノ規程ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ二郡以上ノ町村ニ交渉スルモノアルトキハ其ノ郡長ノ具狀ニ依リ府縣知事ニ於テ其ノ事件ヲ管理スヘキ郡參事會ヲ指定スヘシ二府縣以上ノ町村ニ交渉スルモノアルトキハ其ノ府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣ニ於テ之ヲ指定スヘシ

第四章 郡ノ行政

第一款 郡吏員ノ組織及選任

第五十九條 郡ニ郡長郡書記ノ外特別ノ須要ニ依リ有給ノ郡吏員ヲ置ク其定員ハ郡條例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

前項ノ郡吏員ハ府縣知事之ヲ任免ス

第六十條 郡ニ郡出納吏ヲ置キ郡書記ノ中ニ就キ府縣知事之ヲ命ス
第六十一條 郡ハ郡規則ヲ以テ臨時若クハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得委員ハ名譽職トス

委員ノ組織任期等ニ關スル事項ハ第一項ノ郡規則ニ之ヲ規定スヘシ

第六十二條 郡長ハ郡ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

郡長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 郡會及郡參事會ノ議事ヲ準備シ竝其ノ議決ヲ執行スル事

二 郡有財產及郡ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

三 郡ノ權利ヲ保護スル事
四 郡ノ歲入ヲ管理シ歲入出豫算其ノ他郡會若クハ郡參事會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事

五 郡吏員ヲ監督シ委員ヲ除ク外其ノ他ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事其ノ懲戒處分ハ譴責及十圓以下ノ過怠金トス

六 郡ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

七 外部ニ對シテ郡ヲ代表シ及郡ノ名義ヲ以テ他廳若クハ一個人ト交渉スル事

八 法律命令又ハ郡會若クハ郡參事會ノ議決ニ依リ使用料手數料及郡費ヲ賦課徵收スル事

九 其ノ他法律命令若クハ上司ノ指令ニ依リ郡長ノ權限ニ屬スル事項

第六十三條 郡會若クハ郡參事會ノ議決其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ若クハ取消スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ郡長ヨリ府縣參事會ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ又前項取消ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ郡長ヨリ府縣參事會ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ其ノ府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

郡會若クハ郡參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ郡長ヨリ府縣參事會ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害アリト認ムルトキハ此ノ限ニアラス

第六十四條 郡長ハ必要アル場合ニ於テハ期日ヲ定メテ郡會ノ中止ヲ命スルコトヲ得

第六十五條 郡會若クハ郡參事會ニ於テ必要ノ收支ニ關シ否決シ又ハ不當ノ削減ヲ爲シタルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ府縣知事ニ於テ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セシテ直ニ府縣知事

事ノ指揮ヲ請フコトヲ得
第六十六條 郡會若クハ郡參事會招集ニ應セス若クハ成立セサルトキハ郡長ハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

郡會若クハ郡參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス若クハ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

第一項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ郡會若クハ郡參事會ニ報告スヘシ

第三十四條 第二項若クハ第三十八條但書又ハ第五十六條第一項但書ノ場合ニ於テ全ク會議ヲ開クコト能ハサルトキハ第一項第三項ノ例ニ依ル第六十七條 郡長ハ郡參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ郡參事會成立セス若クハ之ヲ招集スル暇ナシト認ムルトキハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ其ノ處分ヲ報告スヘシ

第六十八條 郡書記及郡吏員ハ郡長ノ命令ヲ受ケ庶務ニ從事ス

郡長故障アルトキハ上席郡書記其ノ職務ヲ代理ス

第六十九條 郡書記ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

郡出納吏ハ郡ノ收入ヲ受領シ其ノ費用ノ支拂ヲ爲シ其ノ他會計事務ヲ掌ル

郡參事會ノ議決ヲ經テ郡出納吏ヨリ身元保證ヲ徵スルコトヲ得

第七十條 委員ハ郡長ノ監督ニ屬スル郡有財產若クハ郡ノ營造物ヲ管理シ其ノ他郡行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處理ス

委員ノ職務權限ハ郡規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第七十一條 郡ノ事務ニ關スル處務規程ハ府縣知事之ヲ定ム

郡吏員ノ服務紀律ハ内務大臣之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第七十二條 有給郡吏員ノ給料並旅費日當額及其ノ支給方法ハ郡規則ヲ以テ規定スヘシ

郡條例ヲ以テ有給郡吏員ノ退隱料及遺族扶助料ヲ設クルコトヲ得

第七十三條 名譽職員ニハ旅費日當ヲ給スルコトヲ得但シ其ノ支給額及支給方法ハ郡規則ヲ以テ規定スヘシ

第七十四條 級料旅費日當退隱料遺族扶助料ハ郡ノ負擔トス

第五章 郡ノ財務

第一款 郡有財產郡ノ營造物及郡費

第七十五條 郡ニ於テ積立金穀等ヲ設クルトキハ郡規則ノ規程ニ依ルヘシ

第七十六條 郡ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ國府縣郡市町村其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ寄附若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第七十七條 郡ノ必要ナル諸費及法律命令ニ依リ郡ノ負擔ト定メタル費用ハ其ノ郡ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第七十八條 郡ノ支出ニ充ツル費用ハ郡有財產ヨリ生スル收入及其ノ他ノ收入ヲ以テ充ツルモノ、外之ヲ郡内各町村ニ分賦ス其分賦ノ割合ハ各町村前年度(豫算ノ屬スル年度ノ前々年度)ノ直接府縣稅ノ徵收額ニ依ル但シ本條ノ分賦法ニ依リ難キ事情アルトキハ郡會ノ議決ヲ經テ特別方法ヲ

設ケ内務大臣ノ許可ヲ得テ施行スルコトヲ得

各町村ハ其ノ賦課ヲ受ケタル額ヲ其ノ豫算ニ編入シ之ヲ其ノ町村ノ支出

ト爲シ郡金庫ニ納ムヘシ

第七十九條 郡ハ郡有財産若クハ郡ノ營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ一個人ノ

爲ニスル事務ニ付使用料又ハ手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第八十條 郡ハ郡内ノ或ル部分ニ對シ特ニ利益アル事業ニ關シテハ郡會

ノ議決ニ依リ該部分ノ町村ニ對シ利益ノ厚薄ニ準シ其ノ負擔ヲ增課スル

コトヲ得 前項ノ費用ハ夫役若クハ現品ヲ以テ之ヲ町村ニ賦課スルコトヲ得

第八十一條 郡ニ於テ徵收スル使用料手數料其ノ他郡ノ公法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ郡長ハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ處分スヘシ其ノ督促及手數料ニ關シテハ郡條例ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵還付期滿免除ニ就テハ國稅ニ關スル例ヲ適用ス

本條第一項ハ町村ニ對シテ適用スル限ニ在ラス

第八十二條 郡ハ其ノ負債ヲ償還スル爲若クハ天災事變等ノ爲已ムヲ得サル支出又ハ郡ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ增加スルトキハ郡内町村ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限リ郡會ノ議決ヲ經テ郡債ヲ起スコトヲ得

郡債ヲ起スノ議決ヲ爲ストキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムヘシ

郡債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年々ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了スヘシ

歲入出豫算内ノ支出ヲ爲スカ爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其ノ年度ノ

收入ヲ以テ償還スヘキモノハ本條ニ依ル限ニ在ラス但シ郡參事會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第二款 郡歲入出豫算及決算

第八十三條 郡長ハ毎年其ノ翌年度ニ關スル歲入出豫算ヲ調製シ少クトモニ同シ豫算ヲ郡會ニ提出スルトキハ郡長ハ併セテ其ノ郡有財產明細表ヲ提出スヘレ

第八十四條 郡長ハ必要ノ場合ニ於テ郡會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若クハ更正ヲ爲スコトヲ得

第八十五條 郡ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ郡會ノ議決ヲ以テノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第八十六條 歲入出豫算中ニ豫備費ヲ設ケ郡長ニ於テ郡參事會ノ議決ヲ經テ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツルコトヲ得但シ郡會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第八十七條 豫算ハ郡會ノ議決ニ付スルノ前郡參事會ノ審査ニ付スヘシ郡長ト郡參事會ノ意見ヲ異ニスルトキハ郡長ハ郡參事會ノ意見ヲ豫算ニ

添ヘ郡會ニ提出スヘシ
内務大臣ハ省令ヲ以テ豫算調製ノ式ヲ定メ並費目流用ニ關スル規程ヲ設タルモノトス

豫算ハ其ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ茲地方所定ノ公告

式ニ依リ其ノ要領ヲ告示スヘシ
第八十八條 郡ハ郡規則ヲ以テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第八十九條 郡出納吏ハ郡長ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又其ノ命令アルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第九十條 郡ノ出納及金庫ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少クトモ一回臨時検査ヲ爲スヘシ検査ハ郡長之ヲ爲ス臨時検査ニハ名譽職參事會員一名以上ノ立會ヲ要ス

第九十一條 決算ハ郡長郡出納吏ニ命シテ會計年度後三箇月以内ニ調製シ郡參事會ノ審査ヲ經テ之ヲ次回ノ通常郡會ノ認定ニ付スヘシ

第九十二條 特別ノ須要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合ヲ設置スルコトヲ得

第九十三條 郡組合ヲ設置スルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合ノ組織事務ノ管理方法並其ノ費用ノ負擔方

法其ノ他必要ナル事項ヲ規定スヘシ
前項ノ外郡組合ニ就テハ郡ニ關スル規程ヲ準用ス

第七章 監督

第九十四條 郡ノ行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第九十五條 此ノ法律中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外郡ノ行政ニ關スル府縣知事ノ處分又ハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項訴願ヲ提起スルトキハ處分若クハ裁決ノ執行ヲ停止ス但シ該當官廳ノ意見ニ依リ其ノ停止ノ爲ニ公益ニ害アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

此ノ法律ニ規定スル訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若クハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ十四日以内ニ其ノ理由ヲ具シテ提起スヘシ

此ノ法律ニ規定スル行政訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ二十一日以内ニ提起スヘシ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第九十六條 監督官廳ハ郡行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其ノ事務錯亂澁滯セザルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲シシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徵シ竝實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ

出納ヲ檢閱スルノ權ヲ有ス

監督官廳ハ郡行政ヲ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第九十七條 監督官廳ハ郡ノ豫算中不適當ノ支出ヲ認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得其ノ支出ヲ削減シタル場合ニ於テハ之ニ相當スル

第九十八條 郡會ノ解散ハ内務大臣之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第九十九條 左ニ掲タル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ前項解散ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦解職スルモノトス

第一百條 左ニ掲タル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第一百一條 郡條例ノ設定ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第一百二條 左ニ掲タル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第一百三條 郡債ヲ起シ竝起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若クハ變更スル事但シ第八十二條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラズ

第一百四條 國庫ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事

第一百五條 郡規則ヲ設クル事

第一百六條 使用料手數料ヲ新設シ若クハ變更スル事

第一百七條 府縣ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事

第一百八條 第八十條ニ依リ增課ヲ爲ス事

第一百九條 學藝美術ニ關シ又ハ歴史上貴重ナル物件ノ賣却交換讓渡質入書入若クハ大ナル變更ヲ爲ス事

第一百二十條 郡有不動產ノ賣却、交換、讓渡竝質入書入ノ事

第一百二十一条 積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事

第一百二十二条 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事

第八章 附則

第一百三條 郡內總町村ノ共有ニ屬スル財產及其ノ管理ニ屬スル營造物ハ郡

内總町村ノ聯合又ハ組合ヲ以テ設立セル小學校ヲ除ク外此ノ法律施行ノ日ヨリ郡ノ所有若クハ管理ニ歸シ其ノ權利義務共同時ニ郡ニ移ルモノトス

第一百四條 府縣制ヲ施行スルマテノ間府縣參事會ニ屬スル職務ハ府縣知事之ヲ行フ

第一百五條 島司ヲ置クヘキ島嶼ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第一百六條 此ノ法律ニ依リ始メテ議員ヲ選舉スルニ付郡會及郡參事會ノ職務ハ郡長ニ於テ之ヲ行フヘシ

第一百七條 町村制施行ノ爲定メタル直稅ノ種類ハ此ノ法律ノ施行ニ關シテ

モ亦之ヲ適用ス

第一百八條 此ノ法律施行ノ後ハ町村制第百二十六條第三ニ定ムル附加稅徵收ノ許可ハ地租ハ四分一ヲ超過スルトキ之ヲ要スルモノトス

第一百九條 此ノ法律ハ町村制ヲ施行シタル各府縣ニ施行スルモノトス其ノ施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第一百十條 明治十一年第十七號布告郡區町村編制法其ノ他此ノ法律ニ抵觸スル從前ノ法規ハ此ノ法律ヲ行フ地ニ關シテハ其ノ效力ヲ失フモノトス

第一百一十條 内務大臣ハ此ノ法律施行ノ責ニ任シ之レカ爲必要ナル命令ヲ發布スヘシ

輸入羊毛海關稅免除法律案

外國ヨリ輸入スル羊毛ハ明治二十九年四月一日ヨリ海關稅ヲ免除ス

○侯爵細川護成君 唯今ヨリ移民保護法案ノ委員會ヲ開キタウゴザリマス委員ハ此處ニハ一人モ居リマセヌ今朝カラ委員會ヲ開イテ居リマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別ニ御異議ガナイト存ジマスカラ宜シウゴザリマス

○箕作麟祥君 議長ニ一寸御尋致シマスガ唯今ノ御宣告ノ中ニハ郡制改正法律案ガ這入ッテ居リマセヌト思ヒマスガ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今申シマシタ

○安場保和君 郡ノ何ハ先刻御朗讀ニナリマシタモノハ殘ラズ一括シテ御議シニナルノデゴザイマスカ委員付託モ一括ノ御積ナノデゴザリマスカ、サウ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 其積デゴザリマス唯今一讀會ヲ開クコトヲ申シタノミテ委員ノ事ハ申シテ居ラヌノデゴザリマス

○山脇玄君 私ハ此郡制改正ノ事ニ就イテ政府委員ニ質問致シタウゴザリマスガ宜シウゴザリマスカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザリマス

○山脇玄君 衆議院提出ノ郡制改正ノ大眼目ハ第一ニ此郡ト云フモノヲ市町

村ト等シク法人トスルト云フ事ト、ソレカラ大地主ノ制ヲ廢スル事トモウ一

ツハ是マデノ複選舉ヲ單選舉トスルト云フ事が改正ノ大眼目デアルヤウニ考ヘマス、是等ノ事ニ附イテハ政府ハ如何ノ御見込デアリマスカ一應承リタウゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 山脇君モウ一應御述ベニナラスト唯今政府委員ガ出席ニナリマシタカラ……

○山脇玄君 私ハ此郡制改正法律案ニ就イテ先づ政府ノ御意向ヲ伺ヒタイノ

デ衆議院ノ提出郡制ノ改正法律案テ見マスルト現今ノ郡制ニ大修正ヲ加イヤ

ウト云フニ考ヘラレマス、ソレハ其重モナル事ハ第一ニ此郡ヲ市町村ト等シ

ク法人ト爲スト云フ事ト第二ハ大地主ノ制ヲ廢スル事ト第三ニハ是マデノ郡制デアリマスト複選舉デアツタノヲ單選舉トスルト云フ此三點ガ此改正ノ大

眼目デアルヤウニ考ヘラレマス、是等ノ改正ニ對シマシテ政府ハ如何ナル御意向ヲ御持チニナツテ居リマスカ即チ此改正ニ賛成セラレマスカ或ハ又御不

○○子爵京極高典君
○○伯爵大成重朝君
○○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 堤子爵ヨリ讀會省略ノ請求ガゴザイマシテ定規
ノ贊成ガゴザイマス、讀會省略ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 起立者
○○此ノ法律ハ明治三十年一月一日ヨリ施行ス
附則
○○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數
○○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ河川法案、政府提出、
衆議院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告
○○伯爵大原重朝君演壇ニ登ル
○○伯爵大原重朝君 委員會ノ模様及結果ヲ御報道致シマス、去ル十九日委員
會ヲ開キマシタ大體ニ就キマシテ是マデハドウ云フコトニナツテ居ルカト云
フコトモ質問ガゴザイマシタガ是マデハ内務省ノ達、及地方ノ慣習法ヲ以テ
内務省ノ布達位ノ所ヲ以テ工事ヲ施行シテ居ツタ譯デアリマスケレドモ、モ
ウ段々法律ノ世ノ中ト爲リマシテハ、ソレバカリデハ速モ行ハレヌト云フ所
カラ是非河川法ガ要ルト云フコトニナリマシタト云フコトデゴザイマシタ、
別段其他ニハ質問モゴザイマセヌデ、ソレカラ此法案ニ附キマシテ質問ガゴ
ザイマシタガ其一通り重モナル所ヲ御報道致シマス、重モナル所ノモノハ詰
リ地方行政廳ニ管理セシムルト云フガ大體ノ事デゴザイマシテ、ソレカラ或
ハ一縣下ニ二縣下此縣下ニ涉ル所ノモノハ其事情アツテ工事ノ行ハレ難イ所ノ
モノハ内務大臣ガ直轄シテ工事ヲスルト云フコトデゴザイマス、ソレハドウ
云フ事情ニアラウカト云フコトモ質問ガゴザイマシタガ同シ川ニテモ或ハ甲
ノ縣ニハ隨分害ガアルケレドモ乙ノ縣ニハ一向害ガナイト云フヤウナ所ノモ
ノハ乙ノ方デハ工事ヲ怠ルト云フヤウナコトガアリマス其事情モアル所ノモ
ノハ内務大臣ガ直轄シテヤルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ舟筏ノ通航
及流水ニ關スル規定ハ是マデ一向ゴザイマセナシダガ今度ハ之ヲ以テ行キマ
スレバ水害ヲ豫防スルニ餘程必要デアルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ
二十三條アタリニ委任ヲ受ケタル官吏ガ現場ニ於テ豫防ノタメニヤルト云フ
ノハ内務大臣ガ直轄シテヤルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ舟筏ノ通航
コトハドウ云フ官吏ニ依託スルノデアラウカト云フ質問モゴザイマシタガ是
ハ地方ノ方カラ巡査及警部アタリニ依託シテヤラセルト云フコトニナリマシ
テ詰リハ責任ヲ地方廳ガ持ソト云フコトデアリマス、ソレカラ其次ニ水害ノ
タメニハ家屋其他障碍物ヲ破壊スルコトヲ得ルト云フ簡條ガ有リマスガ是ハ
部分破壊スルコトヲ得ルト云フハ隨分酷ナ、甚ダシイ條例デアル、法案デア
ルト云フコトモゴザイマシタケレドモ是マデモ矢張斯ウ云フコトニナツテ居
ル、然ルニ是マデハ一向損害要償モ何モ無カツタノデアリマスケレドモ後ノ

條ニ於キマシテ相當ノ時價デ補償スルト云フコトニナクテ居リマスガ却テ
今日ニ行テ居ル所ヨリハ餘程宜イト云フコトデゴザイマス、ソレカラ五十
二條ノ地方長官ニ於テ義務ノ履行スベキ事項ハ自ラ履行シ若ハ第三者ヲシテ
履行セシムルト云フコトガアリマスガ是モ隨分甲乙ニ跨テ居リ甲ノ方ニ害
ガアブテ乙ノ方ニ害ノナイト云フモノハ乙ノ方デ關係ヲ致サヌヤウナ、怠ル
ヤウナ兆候ガゴザイマシタ時ニハ其次ノモノヲ以テ乙ノ方ガ其治水ヲセヌタ
メニ甲ノ川カラ丙ノ方ヘ害ノアルヤウナ所ノモノハ丙ヲシテ乙ノ方ノ工事ヲ
爲サシムルト云フコトデアツテ、サウシテ其費用ハ乙ノ方ニ追徵スルト云フコ
トニナルト云フコトハ甚タ酷ナモノデアラウト云フ說モアリマシタケレド
モ、ドウモ乙ニハ一向水害ノ關係ガ餘リ難事デナイト云フ時ニハドウモ已ム
ヲ得ズスウ云フコトニセナケレバ工事ガ出來ナイト云フヤウナコトデゴザイ
マシテゴザイマス、ソレカラ五十三條ニ於キマシテ履行シテモ不十分ナルト
キハ千圓以内ニ於テ指定シタル過料ニ處スルコトヲ豫告シ、サウシテ其履行
ヲ命ズルコトガ出來ルト云フコトデゴザイマスガ、千圓以内ノ金ヲ出サセテ
スルト云フコトノ過料ハ餘リ酷イ事デ、未ダ日本ノ法律ニ見ザル所ノモノデ
アルト云フ說モゴザイマシタ、政府委員ノ御説明ニハ成程如何ニモ今日マデ
ハ餘リ無イノデアルガ、歐羅巴各國ニハ隨分斯ウ云フコトヲ指定シタルモノ
ガ多々有ルコトデアツテ、隨分斯ウ云フコトニ法ヲ設ケテ置ケバ自ラ義務ヲ履
行スル所ノ運ニハ宜イ次第デアルト云フコトノ説明デゴザイマシタ、ソレカ
ラ六十一條ニ於キマシテ「主務大臣ニ對シテハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得
ス」ト云フ簡條ガゴザイマスガ是ハドウモ大臣ノ處分ニ於テ不都合ガアレバ
必ず提起ヲシナケレバナラスト云フ說モゴザイマシタケレドモ、此事ハ行政
廳ト主務大臣トノ權衡ヲ取テ斯ウ致シタト云フコトデゴザイマシタ故ニド
ウデモ已ムヲ得ザル所ノモノデアラウト云フ說デゴザイマシタ、其他別段
ニ御報道申上グル程ノ簡條モゴザリマセナカッタ、デ表決ニ付シマシタ所ガ
全會一致ヲ以テ此法案ハ字句ノ修正モゴザリマセズ可決スベキモノト云フ議
決デゴザイマシタ、此段御報道致シマス、デ御質問モゴザイマスレバ、此委
員中ニハ土木會ニモ出タ人モゴザイマスルシ、原案ノコトデゴザイマスカラ
政府委員ニ御質問ヲ願ヒタウゴザイマス

○筭作麟祥君 本案ハ六十七條モ有リマシテ大分長イ法律デアリマスガ、殊
ノ外金科玉條ト見エマシテ衆議院ニ於テモ一字一點ノ修正モ加ヘズニ迴テ
參リマシタ、又唯今委員長ノ御報告ヲ承リマスルト、特別委員ニ於テモ一字
一點ノ修正モナク全會一致ヲ以テ可決ニ爲シタト申スコトデアリマスガ、何
分私杯ハ愚昧ノセイデゴザイマスルカ、餘程分リ惡イ簡條ガ多ウゴザイマ
ス、頗ル文章モ讀ミ惡イ所ガアリマス、甚タ意味ノ解シ難イ所ガアリマス
デ質問ヲ致シタウゴザイマス、少シ質問ノ廉ガ多ウゴザイマスカラ餘リ一時
ニ申シマスト御答ノ御都合ニモ御困リト存ジマスカラ、切分ケテ質問致シマ
ス、條ノ順ヲ逐テ伺ヒマスガ、第八條ノ第一項、第八條ハ即チ此利害關係
ガ一府縣ノ區域ニ止マラザルトアリマスカラ餘程マア重大大事デアル、ソレ
カラ又工事ガ至難デアル若クハ工費ガ至大デ大層金ガ掛カル、又ハ河川ノ全
部若クハ一部ニ就キ大體ニ渉ル一定ノ計畫ニ基キテ施行スル改良工事抔トア
リマシテ總テ第八條ニアリマスルノハ河川ニ關スル工事ガ餘程大キナ工事デ

アル、其大キナ工事ヲヤル時分ニハ主務大臣ガ自ラ其工事ヲ施行スル、内務
大臣ガ自分で工事ヲ施行シタリ又利益ヲ受クル公共團體ニ命シテ施行スル、
ソレ程重大ノ工事デアレバ主務大臣ガ自ラ施行スルト云フコトハ分テ居リ
マス、内務大臣ハ全國ヲ統括シ監督スル人ニアリマスカラ此ノ如キ重大ノ工
事ハ自ラ施行スルコトハ分テ居リマスガ「又ハ」カラ先キガ分リマセヌ、
此ノ如キ重大ナ事件デアルノニ特ニ利益ヲ受クル公共團體ノ行政廳ニ任セル
ト云フコトハ分ラス、公共團體ニ任セル位ノコトナラバ此第八條ニアル如キ
大層ナ工事ヲシナクテモ宜シイ筈デアル内務大臣ガ自ラ施行スルカト思ヘバ
又公共團體ニ任カスルト云フコトガアルノハ前後矛盾スルト思ヒマスカラ此
事ヲ先づ伺ヒマス、「ツニツ」一緒ニ伺ヒマスガ、其次ハ第二十六條、是ハドウ
云フ計算ノ仕方ニナリマスカ、甚タ大了解ニ苦シムノデアリマスガ「河川ノ改
良工事ニ要スル豫算費用ニシテ其ノ府縣内ノ地租額十分ノ一ヲ超過スルトキ
ハ其ノ超過額ノ三分ノ二以内ヲ國庫ヨリ補助スルコトヲ得」トゴザイマス、
サウ致シマスルト府縣内ノ地租額が假ニ一万圓トシマスルト一万圓ノ十分ノ
一デアリマスルカラ即チ千圓、千圓ヲ超過スルトキデアルカラ例ヘバ其費用
ガ千三百圓ナレバ三百圓ガ超過額デアル、其三百圓ノ三分ノ二以内即チ二百
圓以内ヲ國庫ヨリ補助スルコトガ出來ルト解セラル、ノデアリマスガ其但書
デアリマス「但地租額ヲ超過スル部分ニ付テハ其ノ超過額ノ四分ノ三以内ヲ
補助スルコトヲ得」トアリマスノハドウ云フ事デアリマスカ、前ノ例ニ致シ
マスト地租額ヲ超過スル部分ト云フト即チ地租額ガ一万圓ナラバ、其一万ヲ
超過シタトキニハ其超過額ノ四分ノ三以内ヲ補助スルト云フコトデアルト本
文ト但書トノ喰合ヒガ餘程ムヅカシイ私ニハ分リマセヌ、此事ヲ伺ヒタノ
ト、矢張同條中ノ三項デゴザイマスガ是モ伺ヒタイ「工事費用精算ノ上豫算
ヨリ減スルコトアルモ既ニ與ヘタル補助金ハ之ヲ還付セシメサルコトヲ得」
ト書イテアリマス、是ハ確カ昨年ノ決算委員會ニモ斯ウ云フヤウナ問題ガ
アツタト思テ居リマスガ、例ヘバ國庫カラ補助スル、國庫カラ補助スルノ
ハ大凡ノ見積リデアリマスカラ一千圓要ルト思テ遣シタ所ガ七百圓シカ要
ラスト云フト、其殘リノ三百圓ハ國庫ニ還ス筈ノモノデアル、所ガ一旦與ヘ
タモノデアルカラ還サヌデモ宜イゾト云フ事ニナルト、其府縣デハ三百圓ハ
貫ヒ德ニナツテ何ニ使シテモ宜イ、元ハ土木ノタメニ貫シタ金デアルケレド
モ餘金ガアルカラ、ソレハ學校ノ費用ニ使シテモ衛生ノ費用ニ使シテモ勸業
ノ費用ニ使シテモ宜シトイ云フ事ニナルヤウニ思ヒマスガ、是ハドウ云フモ
ノデアリマスカ、既ニ検査院カラモ論ガアツテ喧マシイ問題デアリマシタ
ガ、法律デ斯ウ極メルノハ如何ナモノデアリマセウカ、免ニ角國庫ト云フモ
ノガ府縣ナラ府縣其他ノ公共團體ニ對シテ是ニモ土木補助ヲ遺シタデ餘リノ
有ルトキ土木費ノ外ノモノニ使シテ仕舞シタ時ニハ甚タ目的ヲ誤ルヤウニ考
ヘマスガ如何デアリマスカ、續イテマダ伺ヒタイノデアリマスガ、餘リタン
ト一遍ニ伺ヒマシテハ却シテ御不都合ト思ヒマスカラ是位ニシテ置キマス
○政府委員(古市公威君) 先づ八條ノ御尋ニ對シテ御答致シマスガ、此八條
ニハ色シナ場合ヲ示シテアリマス「一府縣ノ區域ニ止マラサルトキ」ト云フ
場合モアリ、工事ノ至難ナル場合モアリ色シアリマスガ、其中デ此「特ニ利
益ヲ受クル公共團體ノ行政廳ニ命シテ之ヲ施行セシムルコトヲ得」ト云フ場

合ニ重モニ適シマスノハ利害ノ關係スル所ハ一府縣ノ區域ニ止マラザルトキト云フ場合ニ一番適スルノデアリマス、テ箕作君ハ此八條ヲ總テ大キナ工事ト御覽デアリマスガ、ソレ程大キナ工事デナクツテ此八條ノ場合ガアルノデ譬ヘテ申シマスレバ、現在問題ニ爲シテ居リマスガ今日マデマダ施行スルコトガ出來ズシテ居ルノハ、此中川ト云フ川ガゴザイマスナ、江戸川ノ一つ手前ノ川デゴザイマス、アノ川ガ其大變屬曲シテ居ル、ソレヲ其屈曲ヲ矯ルトカ、若クハ新設スルトカ云フコトノ利害ハ土地ハ東京府デアリナガラ其利害ハ埼玉縣ニアル、此工事ガ何モ別段至難ト云フ工事デモナイ、又工費ヲ至大ニ要スルト云フ工事デモナイ、ケレドモ如何セン土地ガ東京府所屬デ東京府デハソレ程痛痒ヲ感ジナイ工事デアル、サウシテ埼玉縣ハ之ガタメ大變利害ニ關係スルト云フヤウナ場合ニハ或ハ又此中川ノ處分ヲドウスルト云フコトヲ決シテ豫言スル譯デモアリマセヌガ、或ハ其時ニ埼玉縣ニ其工事ヲ施行サセルコトガ出來ルヤウニ此八條デ規定シタ譯デアリマス、ソレカラ次ガ此二十六條ノ費用ノ補助ノ事デアリマスガ、是ハ唯今箕作君御自身ノ御述ベニナツタ通デアルノデゴザイマス、箕作君ハ地租額ヲ一万圓トカ御話デアリマシタガ、今ノ府縣デ一万圓ノ地租額ハ有リマスマイ、假ニ百万圓ノ地租額トシテ其十分ノ一、十万圓以内ノ工事ノ時ニハ此處ニ現ニ云フテ居ル河川ノ改良工事ト云フテ居ルノハ河川ノ大部分ニ就イテノ計畫デアリマスカラ、十万圓ノ河川ノ改良工事ト云フコトハ先づ少イ、無イト云フモ宜カラウト思ヒマスガ、十万圓以内ノ工事、河川ノ改良工事ト稱スベキ工事ノ性質デアッテモ別段補助ハセヌ、十万圓以上ト爲シテ十萬圓超過シマスレバ三分ノ二以内國庫カラ補助スルコトガ出來ル、ソレナラバ十萬圓ヲ超過シタナラバ、ドコマデモ其率デ行クノカト云フニ、幾ラ工費ガ殖エテ行クモ矢張其三分ノ二ヨリ外ハ補助セヌカト云フニイヤ、サウデハナイ、工費ガ殖エテ地租額ヲ今度ハ超過シテ、例ヘバ百万圓ノ地租ノ有ル府縣ノ改良工事ニ對シテ二百万圓ノ工事ヲスルコトガアル、サウシタラ其百万圓ノ地租額ヲ超過スレバ即チ残リ百万圓ノ四分ノ三、七十五万圓以内ヲ補助スル、サウシテ工事が地租額ニ達スルマデノ所即チ百万圓マデノ所ニ對シテハ、十万圓ヲ除イテ残り九十万圓ノ三分ノ二即チ六十萬圓以内ノ補助スル、斯ウ云フコトニナツテ居ル、ソレカラ同條ノ第三項デアリマスガ是モ箕作君ノ御述ニナツタ通、或ハ場合ニ於テハ還付セイデモ宜イト云フコトヲ此法文ニ掲グテ居リマスル譯ハ、ドウモアノ決算ノ時ニ議論ガアリマシタヤウナ疑が起シテ來ル、例ヘバ國ガ……

云ツテモ一向差支ナイト思ヒマス○箕作麟祥君、唯今ノ御答辯ハマア十分ニハ要領ヲ得セヌガ、更ニ繰返シテ同ジ所ヲ御尋致シタイノデアリマスガ、併シ外ノ所ヲ御尋シタウゴザイマスカラ唯今ノ所ハ御答辯ノ儘ニシテ置キマシテ先キノ方ヲ伺ヒマス、三十四條ノ二項ヲ伺ヒタウゴザイマスガ、三十四條ノ二項ニ「主務大臣若クハ地方長官カ工事ヲ自ラ執行シ或ハ第三者ヲシテ執行セシタル費用ハ義務者ヨリ之ヲ追徴スルコトヲ得」トアリマスガ、此費用ト云フモノハ所謂主務大臣カラドウモ此法案ヲ見ルト何處ヘモ持出ス所ガナイヤウデゴザイマスガ、主務大臣ノ仰セ置カレル通イヤデモ應デモ出サナケレバナラスト云フコトデアリマスカソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ第四十條、是モ唯今ト同シヤウニ四十條モ「其管内ノ市町村組合若クハ水利組合ニ命シテ其物件ノ價額ヲ補償セシムルコトヲ得其價額ハ行政廳之ヲ定ム」トアル、是ハ二十三條ノ一項ノ處分デアリマスガ、即チ二十三條ノ一項ト云フモノハ洪水ノ危險ナルトキデアリマス、ソリヤマア洪水ノ危險ノタメニト云フモノニアリマスカラ、ナカク一個人ノコトヲ構ツテハ居ラレマセヌ、併ナガラ其色ニ取ツタ所ノ物件ノ價額ヲ補償サセルノニ其幾ラト云フ價格ヲ極メルノハ行政廳デ之ヲ定メテ幾ラモ外ニ出訴トカ何トカ云フ途ガアルデアリマセウカ、即チ三十四條ト同様デモ手盛リデ行政廳テ極メルノデアルカラ隨分其價額ガ極ク廉ク極メラレテソレヲ一向不服デモ何處ヘモ持出スコトハ出來ナイヤウニ思ヒマスガ、丁度先程御尋シマンタ三十四條ノ二項ト同ジャウナ事デアリマスガ、何ゾソレデモアリマス、ソレカラ次ハ四十二條、四十二條ハ屬懸私ニハ分ラヌト思フ、流水ヲ停滞シ若クハ引用スル爲ノ工作物ノ施設「是マデハ分ツテ居ルガ「其ノ他流水若クハ敷地ノ使用若クハ占有ヲ許可スルトキハ「サウスルト川ノ流水ガ有ル、其流水ヲ用ヒテ居ル、流水ノ占用トカ使用、川ノ水ヲ或ハ使用シタリ占用シタリスルコトヲ許シマストキニハ其使用者、管理者、占用者ヨリ使用料若クハ占用料ヲ徵收スルコトヲ得トアリマスガサウ致シマスルト私ノ誤解カモ知レマセヌガ唯讀ミマスルト云フト即チ茲ニ一ツノ川ガ有ル、其川ニハ枝川モ色ニ有リマセウガ、其川ノ水ヲ農民等が使用シテ、農民等が其水ヲ用料ヲ農民等が徵收セラル、トスウ云フコトニ見エマスガ、サウスルト變ナイト云フ疑が起リマス、サウ云フ場合ニハ還サヌデモ宜イト云フコトヲ此處ニ明文ヲ掲ゲテ明ニシテ置ク次第デアリマス、尤モ箕作君ノ御論ニハドウモ川ノ工事ヲ補助スルタメニ出シタモノデアルカラ、餘ツクナラバ國庫デ還サヌデモ宜イト云フコトハ穩カナラヌカノヤウニ聞エマスガ、併シ是ハ強チ國ノ金ガ餘ツタ認メヌデ宜イト思ヒマス、本員ノ考デハ國デ補助シタ金ヲ使ツテ仕舞ツテ單ニ地方ノ負擔ガソレダケ輕クナツテ地方稅ヲバソレダケ使ハナシダト云フコトニナリマスカラ、其地方デ他ノモノニ使ツタカラト

セヌガ一向ソレニ對シテハ何モ言ヘナイノデゴザイマスカ、譬へバ千圓ト認メラレタラ恐入ヲタ言シテ不服ヲ言フコトハ出來ズ言ハル、儘ニ出サナケレバナラスノデアリマスカ、即チ出訴ノ途ガ有ルカ無イカト云フ矢張先程ノ御尋ト同ジコトデゴザイマス、ソレカラ第五十八條、是ハドウ云フ意味デゴザイマスカ「此ノ法律ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シテハ命令ヲ以テ二百圓以内ノ罰金若クハ一年以下ノ禁錮ノ罰則ヲ設クルコトヲ得」此命令ト云フモノハ何ノ積リデアリマスカ、命令ノコトデアリマスカ、或ハ省令府縣令ト云フ積デアリマセウカ、ソコデ私ノ不審ハ若シ此命令ト申スノガ果シテ命令ノコトデアリマスナラバ諸君モ御承知ノ通、衆議院デ能ク廢止スルト云フ喧マシイ法律ガアリマス、明治二十三年九月ノ法律第八十四號デアリマス、是ハ毎モ衆議院デ廢止スルト云フモソニデアリマスガ、是ニナンデス命令ノ條項ニ違犯スル者ハ各其ノ命令ニ規定スル所ニ從ヒ二百圓以内ノ罰金若ハ一年以下ノ禁錮ニ處スト云フコトガ八十四號ノ法律ト有ル、丁度唯今申シタ二十三年九月ノ法律第八十四號ト同様ト同ジ事デアリマス、二百圓以内ノ罰金若クハ一年以下ノ禁錮ノ罰則ヲ設クルコトヲ得、トアリマスガ、サウスルト果シテ五十八條ノ命令ト云フノガ勅令ト云フ意味デアルナラバ唯今申シタ二十三年九月ノ法律第八十四號ト同様ニナツテ重複ノ嫌ガアリマス、若シサウデナクシテ命令ト云フ言葉ヲバ勅令デハナク省令府縣令ヲ意味スルモノデアル、省令府縣令デ以テ二百圓以内ノ罰金若クハ一年以下ノ禁錮ノ罰則ヲ設クルコトヲ得ルト云フ意味ナラバ明治二十三年九月ノ勅令二百八號ニ背イテ居ル、勅令二百八號ト云フモノハ八十四號ノ法律カラ例ヲ取シテ作ツタ勅令デアリマセウガ、是ニハ各省大臣ハ即チ省令デ二十五圓以内ノ罰金若クハ二十五日以内ノ禁錮ノ罰則ヲ附スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ地方長官警視總監ハ即チ十圓以内ノ罰金又ハ拘留ノ罰則ヲ附スルコトヲ得ルトゴザイマス、其上ハ出來ナイノデアル、然ル所ガ五十八條ハ二百圓以内ノ罰金若クハ一年以下ノ禁錮トナツテリマスガ、前ニ申述ベマシタ通ニ勅令……此命令ト云フ事ガ勅令ヲ意味スルナラバ彼ノ法律第八十四號ト重複ニ爲ル、若シサウデナク省令デハナイ訓令府縣令デアルト云フノナラバ唯今申シタ所ノ勅令第二百八號ト矛盾スルヤウデアリマスガ、矛盾シテモ構ハナイト云フスウ云フスマシイ權力ヲ與ヘルト云フ此英斷デアリマスルカ、マダ先キニモ二三箇條ゴザイマスルガソレハソレニシテマソコヲ伺ヒタ

(政府委員南部光臣君演壇ニ登ル)

○政府委員(南部光臣君) 唯今ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、第三十四條ノ二項ニ就イテハ別ニ不平ヲ……不服ガアツタトキハ訴ヘル途ガ無イカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ特ニ此條ダケニ就イテ不服ヲ訴フルノ途ハ開イテナイデゴザイマス、併ナガラ其後ニ爭議訴願及訴訟ノ規程ガゴザイマスガ、アノ條ニハ此法律若クハ此法律ニ基キテ發シタル事項ニ關シ云々斯ウ云フ況イ規程ニナツテ居リマスルカラシテ、此條ニ就イテノ主務大臣地方長官ノ處分ニ對シテ不服ガアツタナラバ無論アチラノ方デ救正ノ途ガ有リマス

○箕作麟祥君 主務大臣ノ處分ニ對シテハイケナイデセウ
○政府委員(南部光臣君) 主務大臣ノ處分ニ對シテハ行政訴訟ダケハ許シテゴザイマセス

○箕作麟祥君 民事訴訟ハ出來ルノデゴザイマスカ
○政府委員(南部光臣君) 民事訴訟ハ此法律ノ此場合ニハ許シテゴザイマセス

○箕作麟祥君 サウスルトドコヘ……

○政府委員(南部光臣君) 主務大臣ニ訴願地方長官ニ訴願ト云フ途ガ有ルノデゴザイマス、ソレカラ第四十條デゴザイマスガ、此四十條ニ附イテモ同様ナ御質問デゴザイマシタガ、此四十條ニ附キマシテハ損害ヲ受ケタル者が自分ノ權利トシテ之ヲ請求スルト云フ途ヲ取ツタノデハナイノデゴザイマス、コトデアリマスナラバ諸君モ御承知ノ通、衆議院デ能ク廢止スルト云フ喧マシイ法律ガアリマス、明治二十三年九月ノ法律第八十四號デアリマス、是ハ毎モ衆議院デ廢止スルト云フモソニデアリマスガ、是ニナンデス命令ノ條項ニ違犯スル者ハ各其ノ命令ニ規定スル所ニ從ヒ二百圓以内ノ罰金若ハ一年以下ノ禁錮ニ處スト云フコトガ八十四號ノ法律ト有ル、丁度唯今申シタ二十三年九月ノ法律第八十四號ト同様ニナツテ重複ノ嫌ガアリマス、若シサウデナクシテ命令ト云フ言葉ヲバ勅令デハナク省令府縣令ヲ意味スルモノデアル、省令府縣令デ以テ二百圓以内ノ罰金若クハ一年以下ノ禁錮ノ罰則ヲ設クルコトヲ得ルト云フ意味ナラバ明治二十三年九月ノ勅令二百八號ニ背イテ居ル、勅令二百八號ト云フモノハ八十四號ノ法律カラ例ヲ取シテ作ツタ勅令デアリマセウガ、是ニハ各省大臣ハ即チ省令デ二十五圓以内ノ罰金若クハ二十五日以内ノ禁錮ノ罰則ヲ附スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ地方長官警視總監ハ即チ十圓以内ノ罰金又ハ拘留ノ罰則ヲ附スルコトヲ得ルトゴザイマス、其上ハ出來ナイノデアル、然ル所ガ五十八條ハ二百圓以内ノ罰金若クハ一年以下ノ禁錮トナツテリマスガ、前ニ申述ベマシタ通ニ勅令……此命令ト云フ事ガ勅令ヲ意味スルナラバ彼ノ法律第八十四號ト重複ニ爲ル、若シサウデナク省令デハナイ訓令府縣令デアルト云フノナラバ唯今申シタ所ノ勅令第二百八號ト矛盾スルヤウデアリマスガ、矛盾シテモ構ハナイト云フスウ云フスマシイ權力ヲ與ヘルト云フ此英斷デアリマスルカ、マダ先キニモ二三箇條ゴザイマスルガソレハソレニシテマソコヲ伺ヒタ

(箕作麟祥君「命令ト云フノハ省令ヤ府縣令モ云フノデスカ」ト述フ)

左様デゴザイマス

(箕作麟祥君「府縣令モ二百圓以内ノ罰金ニ……ト述フ」)

尤モ此法律ヲ施行シマスル細則ハ別ニ省令ヲ以テ極メル積デゴザイマスカラシテ此立法ノ考ハ彼ノ八十四號ト同様ナ考デゴザイマスカラ又二百八號等ノ手續ハ別ニ設ケル積デゴザイマス

○箕作麟祥君 モウ少シ質問致シタウゴザイマス、此五十九條ハ即チ「爭議ヲ生スルトキハ云々」主務大臣ガ決定ヲスル、是ハドウモ我國ノ法律ニ未だ曾テ見ザル所ノ規定ト思ヒマスガ色々争論トカ争トカ云フ字ヲ使テ居リマスノハ町村制等ニモ有リマスガ、ソレハ則チ争論が起レバ地方長官ニ訴願シテ其訴願ノ結果内務大臣ニ或ハ行政上ノ事ナラ行政裁判所ニ出ルコトニナフテ

居リマスガ「争議ヲ生スル」ト云フ一體争議ト云フ字モ權限争議ト云フ字ナノデアリマセウガ、此二ツノ間ニ争議ヲ生ズルトキハ主務大臣ガ決定スルハ

訴願デアリマセウカ何デアリマセウカ奇妙ナモノデ、訴願法ト云フモノガ制定ニナツテ居リマスカラ行政上ノ事ニ就イテ争ガアレバ訴願ノ途ヲ取ルノガ當リ前デアリマスニ是ハ主務大臣ガ決定スルト云フノハ一種特別デ何ゾスウ

云フ事ガ是マデ我國ニ有リマシタラウカ、私ハ新發明ノ規定ダト考ヘマス、ソコヲ一つ承リタイ、續イテ六十一條ノ一項デアリマスガ「主務大臣ノ處分ニ對シテハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス」トアリマス、是ハエラク主務大臣ノ權力ヲ強クサセラアリマスガ既ニ行政訴訟ハ行政裁判法ト云フモノガ有ツテ御承知ノ通、行政訴訟ハ各省大臣ノ處分ニ對シテ直ニ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ルト云フコトニナツテ居マシテ大臣ガ自分デ處分シテ其大臣ガ直様行政

裁判所ニ出ルヨリ途ガ無イカラ行政裁判法ヲ以テ直ニ行政訴訟ガ出來ルト云フ通則ガ定マツテ居ルコトアリマス、然ル所本法即チ河川法ノ如キハ總テ主務大臣ノナサレル事が多々、主務大臣ハ定メテ適當ナル事ヲナサレルデアリマセウガ併シ如何ニ神様ノヤウナ主務大臣ト雖モ時ニ依レバ過ガ無イトハ言ヘナイ、然ル所其處分ニ對シテ主務大臣ニ願ヲスルコトガ出來ルバカリデ、ドコヘモ出ル途が無イ、此事ニ附イテ行政訴訟モ出來ナイ、唯主務大臣ニ向ツテ歎願スルヨリ外ニ途ハ無イ、如何デゴザイマセウカ餘リ抑壓過ルト思ヒマ

ス、之ニ反シテ六十條ヲ見マスト府縣ノ長官ハ……地方行政廳ナラ行政訴訟ヲ起スコトガ出來ル、サウスルト大臣ハ……貴イ國家ノ大臣ハ何ヲシテモ出來ル、縣知事ニ至ツテハ下ノ役人デアルカラヤリ損ヒヲスルカラ行政訴訟ヲ許スト云フノハ餘リ不權衡デアルト思ヒマスガ其邊ハドンナモノデゴザイマスカ、モウ一ツハ唯今ノ次ノ六十二條ノ一項デアリマスガ是ハドウモ分ラヌ「法律、命令若クハ許可認可ノ條件ニ違背シタルヤ否ヤニ付キ争アルトキハ前數條ノ手續ニ依リ其ノ違背シタルトノ事實確定シタル後ニアラサレハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス」此民事訴訟ト云フノハ即チ前ノ條項ヲ見マスト

補償、是ハ民事訴訟ノ賠償ノ事デアリマセウカ、此項デ見マスルト何か争ガアリ、サウシテ前數條ノ手續ニ違背シタルトノ事例ヘバ命令ナリ法律ナリ許可ナリ認可ノ條件ナリニ違背シタルト云フコトガ片付イタ後デナケレバ是ハ補償ヲ求ムルコトガ出來ナイ、ソシナ窮屈ナコトヲシナイデモ民事訴訟ヲ起シテ置イテ行政上ノ事が確定スルノヲ待ツテカラデ宜イ、又民事ノ裁判所ガ起レバ損害賠償ノ事デアリマスカラ行政上ノ事ハ片付カヌデモ是ニハ損害ガアルカラ補償シテ宜イトカ補償スルニ及バヌトカ云フ判決ヲ下シテ宜シイ、ソレヲ行政上ノ事ハ濟マヌ上ハ損害賠償ガ出來ヌト云フハ如何ナ規定ト思ヒマス、斯ウ云フ窮屈ナモノニセズトモ宜ササウナモノデアルト思ヒマス、此二箇條ヲ……

(政府委員南部光臣君演壇ニ登ル)

○政府委員(南部光臣君) 御答ヲ致シマスルガ此争議デゴザイマス、五十九條ノ争議ハ如何ニモ是ハ始メテ斯ウ云フモノガ出来タノデゴザイマス、デゴザリマスルガ此必要ヲ認メマシタ理由ハ訴願トカ行政訴訟トカ云フヤウナ途ニ依ツテノミ争フ決スルト云フコトニナリマスルト云フト或行政處分ノ取消ヲ求メルトカ或ハ毀損シタ權利ノ回復ヲ求メルヤウナ場合ニ限ルノデゴザイマ

シテ唯此仕事ガ一體法律命令ニ違背シタルモノデアルカ、ドウカ、法律命令ニ違背シタルモノデアルト一方ハサウ言ヒ、一方ハ法律命令ニ違背シテハ居ラヌ

ト言ヒ、ソレデ斯ウ云フコトヲ極メル所ガ一ツモ無イ、其處分ノ取消ヲ求メコトヲ承リタイ、續イテ六十一條ノ一項デアリマスガ「主務大臣ノ處分ニ對シテハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス」トアリマス、是ハエラク主務大臣ノ權利ノ回復ハ求メラレナイ、併ナガラ權利ノ回復ニ違背シタルドウカト云フコト

河川ノ區域ニ附キマシテモドコカラドコマデガ其區域デアルト云フコトニ附テ方デハ民事訴訟ヲ許スニ附イテモ其法律命令ニ違背シタル工事ニ依ツ

トガ極ツタ上デナケレバ民事訴訟ヲ提起サセナイ仕方ニナツテ居リマス、其事柄ニ附イテハ後トデ言ヒマスガ……サウ云フ譯ニナツテ居リマスカラ民事訴訟ヲ提起シヤウトスルニハ必ズ訴願訴訟ノ途ヲ取ラナケレバナラヌ、此訴願ノ途ヲ開イテ置キマセウト……併ナガラ法律命令ニ違背シタル工事ニ依ツ

テ損害ヲ受ケタル者ハ其違背シタル所ノ工事ヲ取除ケテ吳レト云フノデモ何デモナイソレデ宜シイケレドモ唯自分デ作ツタ所ノモノ、損害賠償ヲ求ムルニ過ギスト云フトキハ持ツテ行キ所ガ無イ、法律命令ニ違背シタルト云フコトヲ極メル場所ガ無イモノダカラ此争議ト云フ途ヲ開イタノデアリマス、ソレカラ六十二條ノ二項ニ「主務大臣ノ處分ニ對シテ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス」トアル是ハ如何ニモ主務大臣ガ段々勝手ナコトヲスルヤウニ仰セラレタデスガ大體此法律ニモゴザイマスル河川ト云フモノハ公共ノ利害ニ重

大ノ關係アルト云フ大切ナ川デゴザイマス其中デ又主務大臣ノスル所ノ仕事ト云フモノハドウ云フ事デアルカラト云フト其中ノサウ云フ重大ノ河川ノ中ノスル時ニハ其訴訟ノ確定ヲ待ツト云フコトモ出來マスル又暑中休暇杯ニ當リマシテハ其事件ヲ先キニ延バスト云フヤウナコトモ出來マスルケレドモ此主云フコトヲ許シマスルト或ハ行政裁判所ハ自分ノ權限ニ依ツテ其工事ノ施行ヲ中止スルコトガ出來マスル又或ハソレニ關聯シテ民事訴訟ガ起ツテ居リマスル時ニハ其訴訟ノ確定ヲ待ツト云フコトモ出來マスル又暑中休暇杯ニ當リマシテハ其事件ヲ先キニ延バスト云フヤウナコトガアツテハ甚ダ困ルト考ルノデアリマス、ソレカラ次ニ六十二條ノ一項デアリマスルガ是ハ此「法律命令若クハ許可認可ノ條件ニ違背シタルヤ否」ト云フコトハ全クノ行政事項ニ屬スルモノデゴザイマスカラシテ是ハ行政上ノ手續ヲ以テ愈々は法律命令若クハ許可認可ノ條件ニ違背シタルモノデアルカラト云フコトハ行政廳ノ方デ以テ認メルノデゴザイマス、即チ争議ノ決定ニ依リ、争議ノ裁決ニ依リ行政訴訟ノ判決ニ依ルト云フヤウナ工合ニ總テ行政上ノ手續ニ依ツテ法律命令若クハ許可認可ノ條件ニ違背シタルヤ否ヤト云フコトヲ極メタイ、之ヲ若シサウシマセヌト云フト司法裁判所ニ極メラル、ト云フコトニナルト地方長官ナリ主務大臣ナリガ致シマシタル所ノ行政行為ガ適法デアルカ不適法デアルカト云フコトヲ民事裁判所デ決定シナケレバナラヌト云フコトニナリマスカラ甚ダ宜シクナシタ、ソレヲ避ケテ行政手續デ以テ是等ノ争ガ決定シタル後ニ於テ民事訴訟ヲ許ス、云フト司法裁判所ニ極メラル、ト云フコトニナルト地方長官ナリ主務大臣ナ

○箕作麟祥君 唯今段々質問致シマシテソレ、政府委員カラ御答ガアリマス、其他ニモ未ダ承リタイ條モアリマスケレドモ餘り諸君ノ御妨シシテハ

相濟ミマセヌカラ是デ質問ハ差控ヘマス、唯今御答辯ニナリマシタノハドウモ要領ヲ得ナイガ多イ何時マデ伺^シテモ恐クハ要領ハ得マイト考ヘマス、意見ガ違フノデアラウト考ヘマスカラソレハソレデ措キマスガ私ハ改テ此河川法案ハ前特別委員ニ六名ノ追加ノ委員ヲ設ケテ再付託ヲスルト云フ動議ヲ發シマス、其理由ハ長ク述ベタインデアリマスガ誠ニ今マデ質問デモ長ク時間ヲ費シマシタカラ是ハ簡単ニ述ベマスガ全體此河川法案ト云フモノヲ見マスルノニ一概ニ言ヘバ川ヲ見テ人ヲ見ズト云フヤウナ姿ニ出來テ居ルト考ヘル成程川普請ヲスルノニ大變ニ意ヲ用ヒテ居ルガ是ハ河川法案ダカラサウアルベキ筈デアリマスガ去リトテ公共團體或ハ一個人ノ權利ヲ重ンジナイヤウナ仕組ニ出來テ居ルヤウニ考ヘラルヽモウ一ツ不思議ナコトハ此法案ハ法律ニ違ヒアリマスマイケレドモ法律ト云フモノハ事物ヲ規定シテ斯ウデアルヽサウデアルト極メルノガ法律ノ精神、性質デアル、然ルニ此法律ハ何モ彼モ命令ニ讓^シテアル何トナレバ命令ヲ以テ之ヲ定ム又命令ノ定ムル所ニ依ルト云フヤウニ命令ト云フ字ガ矢鱈無性ニ出テ居ル私ハ命令ト云フ字ヲ數ヘマシタラ命令ガ四十箇所有ル隨分奇態ナ法律デアル、法律ト云フモノハ事ヲ極メルノガ法律デアル然ル所過半ハ命令ニ讓^シテアル即チ勅令デ極メルカ知レマセヌガ此法律ハ何モ彼モ命令ニ讓^シテアル誠ニ奇態ナ法律思ハルヽ又今日ハ質問ヲ致シマセヌカッタケレドモ速記録ヲ見マスルト確カ一讀會ノ時ドナタデアリマシタカ此法律ト水利組合條例ガ是ハ今日現行法トナッテ出來テ居ルガソレト此法律トノ關係ヲ尋ネラレマシタ所ガ政府委員ノ御答ニ此法律ハ水利組合條例ト並ビ行フモノデアルト云フヤウナ御答デアッタヤウニ承リマス所ガ水利組合條例ト云フモノハ即チ水利組合ト云フモノガ有^シテ其組合ニ這入ル者ハソヨニ關係ノアル土地ノ……地所ニ土地トカ家屋トカヲ所有シテ居ル者ガ皆此組合ニ這入ルモノデアツテ其組合員ノ中ニモ委員ト云フモノガ有^シテ恰モ是ハ町村ノ如キモノデアツテサウシテ町村ノヤウナモノガ恰モ一ノ法人ノヤウナ仕組ニナッテサウシテ其法人ノ權利義務ヲ持^シテ居ル斯ウ云フ姿ニナッテ頗爾獨立自治ノ精神デ出來テ居ルヤウニ心得マス、然ル所ガソレト相牽聯シテ共ニ行ウト云フ此河川法案ナルモノハマルデ精神ガ違^シテ居ル、此法案ハ唯今ノヤウナ法人トカ或ハ獨立自治ノ團體ト云フヤウナモノニアラズシテ内務大臣トカ地方長官ト云フ人ガ大層ナ行政權力ヲ持^シテ之ヲ行フヤウナ精神ガ此法案デ十分分^シテ居ルソレト共ニ行フト云フハ水利組合條例ト全^シ精神ガ違^シタ法律ヲ作ルモノト謂ハナケレバナラヌト思フ、ソコ等ノ所ヲ調査シナケレバラソレカラ又先程質問致シマシタ箇條ハ諸君モ御聞ノ通デアリマスケレドモ甚ダドウモ御答辯ガ不満足デアル即チ一ノ例ヲ舉グレバ内務大臣ニ出訴ヲ許サヌト云フコトハソレハ仔細ナイヂヤナイカト云フ御答辯ガアリマシタケレドモ、是ハ先程モ述ベタ通行政裁判所ノ方ニモ既ニ大臣ノ處分ニ對シテ行政訴訟ガ出來ルト云フコトガアルノニ態ミ斯ノ如ク内務大臣ガ大權力ヲ以テソレヲ片^シ端カラヤルト云フコトハドウモ今日ノ立憲政體ニ穩カナラヌ規定デアルカト思ヒマス、又其他ノ事ニ於テモ出訴ノ途ヲ許サヌ箇條ガ段々有ル是等ニ於テモ唯抑^シヘ附ケルモノデアリマセウガ、ドウカ何トカシテ出訴ノ途ヲ開ケテ置イタ方ガ宜カラウト考ヘマス、四十二條ノ先キニ田畠へ引ク用水ノ事ヲ尋ネマシタ所ガ是ハ百姓ノ田

ヘ水ヲ引クコトハ言ハヌト云フ御答デアリマシタガ併ナガラドウ見テモ流水ノ使用ヲ許シタ時ハ其流水ノ使用者ヨリ使用料ヲ取ルトアルガ其積デハナイト言ハレマシタケレドモマア此百姓ガ水ヲ田地ヘ引ク時ニハ此使用料ヲ取^シキ筈デアリマスガ去リトテ公共團體或ハ一個人ノ權利ヲ重ンジナイヤウナ仕組ニ出來テ居ルヤウニ考ヘラルヽモウ一ツ不思議ナコトハ此法案ハ法律ニ違ヒアリマスマイケレドモ法律ト云フモノハ事物ヲ規定シテ斯ウデアルヽサウデアルト極メルノガアル然ル所過半ハ命令ニ讓^シテアル即チ勅令デ極メルカ知レマセヌガ此法律ハ何モ彼モ命令ニ讓^シテアル誠ニ奇態ナ法律思ハルヽ又今日ハ質問ヲ致シマセヌカッタケレドモ速記録ヲ見マスルト確カ一讀會ノ時ドナタデアリマシタカ此法律ト水利組合條例ガ是ハ今日現行法トナッテ出來テ居ルガソレト此法律トノ關係ヲ尋ネラレマシタ所ガ政府委員ノ御答ニ此法律ハ水利組合條例ト並ビ行フモノデアルト云フヤウナ御答デアッタヤウニ承リマス所ガ水利組合條例ト云フモノハ即チ水利組合ト云フモノガ有^シテ其組合ニ這入ル者ハソヨニ關係ノアル土地ノ……地所ニ土地トカ家屋トカヲ所有シテ居ル者ガ皆此組合ニ這入ルモノデアツテ其組合員ノ中ニモ委員ト云フモノガ有^シテ恰モ是ハ町村ノ如キモノデアツテサウシテ町村ノヤウナモノガ恰モ一ノ法人ノヤウナ仕組ニナッテサウシテ其法人ノ權利義務ヲ持^シテ居ル斯ウ云フ姿ニナッテ頗爾獨立自治ノ精神デ出來テ居ルヤウニ心得マス、然ル所ガソレト相牽聯シテ共ニ行ウト云フ此河川法案ナルモノハマルデ精神ガ違^シテ居ル、此法案ハ唯今ノヤウナ法人トカ或ハ獨立自治ノ團體ト云フヤウナモノニアラズシテ内務大臣トカ地方長官ト云フ人ガ大層ナ行政權力ヲ持^シテ之ヲ行フヤウナ精神ガ此法案デ十分分^シテ居ルソレト共ニ行フト云フハ水利組合條例ト全^シ精神ガ違^シタ法律ヲ作ルモノト謂ハナケレバナラヌト思フ、ソコ等ノ所ヲ調査シナケレバラソレカラ又先程質問致シマシタ箇條ハ諸君モ御聞ノ通デアリマスケレドモ甚ダドウモ御答辯ガ不満足デアル即チ一ノ例ヲ舉グレバ内務大臣ニ出訴ヲ許サヌト云フコトハソレハ仔細ナイヂヤナイカト云フ御答辯ガアリマシタケレドモ、是ハ先程モ述ベタ通行政裁判所ノ方ニモ既ニ大臣ノ處分ニ對シテ行政訴訟ガ出來ルト云フコトガアルノニ態ミ斯ノ如ク内務大臣ガ大權力ヲ以テソレヲ片^シ端カラヤルト云フコトハドウモ今日ノ立憲政體ニ穩カナラヌ規定デアルカト思ヒマス、又其他ノ事ニ於テモ出訴ノ途ヲ許サヌ箇條ガ段々有ル是等ニ於テモ唯抑^シヘ附ケルモノデアリマセウガ、ドウカ何トカシテ出訴ノ途ヲ開ケテ置イタ方ガ宜カラウト考ヘマス、四十二條ノ先キニ田畠へ引ク用水ノ事ヲ尋ネマシタ所ガ是ハ百姓ノ田

○政府委員(松岡康毅君) 段々簗作君ヨリ數々ノ御質問デゴザイマシテ政府委員ヨリ一通り御答ハ致シマシテ置キマシテゴザイマスルガ尙ホ重ネテ本

此四十二條デゴザイマスルガ水ヲ用フル者カラ使用料ヲ取ルコトニ矢張見エ
ルト云フ御説モゴザイマシタ是ハ餘程諸君ノ御考ニ於キマシテモ大關係ヲ持
タウト存ジマスカラ一應説明ヲ致シマスルガ是ハ先刻南部委員ヨリ申述ベマ
シタ通ニ當リ前ノ田地ノ灌漑用水ニハ少シモ關係ハナインデゴザイマス、現
在モ河ノ流水中ニ幾分カ仕切ッテソコヘ魚ヲ飼ヒタイ或ハ餘リ水ノ流レナイ
所ノ廣イ川原抔ニ石或ハ木材ノ置場ニシタイト云フ願ヲスル者ガゴザイマス
ソレ等ハ從來相當ノ使用料ト云フモノヲ取ッテ各地方ニ於テ使用ヲ許シテ居
ルノデゴザイマス、サウ云フ實例ノ有ル所ノ事ヲ此處ニ申シタノデアリマス、
決シテ今日マデノ此多クノ川ミニ井堰ヲ掛け用水路ヲ著ケテサウシテ田畠ノ
灌漑用ニシテ居ル水ヲ此處へ見タノデハアリマセヌノデ現在流水或ハ川床ノ
使用專用ト云フコトヲシテ居ラテサウシテソレカラ使用料ヲ取ッテ居ルト云
フ實際有ルノ此處へ書キマシタノデアリマスカラ此事ハ灌場ノ諸君ニ於キ
マシテモドウゾコト御辨別ニナリタインデゴザイマシテ新規ニ從來ノ田地
灌漑用水ヘ以テ行ツテ使用料ヲ取ルト云フ苛酷ナ法律ヲ設ケタト云フ譯デハ
ナイ現在流水或ハ川床地ヨリ使用料ヲ取ッテ居ルト云フノ此處へ書キマシ
タノデゴザイマス、ソレカラ先刻四十條ノ補償手續ヲ命令ヲ以テ定ムト申シ
タ所杯モ酷ク箕作君ノ御氣ニ協ハヌヤウデアリマスケレドモ原來是杯ハ各地
方ニ經驗ノアル處分モ此中ニ多クゴザイマスルガ洪水ノ出ル時分ニ俄ニ其處
ノ疊ヲ持ダシタリ戸板ヲ取寄セタリシテ堤防ノ破壊スルノヲ防グト云フノハ
間ニ有リマスガ其時分ハドウ云フコトニナシテ居ルカト申スト多分補償金ト
申スノハ無イノデゴザイマス、只、デゴザイマス、多クノ堤防ノ決潰スル時分
ニ急場ニ近傍ノ人民ノ器物ヲ寄セテソコヲ防クト云フ時分ノハ訴訟ドコロデ
ハナイ、只ガ多イノデゴザイマス、ソレ故ニ此土木會ニ於キマシテモ此簡條
ハ要ラナイ、現行ノ通ニサウ云フ時分ニハ矢張慣行ニ依ツテ其近傍ノ者ガ疊
ナリ蒲團ナリ戸板ナリ儀ナリ手當リ次第持ツテ來テソコラノ防ギヲスルコト
ガ一般ノ慣例ニナシテ居ルカラ俄ニ斯ウ云フコトシテ補償金デモヤルト云
フ途ヲ開イタトキニハサウ急ニ儀ヲ用ヒンナラヌト云フ時分ニ何枚疊ガ何枚
戸板ガ何枚ト數ヘ掛ツテ後トデ補償ヲセネバナラヌト云フヤウニナシテハ甚ダ
急場ノ防ギニ妨ガ起り、慣行ニモ無イコトアルカラト云フコトデアリマシ
タ新規ニ開ケバ如何ニモ驚クヤウデアリマスガ補償ヲ遣ルト云フノハツ進
ンダヨトデ實際ニハヤラヌノガ多イデゴザイマス、又費用ノ一部ト云フコト
ハ分ラヌト云フ御説ガゴザイマシタガ是ハ餘リ珍ラシイコトモナインデゴザ
イマス、行政上ノ堤防ヲ致シマシタリ河ノ普請杯ノ時分ニ又道路デモドウモ
何分ミト申スヤウナ歩合ヲキチント極メテスルヤウナコトハ今マデモ殆
ド出來得ナイ無イコトデアリマンテ河ナリ堤防ナリ道路ナリ是ハ道路ニ關係
シマセヌガ其物ニ依リマシテ大抵物柄ト地方ノ負擔ヤ杯ヲ寄セマシテ時
ノ大抵ノ物ヲ定メテ居ル、行政ノ上デ定メテ來ルノデアリマシテ是コソ外ノ
寸尺ヲ以テ定メタリ金高ヲ豫メ度合ヲ定メルト云フコトハムヅカシイモノデ
アリマシテ利害ノ關係厚薄ト云フノモドウモシマセヌガ其物ニ依リマシテ時
コトハムヅカシイモノデアリマスカラ矢張、行政上ノ活斷デ參ツテ居ルノデ
アリマスカラサウ新規ナモノト云フ次第モアリマセヌ、諸リ河川法ト云フ
モノハ唯様命令ガ多クテ行政官ガエライ者ニナリ過ルト云フ御説デゴザイマ

スルガ成程此命令ト云フノハ多ク有リマス、多ク有リマスガ是モ書キヤウニ
依リマシテ、仕舞ニ參リマシテ此法律ヲ施行スルニ必要ナルモノハ命令ヲ以
テ之ヲ定ムト云フヤウナ書方ニナレバ、ソレヨリ上ニ二十箇條有レバ十箇條皆
命令デ施行スル必要ノ箇條ヲ設得ラル、ヤウナ書方モ出來ルノデゴザイマス
ケレドモ併シ此何程カ普通ノ法律ヨリ命令ト云フモノガ多イニ違ヒアリマセ
ヌ、又多クセザルヲ得ヌ是ハ亦ドウモ唯今マデノ所ハ御承知ノ通一定ノ法律
ハト云フモノガ無クシテ此大キニ金ガ掛リサウシテ利害關係ノ大ナル土功ト
云フヤウナルモノヲシテ居リマスノデゴザイマスカラナカヽサウ細カク刑
法ヤ民法ヲ書クヤウナ細カイ規定デスルト云フコトハ出來ナイノデアリマシ
テ本來ハ申セバ水害ノ補助デゴザイマシテモ又今日マデノ改良工事ニ於キマ
シテモ一トシテ極ツタト云フ事ハ無イノデゴザイマスソレ故ニ河川ノ工事ヲ
シテ居リマシテモ費用ノ負擔カラ工事ノ部分ニ於キマシテモ同一ニナ
リ兼ネテ居リマスルソレラノ事ハ成ルタケ此費用ノ負擔ダメノ工事ノ事柄モ同
一ニシタイト云フノガ此法律ノ趣意デゴザイマスルカ唯今マデノ所ハ殆ド何
モ無イ所ノモノデヤツテ居リマス、ソレ故ニ之ヲ捐ヘタガタメニ大ニ人ノ權
利ヲ輕クシテ行政權ヲ唯サマ膨脹サセルト云フ結果ニ爲ルノデナクシテ是ダ
ケノモノガ出來テ來レバ尙ホ負擔ノ所在モ明ニナルシ其人民ノ權利モ從ツテ
輕蔑スルノ躊躇スルノト云フコトハナイ、土地ノ收用ナラバ收用ニ附イテ收用法
モ分リマセウ此河川ノ保護ヲスルト云フ類ニ就イテ何ヲ人民ガ訴訟ヲスル必
要ガアルカ土地ヲ收用サレルトカ云フ位ヨリ他ニ何ニモ必要モナケレバ又今
日ノ法律ノ上デ訴訟ヲ許シテ居ナイ、土地ノ收用ナラバ收用ニ附イテ收用法
ダケノコトガゴザイマス、是ハ又此河川法ヲ行シタメニ土地家屋ヲ只取ラ
レルト云フコトハナインデゴザイマス、收用法ハ矢張收用法デゴザイマシテ
其方ハ此法律ヲ立テタガタメニ一向權利ヲ毀損スルコトハナソレヲ除ケレ
バ今日ノ所デハ頻ニ何等ノ訴訟ヲセヌケレバナラヌト云フ必要ガアルカト
アツテソレ故ニ此法律ヲ捐ヘタガタメニ今マデ有ルモノヲ奪フト云フガ如キ
事柄ハ殆ド有リモ致シマセヌ、又斯ウ致シテ置キマシテモソソニ人民ノ權
利ヲ害スルト云フヤウノコトハナカラウト存ジマス、是ガ有ツタガタメニ勝
手ナ處分が出來得ラル、デアラウト云フ御説デアリマスケレドモ今マデノ通デ
言ツテ見マスレバ殆ドナイ、ドコノ河ヲ改修シテナリ苟モ費用ノ負擔ガ極マ
レバソレハ後ノ所ノ租稅ハ徵收法ヲ用ヒルガ如クニナシテ居リマスカラアン
マリ民事ノ訴訟ダノ訴願ダノ行政訴訟ト云フモノガ無イ、今日マデノ通デ
アツテソレ故ニ此法律ヲ捐ヘタガタメニ今マデ有ルモノヲ奪フト云フガ如キ
事柄ハ殆ド有リモ致シマセヌ、又斯ウ致シテ置キマシテモソソニ人民ノ權
利ヲ害スルト云フヤウノコトハナカラウト存ジマス、是ガ有ツタガタメニ勝
手ナ處分が出來得ラル、デアラウト云フ御説デアリマスケレドモ今マデノ所
ハ是ガ無イカラト申シテ勝手ノ處分が行ハレテ居ルト云フ譯ハナインデゴザ
イマス、寧ロ何ニモ無シニシテ居ル方ガ處分が勝手カモ知レマセヌケレドモ
サウ物ヲ極メナイデ……斯クモ爲セバ大キナ事が勝手ニ出來ル又無イガ幸ニ
シヤウト云フコトハ宜シクナニ依ツテ成ルタケ定メルモノハ定メテ往キ、
第一番ニ此法律ヲ立テマシタ趣意ハ何ガ趣意カト申シマスルト決シテ其行政
權ヲ大キシヤウノ張ラウノト云フ趣意デハナインデス、先刻其箕作君ノ御
説ニ戰後ノ經營ト云フガ如キモノニ附イテハソレハ已ムヲ得ヌケレドモ是位
ノモノハソレナニ急ヲ要スルモノデモナカラウト云フ御説デゴザイマシタケ
レドモ内國ノ政治即チ内政ノ上カラ見マスレバ租稅ヲ生出スト云フ途モ矢張
此產物ト云フモノガ無クバ生ジテ來ナイト云フコトハ申上ゲルマデモゴザイ

マセヌ河ノ害ト申シマスルモノハ大キナモノデゴザイマシテ年々此十箇年許

リノ間ニ國庫ノ支出致シマシタ補助トシテ出シマシタ金デモ一千何百万圓ト

云フ金ニナツテ居リマス、又直接ニ人民ガ作ツタ米穀類ヲ流シテ仕舞ヒマシ

タリ田畠ヲ荒シタリ家屋ヲ流シタリ或ハ甚シキハ多クノ人命ヲ喪ヒマシタ類

ノモノハ矢張此水デゴザイマス、其害ヲ除イテサウシテ利ヲ興スト申ス所ノ

仕事デゴザイマスカラ矢張内政ノ上カラ見ルト是ハ詰リ輕ミシイモノデゴザイマセズ第一此法律ヲ極メマシタ所ノモノハ右ノ河川ノ如キモノヲ改良シ

ヤウト致シマシテモ此地方ノ負擔致シマス所ノ金ノ賦課法等ニ甚ダ差支テ居

リマスト申スノハ御承知ノ通市町村ハ不均一ノ課税ト云フモノガ出來マスケレドモ此府縣ニ於キマシテハ稅ハ均一ニシナケレバナラスト云フ姿ニナツテ居リマス、然ルニ其河杯ト申スモノハ御承知通り府縣ノ中デ全部ニ必ズ有ルモノアハゴザイマセズ片寄ツタ方ニ參リマスルト自ラ山黨河黨ト云フ類ガ出来マシテ利害ノ關シ方ガ餘程違ヒマスソコニ均一ノ稅ヲ賦課シテサウシテ改良工事ニ大キナ金ヲ取ラウト致シマスルト府縣會ニ於テハ人民ヲ代表シ所

デ餘程落付ガムヅカシイ

(箕作麟祥君「サウ云フコトハ贊成シテ居リマス」ト述)

ソレ故ニ不均一ノ稅ト云フモノハ最モ必要ナルタメニ茲デ捨ヘマスルシ……餘リ長クナリマス却テナンデゴザイマスガ元トニ行政權ヲ膨脹シヤウト云フ目的デモゴザイマセズ河川ノ改良ヲスルニハ色ニ妨ノアルモノヲ妨ナク正當ノモノヲヤラウト云フノガ目的ノコトデゴザイマスルカラ此法ノタメニ決シテ人民ニ害ヲ爲スヤウナ權利ヲ害スルト云フヤウナコトハシナイ、有モシナイト云フ考デアリマス、何卒此儘多數ノ諸君ノ御協賛ヲ經マシテ速ニ通過スルコトヲ希望致シマス

(中根書記官長朗讀)

東京府下都廢置法律案外一件特別委員

子爵京極高典君　正君　子爵本多政憲君　村田柴原和君

渡邊千秋君　彰君　男爵藤枝雅之君　桂策君　鈴木傳五郎君

葉烟草專賣資金會計法案特別委員　子爵由利公　正君　子爵松平直哉君　子爵加納久宜君　小原重吉君　村田重吉君　小原重吉君　渡邊甚吉君

馬屋原彰君　彰君　平山成信君　渡邊甚吉君　子爵岡部長職君　子爵岡部長職君　子爵小笠原壽長君　子爵小笠原壽長君　西村亮吉君　三木與吉郎君

豫定線路中私立鐵道會社二敷設許可ニ關スル法律案(甲)外五件特別委員　伯爵島津忠亮君　子爵曾我祐準君　子爵岡部長職君　子爵堀田正養君　男爵小澤武雄君　西村亮吉君　三木與吉郎君

郡制改正法律案特別委員　公爵德川家達君　伯爵小笠原忠忱君　森山柴原和君

男爵千家尊福君　伯爵小笠原忠忱君　岡内重俊君　茂君

輸入羊毛海關稅免除法律案特別委員　侯爵黒田長成君　子爵船橋遂賢君　富田鐵之助君

長谷川貞雄君　平山成信君　水之江浩君

子爵稻垣太祥君　富田鐵之助君

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)　午後零時四十一分休憩

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)　午後一時四十二分開議

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)　午前ノ會議ヲ繼續致シマス

○村田保君　午前ニ於キマシテ本員ハ箕作君ノ委員再付託說ニ贊成致シマシテ期日ハ明後日ノ十二時マデト致シマシタガ段々議會モ切迫致シマシテ居リマスカラドウカ此審查ハ明日中ト云フコトニ致シタ伊存ジマス更ニ此議ヲ提出致シマス

○馬屋原彰君　本員モ先刻箕作君ノ再付託說ガ出マシテ是ニ贊成デゴザイマスルカラ此處デ述ベテ宜シウゴザリマスカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)　宜シウゴザリマス

○馬屋原彰君　先刻箕作君カラソレ＼簡條ヲ舉ゲラレマシテ陳述サレマシタ所ハ多ク本員ハ同感デアリマスル尙ホ其外ニモ本員ノ見ル所ニ依リマスレバ再審查ヲ願ヒタイト云フ所モアリマスカラ此法ニ付託シテ以テ

篤ト孜究ヲシテ貴ツタナラバ此法律案ハ完全ナル結果ヲ得ルデアラウト信ジテ居リマス、固ヨリ本員ニ於キマシテモ此河川法其モノニ附キマシテハ決シテ不同意ハナインデアリマス是マデ一定ノ制度モナク是ガタメニ河川ノ管理監督其他改修等ノコトニ至リマシテハ十分ニ手ガ著カヌト云フコトノ事情モ

存ジテ居リマスカラシテ今日ニ於テ此河川法ヲ設クリト云フコトハ必要デアルト認メテ居リマス、サリナガラ幾ラ是ヲ必要ト致シマシテモ如何セン此河川万般ノ事ニ關係致シテ居リマス所ノ法律ニ不完全ノ處ガアリマスル以上ハ

其不完全ナルニ依ツテ生ズル所ノ弊ト申シマスルモノモ決シテ鮮少デナイト考ヘマスカラ尙ホ孜究ヲ盡シテ完全ナルモノニ致シタ伊ト云フコトハ蓋シ諸君モ御異存ハナインデアリマシテ河川ヲ管理監督スルコトニ附キマシテ其方

法等ニ關シテモ何分分ラヌ處ガアリマスノデアリマス、此第十六條ノ如キ舟筏ノ航通及流水ニ關スル規定ノ如キハ人民ニ關シテ利害ノ有ルコトデアル、

茲ニ第四十七條ニ河川附近ノ土地家屋耕作物ノ制限等ノ事がアリマスルガ實

ニ民業ナリ財産ナリニ關シマシテハ重要ナ事柄デ然ルニ此規定ハ凡テ命令

テモ其外尙ホ第五十九條ノ爭議ノ決定ニ關スル所ニ至リマシテハ最モ不備ナ

點ガ多イヤウニ考ヘマス、其一例ヲ舉ゲテ見ルト主務大臣ガ決定セラル、ニ

附キマシテハ文書ニ依ツテ是ガ曲直ヲ決定セラルノデアルカ或ハ爭議者ヲ東

京マデモ喚デ事柄ニ依ツテハ審問ヲシテ然ル後ニ決定ヲ下サレルノデアル

カ、此法文上ニ一モ手續が規定シテナ、皆命令ニ讓フテアリマス、然ルニ此決定ハ取モ直サズ主務大臣ニ爭議ヲ裁判スル權限ヲ與ヘルモノト思ヒマス、如何ニ特別法デアリマシテモ是等ノ手續ト云フモノハ法文ニ大綱ダケハ

掲ゲテ置カナクテハナラスト考ヘマス、其他行政訴訟ノ點ニ至リマシテモ先刻以來箕作君其他村田君カラモ御說が出マシテ更ニ本員ガ喋々スルニ及ビマセヌが主務大臣ノ處分ニ對シテ出訴ヲ許スカ許サヌトカ云フコトハ既ニ行政裁判法ニ於テ一定ノ標準ガ定メテアルノデアリマシテ、之ニ相違スルダケノ特例ヲ設ケルト云フコトハ立法上ノ體面上ニ於テ如何デアラウカト本員ハ考ヘルノデアリマス、是等ノ點ニ附キマシテハ更ニ審査討究ヲ盡シテ貴ヒタイト云フコトヲ切ニ希望スル所デアリマス、依ッテ箕作君ノ再付託說ニ贊成ヲ致ス次第ニアリマス

○子爵曾我祐準君 本員モ此法案ノ必要ナルコトハ認メテ居ル者デアリマス、併ナガラ如何センドウモ瑕瑾ノ多イ法案デアリマスニ依ッテ、箕作君ノ發議ニ更ニ六人ノ委員ヲ増シテ舊九人ト併セテ十五人ニシテ其委員ニ再付託致スト云フコトニモ贊成ヲ致シマス、即チ十五人ノ委員ニ再付託シテ報告ノ時限ヲ明日中ト云フコトニモ贊成ヲ致シマス

○小畠美稻君 箕作君ノ委員再付託ニ贊成ヲ致シマス

○男爵楨村正直君 今曾我君ノ述述べラ通ニ箕作君ノ說ニ贊成ヲ致シマス

○男爵渡邊清君 贊成ヲ致シマス

○子爵岡部長職君 本員モ贊成ヲ致シマス

○子爵曾我祐準君 發議者ハ如何デゴザイマシタラウカ、其六人ハドウシテ選ブ積デアリマスカ、發議者ハ六人ノ選ビヤウヲ申シテ居ラレヌナラバ其六人ハ議長ノ御選ビニ任セルト云フコトヲ併セテ一言申シテ置キマス

○男爵伊達宗敦君 私ハ唯今缺席シテ居リマシテ箕作君ノ御說ヲ伺ヒマセヌデアリマシタガ、箕作君ノ御說ハ此河川法案ヲ委員ノ數ヲ増シテ再付託ヲシタイト云フスウ云フ御說デアリマシタカ一寸……

○箕作麟祥君 唯今伊達男爵カラ御問デアリマスカラ御答致シマスガ、私ノ說ハ即チ伊達男爵ノ言ハレル通始ノ九名ニ更ニ六名加ヘテ十五名ノ委員トシテ再付託ヲシテモウ一遍調査ヲシテ貴ヒタイ、サウシテ起立ノ序ニ申シマスガ唯今曾我子爵ノ御注意ニナリマシタ通アトノ六名ハ議長ノ指名ニ任セルト云フコトヲ、ツイハイハ申シマセヌデアリマシタガ全ク其積デ、又時間ノ事モ申シテ置キマセヌデシタガは村田君ノ言ハレルノガ適當ト思ヒマスカラ其通ニ相成ランコト希望致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 箕作君ヨリ再付託ノ說が出マシテ村田君ヨリハ期限ヲ明日中ニスルト云フ說ガゴザイマス、又選定方ハ曾我子爵ヨリ議長ニ託スルト云フコト、是ハ別々ノ議員ヨリ動議が出テ居リマスガ、モウ一括シテ決ヲ採ル積デアリマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 即チ唯今ノ再付託、ソレカラ議長ニ委託スル、但此ノ法律施行前ニ於テ八王子區裁判所ヲ東京地方裁判所爲シタル裁判ニ對スル上訴ハ期限ハ明日中ト云フ此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ裁判所ノ設立及位置竝管轄區域ノ變更ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス特別委員長報告

○子爵曾我祐準君 唯今ヨリ先刻我ニ付託ニナリマシタ鐵道ノ豫定線路ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスガ定足數ニ差支ガナケレバ退席致シタウゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 差支ハゴザイマセヌ、別ニ御異議ナイト認メマス、宜シウゴザイマス

(公爵德川家達君演壇ニ登ル)

○公爵德川家達君 裁判所ノ設立及位置竝管轄區域ノ變更ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、此委員會ニ於キマシテハ清浦政府委員ノ出席ガゴザイマシテ一應説明ヲ致シテ貴イマシタ所ガ此法案提出ノ理由ハ過日一讀會ノ節ニ芳川司法大臣カラモ述ベラレマシタ通ノ理由

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 聽ヘマセヌガ……

○松本鼎君 讀會省略ノ動議ヲ提出致シマス

○松本鼎君 本案ハ讀會省略ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 聽ヘマセヌガ……

○山田卓介君 贊成

○湯地定基君 贊成

○南郷茂光君 贊成

○金澤松右衛門君 贊成

○飯淵七三郎君 贊成

○小林小太郎君 贊成

○子爵伏原宣足君 贊成

○馬場道久君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 聽ヘマセヌガ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 松本君ヨリ讀會省略ノ請求ガゴザイマシテ定規ノ贊成ガゴザイマス、讀會省略ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 起立者 多數

○子爵土方雄志君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三分ノニ二以上ト認メマス

○子爵加納久宜君 是ヨリ葉煙草專賣ニ係ル法律案ノ特別委員會ヲ開キタウゴザイマス、差支ガナケレバ退席致シタウゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 差支ゴザイマセヌ、宜シウゴザイマス

○馬屋原彰君 (左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

第一條 橫濱地方裁判所管内八王子區裁判所ヲ東京地方裁判所ノ管轄トス

第二條 札幌地方裁判所管内北見國宗谷郡稚内村ニ稚内區裁判所ヲ置ク

札幌地方裁判所管内幌泉區裁判所ヲ日高國浦河郡浦河村ニ移シ浦河區裁判所ト改稱ス

稚内區裁判所及浦河區裁判所開廳ノ期日ハ司法大臣之ヲ定ム但稚内區裁判所ノ管轄ニ屬スヘキ事件ハ其ノ開廳マテハ仍ホ増毛區裁判所ヲシテ管轄セシム

第三條 裁判所位置及管轄區域表中東京、横濱、水戸、浦和、前橋、長野、新潟、奈良、福井、和歌山、高松、名古屋、廣島、山口、福島、山形、盛岡、秋田、札幌ノ各地方裁判所管内ニ於ケル區裁判所管轄中左表ノ通改定ス

〔裁判所位置及管轄區域表略ス四二九頁參看〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 起立者多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ會計検査官退官ニ關ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 律案、政府提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

(侯爵松平康莊君演壇ニ登ル)

○侯爵松平康莊君 此會計検査院法中改正法律案ノ委員會ハ去ヌル二十一日午前ニ開會致シマシテ、同日ニハ末松男爵ニハ御差支ガアリマシテ御出席ガ

アリマセヌデ、其掛リノ人ガ代理デ参リマシテ委員會ヲ開キマシテゴザイマス、此理由ハ理由書ニモ書イテゴザイマスル通デゴザイマシテ、別段何モ違ヒガゴザイマセズ唯此二十四人ヲ三十二人ト改ムトアリマスノデ八名ダケ是マデトハ殖エタト云フニ止ルノデゴザイマス、此委員會ニ於キマシテ何ノ修正モナク、全會一致ヲ以テ可決致シマシタコトデゴザイマスレバ、滿場ノ諸君ニ在シテモ御贊成アッテ、此案ノ通過アランコトヲ希望致シマス、終リニ臨テ此案ハ極簡単ナル案デゴザイマスレバドウゾ讀會ノ順序ヲ省略致シマシテ速ニ可決アランコトヲ希望致シマス、此段御報告ニ及ビマス

○山田卓介君 賛成

○小原重哉君 賛成

○南郷茂光君 賛成

○馬場道久君 賛成

○男爵玉松眞幸君 賛成

○男爵中川與長君 賛成

○子爵秋田映季君 賛成

○子爵土方雄志君 賛成

○子爵五條爲榮君 賛成

○男爵金子有卿君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 松平侯爵ノ讀會省略ノ請求ハ定規ノ贊成ガゴザイマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 起立者多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三分ノ二以上ト認メマス

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕

明治二十二年法律第十五號會計検査院法第二條中検査官補「二十四員」ヲ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 起立者多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 律案、政府提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

(侯爵松平康莊君演壇ニ登ル)

○侯爵松平康莊君 會計検査官退官ニ關スル法律案ノ委員會モ前案ノ會計検査院法中改正法律案ト同日ニ開キマシテ政府委員ニ種々質問ヲ致シマシテソレヨリ此逐條ニ涉リマシテ質問ヲ致シマシタル所第一條ヨリ第五條マデハ何ノ異議モナク可決シマス所、第六條ニ至リマシテ即チ原案ノ第六條ニナリマシテ此證人及鑑定人ヲ訊問スルコトヲ得」ト云フ所ニ至シテ此證人鑑定人ト云フ文字ハ無クテモ宜カラウト云フヤウナ其御意見モ出マシテ政府委員ニモ質問ヲ致シマシタル所、別段政府ニ於テモ此原案ノ第六條ハ置クニモ及バヌ、必ズ其必要ト認メテ居ラヌカラシテ削ツテモ宜シトイト云フ答辯デアリマシタ、ドウモ此證人鑑定人ト云フ字ヲ置キマスノハ少シ差支ガアルヤウニ考ヘマスデ、此修正案ノ通削除致シマシテ原案ノ第七條ト云フモノハ第六條ト改マリマシタル譯合デアリマス、此前除説ニ於キマシテモ此委員中ニ於テ提出サレマシタル人モゴザイマスニ依シテ尙ホ此削除ノ理由ハ其御方カラ御辯明ニナランコトヲ希望シマス、ドウカ此案ニ御贊成アランコトヲ希望致シマス、是ダケ御報告ニ及ビマス

○村田保君 本員ハ政府委員ニ少々尋ねタイ、此會計検査官退官ニ關スル法律案ト云フモノガ今度出マシタガ、會計検査官ニシテ退官サセナケレバナラヌト見エマスガ、ソレハ或ハ身體ガ衰弱シタトカ、或ハ精神ガ衰弱シタトカ云フノデ退官シナケレバナラヌト云フノデスカ、如何デゴザイマスカ、今日會計検査官中ニ或ハ此身體ガ衰弱シテ居ルトカ精神ガ非常ニ衰弱シテモウ役ニ立タヌト云フ者ガ有シテソレハ罷メナケレバナラヌト云フ必要ヲ感ジテ今日御出シニナシタノデアリマスカ、若シ今日必要ハ感ゼヌガ豫メ之ヲ要スルト云フナラバ今日デナクテモ疾ウニ出サナケレバナラヌガ、今日ニナシテ出サレタノハ何ソ必要ヲ感ジテ出サレタノデアルカ、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(男爵末松謙澄君) 簡單デゴザイマスカラ此處カラ申上ゲマス、此案ニ於キマシテハ今斯ウ云フ何ノ何某ヲ退官サセナケレバナラヌト云フ必要ヲ見テト云フ譯デハアリマセヌ、全體ニ於テ必要デアル故ニ提出ニナリマシタ譯デアリマス而シテ目今如何デアルト云フコトニ附キマシテハ是ハ事實問題デゴザイマシテ此法律ニ附イテ諸君ノ前ニドウスルト云フコトハ言ヒ矣ネマス、ソレデゴザイマスカラ強ヒテ……

○村田保君 私ハ意見ヲ述ベタウゴザイマスガ此處デ意見ヲ述ベテモ宜シウゴザイマスカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) ドウカコチラヘ御出ヲ願ヒマス

(村田保君演壇ニ登ル)

ハ自分ノ下ノ者カラシテ申立テアレバ身體が弱タモノダカラ罷メロト云コトが出來ルヤウニナリマシタナラバ或ハ無闇ニ會議ヲ開イテアレハ氣ニ入ラヌカラ罷メテ仕舞フト云フヤウナ事ニナルカモ知レヌ、サウナリマスルト云会計検査官ハ獨立ノ實モ立タズ又検査院長ト云フ者ハ將來院長ニ爲ル者ガ無カラウト思フ、頭ノ鈍イヤウナ者ナラ院長ニ爲ルカモ知レヌガ少シ考ノアル人ニハ決シテ院長ニハ爲ラヌダラウト思フ、院長ニ爲ツテ十分ニ力ヲ盡シテヤラウト云フトキニハ必ズ一方ニ宜ケレバ一方ニ反對ヲ生ズルト云フコトハ能ク分ツテ居ル、然ルニ此法律ガ出ルト院長ト云フ者ハ自分ニ頭ヲ下ゲテ下ノ者ノ機嫌ヲ取ツテ居ラナケレバナリマセヌ、若シ下ノ機嫌ヲ損スルト直グニアレハ衰弱シタ者ダトカ、アレハ老耄シタカラ罷メテ仕舞ヘト云フ事ニナルニ達ヒナイ、所ガソレモ腰ガ抜ケタトカ或ハ氣違ニ爲ツタトカ云フ者ニ附イテハ宜シイガ、サウデナク唯身體ガ衰弱シタ云フヤウナ者ハドコガ衰弱シタカ分ラナイ、精神ガ衰弱シタ云フテモ是モドコガ衰弱シタ云フコトハ言ヘナイカラ銘々ノ考デドウデモナル、詰リ下ノ者ノ氣ニ入ラレナケレバ毎デモ衰弱トカ何トカ言ハレテ院長ト云フ者ハ立ツテ居ラレナイ、ソレノミナラズ院長ト云フ上ニ立ツタ所ノ者ヲ下カラシテアレハイカヌ罷メロト云フコトニナツテ決シテ會計検査官ノ秩序ガ立タスト思ヒマス、若シソレモ必要ト云フコトナラバ行政裁判官ハドウデゴザイマス、矢張是モ終身官ダカラ行政裁判官ノ方カラ早クヤルガ宜イト思フ、本員ノ見ル所デハ最モ行政裁判官ヲ先キヘヤリタイト思フノデス、ケレドモ行政裁判官ニハドウ云フコトモナイ、獨リ會計検査官バカリ斯ウ云フモノヲ設ケルノハ甚ダ不都合ダト思ヒマスカラ本員ガ政府委員ニ尋ネテ見ルト今差當リ何モ無イト云フ、無イデゴザイマセウ、併ナガラ其他ノ事ハ言ヘナイト云フコトデアル、其言ヘナイ中ニハ何カ訝シナ事ガアルニ達ヒナイ、或ハ今ノ會計検査官ノ中ニ誰カヲ罷メヤウト云フ考ガアリハセヌカト惡ルク察セラレル、一體獨立且ツ終身官トシタ者ヲ下ノ者ガ申立テ、罷メルト云フコトハ決シテ斯ンナ事ハサセマデモ宜イト思フ、若シソレヲスルガ宜イト云フナラバ行政裁判官モ同様ニスルガナイ、斯ンナコトハ今日必要ハナイ、今日ノ場合ニ於テ斯様ナ法案ヲ出ス必要ハナイト思フ、若シ政府が必要デアルト云フコトナラバ次ノ議會ヘデモ出シテモ宜シ、又隨分此検査官ト云フ者ハ何モ餘所ノ國ノ人デハナイ矢張同ジ日本ノ國ノ人デアレバ斯ンナモノヲ出サヌデモ不要ト考ヘタラ何モ衰弱デナクテモ次第依タラ自由ニ進退スルコトガ出來ヌコトモアルマイ、現在總理大臣ガ全權ヲ持ツテ居ルカラドンナ事デモ出來ルノニ妙ナ法ヲ設ケルニハ及バヌ、ソレデ本員ハ本案ヲ否決致シタイト云フ考デゴザイマス

(政府委員男爵末松謙澄君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵末松謙澄君) 唯今ノ村田君ノ御論ニ對シマシテ特ニ一言致シマスガ、村田君ハ極失禮ナ言ヒ方デゴザイマスガ御本心ノ御論ヤラ或ハ半ば諧謔の御論デアルヤラ少シ私ニハ了解シ惡クカツタ、サリナガラ一應述ベタイト思ヒマスルノハ此法案ハ至ツテ肝要デアルノデアリマス、必要デアルノデアル、而シテ斯ノ如キ法案ヲ出シマスルコトハ既ニ會計検査院法ニ於テ豫約ニナツテ居ルノデゴザイマス、殆ド今日マデ後レ遇ギタト云フヤウナ

譯デゴザイマス、即チ此ソレハ退官ト云フコトハ明ニ書イテゴザイマセヌガ懲戒ニ關スル事が豫約ニナツテ居リマス、而シテ懲戒ノ事が必要デアリマスレバ無論退官ノ事モ必要デゴザイマス、此一箇條ノ如キ簡條ハ即チ最モ此終身官、終身官ト云フコトノ精神ヲ強ク致シタル所ノ判事諸君ニモ矢張此簡條ガ書イテアル裁判所構成法ニ書イテアル、デ或ル場合ニ於キマシテハドウシテモ斯様ナ事ガ必要ニナツテ來ル、ト申スモノハソレ職務ノ分擔ガアル、此職務ヲ分擔シテ居ル人ノ中ニ精神錯亂ニナルトカ或ハ身體ガ全ク不隨ニナツタ者ト云フヤウナ者ニ依然トシテ職ニ居ラレテ見レバ定員ト云フモノガ極ツテ居ルカラ到頭事務ガ舉ラナクナルヤウナ事ニナリマスル故ニ、或場合ニ於テハ必要デアルノデゴザイマス、而シテ村田君ノ言ハレル所デハ下カラ上ニスルノハ不都合デアルト言ハレマシタガ是ハドウモ斯ウ云フ場合ニハ致方ガナイト思フ、即チ大審院長ノ場合ニ控訴院長ノ場合ハニ於テモ之ニ似寄ツタ事ヲヤル所ヲ以テモ已ムヲ得ナイコトハ分ツテ居ルト思フノデアリマス、カルガ故ニ此事ハドウゾ御通過ニナランコトヲ希望致シマスルノデアリマス、而シテ又茲ニ眼前何カ有ルガタメニ之ヲ擇ヘルカト云フコトデゴザイマシタガ凡ツ法ヲ擇ヘルノハ將來一般ノ利益ヲ考ヘテ擇ヘナケレバナリマセヌノデゴザイマス、此法案ヲ提出致シマスル主意ニ於テハ制度ヲ完全ニ致シマス、制度ガ完全ニナツテ居リマセヌトイツ必要ト云フ其時ニ俄ニ間ニ合フモノデハアリマセヌ、故ニ豫テ完全ニ致シテ置キマスルガタメニ之ヲ提出致シマシタモノデゴザイマスルカラ、唯今ノ村田君ノ御論ハ寧ロ激ニ過ギルカト思ヒマスカラ、ドウゾ原案ニ御賛成ヲ願ヒマス

○田中芳男君 一寸質問、唯今村田君カラ申サレタ(咳聲頻ニシテ聽取スルヲ得ズ)能ク心得テ居リマセヌカラ伺ヒマス、第一讀會ノ節ニ會計検査官ハ總テ終身官デアルカラシテ此法律ガ入ルト云フヤウニ承リマシタ、然ラバ終身官タル所ノ他ノ終身官モ同ジャウニ斯様ナ法ガ立チマスルコトヤラ、唯今村田君ニ伺ツタ所デハドウモ他ノ終身官ニハ斯様ナ事ハナイ、會計検査官ニリマスルカ、ソレヲ伺ヒタウゴザイマス

○政府委員(男爵末松謙澄君) 宜シウゴザイマス、唯今ニ終身官ト申シマスルモノハ裁判官竝ニ會計検査官、ソレカラ行政裁判所ノ評定官、普通ノ役人ハ無論終身官デハアリマセヌ、又武官ニ於キマシテハ終身官ノ形ニナツテ居リマスルガ、是ハ又其方ノ分限令环ノ制裁デ支配スルコトニナツテ居リマス、而シテ裁判官ニ附キマシテハ唯今申シマシタ如クニ判事懲戒法ト云フモノガアリマス、又唯今茲ニ懲戒法ト云フモノハ是ハ勅令ヲ以テ定メルト云フコトニナツテ居リマス

○田中芳男君 懲戒法ノ事デハゴザイマセヌ退官ノ事デアリマス

○政府委員(男爵末松謙澄君) 少シ言葉ガ何デゴザイマスルガ懲戒法ヲ擇ヘマスルニ當ツテハ矢張第一條ノ如キハ自ラ連續シテ居ル事デアツテ同時ニ制定致スコトガ必要デアルト考ヘラル、ノデ今申シタノデアリマス、何レ行政裁判所ニ於キマシテモ追々ハ斯ノ如キ規定ガ必要ニナルデアラウト云フ積デアリマス、唯今ノ所デ會計検査官ノ方ハ法律ノ中ニ別ニ定メル所ニナツテ居リマスカラ故ニ法律案トシテ提出ニナリマシタ

- 村田保君 退官ノ事ハ定メテゴザイマスカ
○政府委員(男爵末松謙澄君) 前ニ申シタ通懲戒ト云フコトハサウナツテ居ル、懲戒例ニハ此第一條ノ如キコトハ自ラ連帶シタルモノハ殊ニ必要デアル故ニ提出シタト云フコトヲ最前十分ニ申シタ積デゴザイマス、而シテ又實際施行致シマスル時ニ於キマシテ決シテ一人デヤルト云フノデハナイ、誰ノ考デヤルト云フモノデモナイ、即チ第二條ニアリマス如ク退官ハ會計検査官會議ノ決議ニ依リ之ヲ決定スト致シテアリマスルノデ、多人數寄^ヲテ即チ決議ヲスルノデ、十目ノ視ル所ドウシテモ已ムヲ得ナイト云フコトニ決定致スノデアリマス、斯様ニ致シテアル以上ハサウ其アレハ嫌ダカラアレヲドウシヤウト云フヤウナ弊害ハ容易ニ生ズルモノデハナイト考ヘルノデアリマス
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○起立者
(多數)ト呼フ者アリ又少數ト呼フ者アリ
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザイマス
(異議ヲ申立テマス)ト呼フ者アリ
(氏名點呼ヲ願ヒマス)ト呼フ者アリ
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 氏名點呼ヲ行ヒマス
(氏名點呼ヲ行フ)
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 氏名點呼ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、出席總數百十三、可トスル議員五十九、否トスル議員五十四、第二讀會開クベキコトニ決シマス
○子爵土方雄志君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ヲ提出致シマス
○侯爵松平康莊君 贊成
○子爵林友幸君 贊成
○子爵鍋島直柔君 贊成
○伯爵大原重朝君 贊成
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 土方子爵ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開クト云フ此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○起立者 多數
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ此ニ載錄ス以下)
第一條 會計検査官身體若クハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハサル
第二條 退官ハ會計検査官會議ノ決議ニ依リ之ヲ決定ス
第三條 會計検査官會議ハ會計検査院長ヲ以テ議長トス院長ニ對スル退官ノ申立アルトキハ會計検査院部長中上席者ヲ以テ議長トス
議長事故アルトキハ會計検査院部長中上席者之ヲ代理ス

- 第四條 會計検査官會議ハ現員三分ノ二以上出席スルニアラサレハ決議ヲ爲スコトヲ得ス
第五條 會計検査院部長及検査官ニ對スル退官申立ハ會計検査院長之ヲ爲シ院長ニ對シテハ部長合議ノ上之ヲ爲ス
第六條 會計検査官會議ハ第二條ノ決定ヲ爲スノ前必要ト認ムルトキハ證人及鑑定人ヲ訊問スルコトヲ得
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 是ハ委員ニ於テ削除ニナツテ居リマスノデスカラ矢張原案ニ就イテ決ヲ採リマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○起立者 少數
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 削除ニ決シマス、次ニ原案ノ第七條修正ノ第六條ヲ問題ニ供シマス
第七條 會計検査官第一條ニ依リ退官ヲ命セラレタルトキハ官吏恩給法ニ於テ同法第二條ニ掲タル事項ニ該リタル者ト同視ス
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數
○子爵土方雄志君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開クコトノ動議ヲ提出致シマス
○子爵板倉勝達君 贊成
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 土方子爵ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ三讀會ヲ開クト云フニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○起立者 多數
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)
第一條 會計検査官身體若クハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキハ之ニ退官ヲ命スルコトヲ得
第二條 退官ハ會計検査官會議ノ決議ニ依リ之ヲ決定ス
第三條 會計検査官會議ハ會計検査院長ヲ以テ議長トス院長ニ對スル退官ノ申立アルトキハ會計検査院部長中上席者ヲ以テ議長トス
議長事故アルトキハ會計検査院部長中上席者之ヲ代理ス
第四條 會計検査官會議ハ現員三分ノ二以上出席スルニアラサレハ決議ヲ爲スコトヲ得ス
會計検査官會議ノ決議ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五條 會計檢查院部長及檢查官ニ對スル退官申立ハ會計檢查院長之ヲ爲シ院長ニ對シテハ部長合議ノ上之ヲ爲ス
第六條 會計檢查官第一條ニ依リ退官ヲ命セラレタルトキハ官吏恩給法ニ於テ同法第二條ニ掲ル事項ニ該リタル者ト同視ス
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 起立者多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザイマス先刻御委託ニナリマシタ河川法案特別委員ヲ六名タク追加ニナリマシタ選定致シマシタニ依ツテ御報告ニ及ビマス

子爵

小林

田畠

保君

馬屋

原彰君

安場

保和君

麟祥君

箕作

幸君

稻君

村田

友美君

畠井君

喜君

原田君

原田君

原田君

原田君

原田君

原田君

原田君

原田君

原田君

唯今衆議院ヨリ明治二十八年度特別會計歲入歲出總豫算追加案(乙)號、是ハ兩院協議會ニナツテ居リマシタ、其兩院協議會ノ成案ヲ衆議院ニ於テ可決シタ趣ノ通牒ガ參リマシタ、依ツテ此所ニ議事日程ヲ變更シテ直ニ此成案ニ就イテノ可否ヲ決シタイト存ジマス、別ニ御異議ハゴザイマスマイ
〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 別ニ御異議ガナイト認メマスニ依ツテ然ラバ其成案會議ヲ開キマス

(子爵曾我祐準君演壇ニ登ル)

○子爵曾我祐準君 協議會ノ結果ヲ報道致シマス申スマデモナク此明治二十八年度特別會計歲入歲出追加豫算ノ(乙)ハ過日中央線鐵道八王子神奈川ノ間ノ延線ト連帶シタ所ノ是ハ案デアリマス、過日報道シマシタ通不幸ニシテ協議會ハ調ヒマセヌデアリマシタ即チ本院デ決セラレタ所ト衆議院デ決セラレタ所ノモノハ反對ニナリマシタニ依ツテ衆議院ノ修正案モ潰レ本院カラ出タル所ノ貴族院案モ潰レ政府案モ潰レテ共ニ全ク潰レテ仕舞ヒマシタ、ソレニ伴フ所ノ此豫算即チ鐵道ニ係ル所ノ豫算是モ同時ニ我ニ付託ニ相成ツテ居リマシタ鐵道ノ線路ノ方ガ潰レマシタニ依ツテ此豫算ニ大ニ狂ヒヲ生ジマシタ、ツレハドウ云フ狂ヒカト云フト鐵道敷設法ニ規定スル所デハ此金ト云フモノハ六千万圓、十二箇年ニ六千万圓ト云フモノデアルガ即チ貴族院ハ政府ト見ル所ヲ同じシウシテ六千八百万圓ニシヤウト云フノデアル、ツレカラ衆議院ハ線ヲ短カメテ百万圓ヲ減シテ六千七百万圓ニシヤウト云フノデアル、ツレガ兩方トモ潰レタニ依ツテ元ノ六千万圓ニ金ハナツテ仕舞ヒマシタ是ハ今度ノ協議會ハ議長ハ籤引ヲシマシタ所ガ衆議院ノ方ガ議長ニ當リマシタサウシテ十時ニ會ヲ開キマシテ其席上ニ於テ提出サレマシタ所ノ一ノタワレハ五千九百九十二万六千六百六十三圓ト改マリマシタ、サウシテ又其次

三明治二十八年度以降支出高ト書イテアル其上ニ在ル所ノ金ノ數ヲ改メテ五千五百三十六万千六百六十三圓ト改メマシタ、サウシテ一番終リノニテ年度割ノ一番終リノ即チ明治三十五年及三十六年度ニ至ツテ改マリマシタ明治三十一年度ニ於テハ金額ガ、一番始ノ處ニ書イテアル金額ガ四百二万六千七百九十二圓ト改マリマシタ、ソレト明治二十六年度ニ於テハ二百八十四万八千七百十四圓ト改マリマシタ、詰リ事實ヲ申シマスレバ明治三十五年ニ於テ削減シ明治三十六年度ニ於テ削減シ此一箇年ニ於テ削減シマシタ、其削減シマシタ場所ハ如何ナル所カト申シマスルト總テ中央鐵道ニ係ル所ノモノデ即チ過日ノ法律案ノ方デ消滅シマシタニ依ツテ、ナカニ有リマスガ是ハ八王子トアルノヲバ消シテ神奈川ト改メテアツタノヲバ又改メテ八王子トナツタノデアリマス、隨分入組シテ居リマスガ詰リ八王子神奈川マデガ止ンダ結果デアリマス、是ハ自然ノ結果トシテ、御面倒デアリマセウカラ簡處ハ申シマセヌガ總テ改マリマシタ、ツレダケガ協議會ニ於テノ成案デアリマス何卒諸君此協議會ハ唯今議長ノ報告ニモナリマス通衆議院デモ協議會ノ成案ニ異議ハナカツタ趣ニアリマスニ依ツテ本院デモ協議會ノ成案ニ御贊成アランコトヲ希望シマス

(國務大臣白根專一君演壇ニ登ル)

○國務大臣(白根專一君) 當院ノ協議會議長曾我子爵ヨリ御報道ニナリマシタ通此鐵道ノ事ニ附キマシテハ段々兩院ノ協議會が頗ル熱心ニ協議ヲ盡サレシマスカラ諸君ニ於キマシテモドウカ此成案ニ御贊同アランコトヲ希望致シマス

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 唯今ノ成案ハ諸君ノ御手許ニ迴ツテモ居ラヌノ

(山本書記官「歲出遞信省所管第一款第三項ノ『神奈川』トアルノ

ヲ『八王子』ニ改メ乙號ト云フ方鐵道建設費總額金六千七百六拾貳萬五千九千九拾壹圓」トアルノガ『五千九百九拾貳萬千六百六拾參圓』トナリ其年割額デ明治二十八年度以降支出高ト云フ所ノ金額

ガ「六千參百六萬五千九千九拾壹圓」トアルノヲ「五千五百參拾六萬千六百六拾參圓」ト改メ二十八年度ノ中ノ金參拾貳萬圓トアル所ノ

項『神奈川』トアルノヲ『八王子』ニ改メ明治二十九年度ノ金四百

拾萬圓項『神奈川』トアルノヲ『八王子』ト改メ三十一年度デ金百九拾萬圓項『神奈川』トアルノヲ『八王子』ト改メ三十一年度ノ金貳百九拾萬圓項『神奈川』トアルノヲ『八王子』ト改メ三十二年度ニ於

テ金四百六拾萬圓項『神奈川』トアルノヲ『八王子』ニ改メ三十三年度ニ於テ四百六拾萬圓項『神奈川』トアルノヲ『八王子』ト改メ

三十四年度ニ於テ四百六拾五萬圓項『神奈川』トアルノヲ『八王子』ト改メ三十五年度ニ於テ可決シマシタ、一人ノ反対者モ無ク

協議會全體ヲ以テ可決シマシタ、其案ト申シマスモノハ諸君ガ御持ニナツテ

居ル所ノ乙號鐵道建設費ト云フ所ノ總額ト云フ所ニ至ツテ一ト所改マリマシ

タワレハ五千九百九十二万六千六百六十三圓ト改マリマシタ、サウシテ又其次

百拾四圓」ト改メ其次ニ「金參百五拾萬參千四百貳拾八圓」トアル
ノヲ全ク削除」ト述フ

○箕作麟祥君 唯今會我子爵ヨリ協議會ノ結果ヲ御報道ニナリマシテ遞信大臣モ協議會ノ成案ニ同意ヲ表シテ貲ヒタイト云フコトヲ言ハレマシタカラ定メシ諸君モ此成案ニハ御同意ノコト、存ジマスガ尙ホ一言シテ置キマスガ唯今會我子爵ノ言ハレマスル通六千万圓トナツテ居リマスカラ六千万圓ノ外ニ出ル譯ニハ行カヌカラ六千万圓ノ制限内デ政府案ノ通出來ルダケノ此線路ヲ作ラウト云フ趣意デアリマスカラ若シ万ガ一此案ハ衆議院デハ可決シタニ拘ラズ本院ニ於テ否決ニ爲リマスレバ僅カ八王子神奈川ノ事カラ行違ヒヲ致シテ總テドコノ線路セ皆出來ヌヤウニナリマスカラサウナリマスレバ政府ノ趣意ニモ背キ貴族院ノ意ニモ固ヨリ背クヤウニナリマスカラカサウ云フコトノナイヤウニ即チ本院ノ趣意ヲ第一ニ貫徹セシメ政府ノ趣意ヲ通シ衆議院ノ意モ通シテ遣リ即チ人民ノ希望シテ居ル所ノ各線路ノ工事ニ著手が出來ルヤウニシテ遣リタイト云フノデアリマスカラドウカ此案ニ御賛成下サツテ万ガ一ニモ否決ニ爲ルト云フ憂ノナイト云フヤウニ希望致マスノデアリマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 表決ニ付シマス兩院協議會ノ成案、可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ會計検査官懲戒法案、
政府提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

(侯爵松平康莊君演壇ニ登ル)

○侯爵松平康莊君 此會計検査官懲戒法案ノ委員會モ前二案ト同一委員會ヲ開キマシテ段々政府委員ニモ質問ヲ遂ゲマシタ末、逐條ニ涉ツテ審議ヲ遂グマシタル所、何等ノ異議モナク、第十三條マデハ審議ヲ遂ゲマシテゴザイマス、然ルニ此第十四條「專理委員ハ被告ヲ呼出シテ陳述セシメ及必要ノ場合ニ於テハ證人ヲ召喚シテ訊問スルコトヲ得」斯ウ云フコトガゴザイマス、第十六條ニ至ッテモ終ヒノ方ニ「證人ヲ訊問スルコトヲ必要トスルトキハ第十四條ノ例ニ依ル」ト云フコトガアリマシテ此證人ト第十六條ノ證人ト云フモノハ始ノ會計検査官退官ニ關スル法律案、第六條即チ削除ニナリマシタル條ノ證人ト同一ノモノデアリマスル故ニ此條ニ至リマシテモ種々質問ガアリマシテ此案ヲ削ル方ガ宜イト云フ御説モ出マスルシ或ハ削ラヌ方ガ宜イト云フヤウナ御説モ出マシテゴザイマスルガ遂ニ委員會ニ於キマシテハ其證人ト云フモノヲ活シテ原案ノ通ニ活シテ置クヤウニナリマシタソレニ附キマシテハ此證人ノ意味ヲ明ニセンガタメニ此第五章ノ前ノ十八條ノ即チ「證人ノ訊問及懲戒裁判ノ手續ノ費用ニ關シテハ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用ス」ト云フ文字ヲ修正致シマシテ入レ加ヘマシタ譯デゴザイマス、從ツテ原案ノ第十八條ハ第十九條トナリマシタ譯デゴザイマス、委員會ニ於キマシテ其他ノ條項ニハ此證人ハ何モ別段異議ハゴザイマセズ可決致シマシタルコトデゴザイマスレバ、ドウカ滿場諸君ニ於テモ此案ニ御賛成アランコトヲ希望致シマス、尙ホ御質問等ガゴザイマスレバ他委員ヨリモ御答ヲ致シマスルシ外ニ又御質問ガゴザイマスレバドウゾ政府委員ヲ煩シタウゴザイマス、此段御報告致シマス

○村田保君 委員長ニ少々質問致シタウゴザイマス、ソレハ委員會デ修正致シマシタコトデアルカラ委員長ニ御尋致スヨリ仕方ガナイ、此十八條ニ證人ハ要ラヌ積テゴザイマスカ、ソレヲ承リタイ

○侯爵松平康莊君 此條ニ於テハ此鑑定人ノコトハ別段ゴザイマセヌ、此前ノ案ニ證人鑑定人ト云フコトガゴザイマスガ此案ノ十六條ノ原案ニハ少シモナイ故ニ唯證人ダケノコトニ止ムテ居ルコト、考ヘテ居リマス

○村田保君 今度ハ政府委員ニ少シ御尋致シタウゴザイマス、會計検査官ト云フモノガ出來マシタ時分ハソレハ忘レマシタガ多分八年頃ダラウト思ヒマス、其頃カラ此會計検査官ト云フモノハ隨分數十名ノ検査官が出來テ居リマス、所テ今マテ隨分其中デ皆善イ者ハ有リマセヌ、中ニハ隨分ヤリ損シタ者モ有ルニ違ヒアリマセヌ、ソレマデハサウ云フ者ハドウ云フ處分ヲシテ居リマスカ或ハ又サウ云フ懲戒ニ係シタ者ハ一人モ無カッタカ、或ハ有ツタラドウ云フ處分ヲシテ居シタト云フコトヲ伺ヒタ

○政府委員(男爵末松謙澄君) 此法律ヲ以テ懲戒スルコトヲ要シマスル時ニハ御案内ノ通會計検査官ト云フ者ハ常任ノ人間ニアリマスカラ……所謂検査官以上ノ者ニ附イテハ是マデ彼ノ法律デ極メル如ク懲戒ヲセナクテハナラスト云フ事柄ガ起シタト云フコトハ記慮致シマセヌ、又此法律デナニ以上ハ其他ノ手續ニ依ツテ懲戒致シマシタト云フコトハアラザル譯デゴザイマス

○箕作麟祥君 一寸質問ガゴザイマス、委員長カ又ハ委員ノドナタデモ宜シウゴザイマスガ伺ヒタイ、此十八條ノ事ニ附キ伺ヒマスガ此委員ノ修正ニ「懲戒裁判手續ノ費用ニ關シテハ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用ス」ト云フコトガアリマスガ刑事訴訟法ニハ費用ニ關スル規定ト云フモノハ無イヤウデアリマスガ無イノニソレヲ準用スルト云フテモ甚ダ可笑シヤウデアリマス、尤モ刑事訴訟法ハ隨分條數ガ多ウゴザイマスカラ私ノ見落シカモ知レマセヌガドウモ刑事訴訟法ニハ懲戒裁判ノ費用ニ關スル規定ト云フモノハ見當ラヌヤウデゴザイマス、ドウ云フ所ニ有ルノデゴザイマスカ御教不ヲ願ヒマス

○政府委員(男爵末松謙澄君) ソレナラ私カラ一應御答致シテ宣シウゴザイマス、刑事訴訟ノ中ノ證人ノ如キハ費用ヲ要求スルコトヲ得ト云フ簡條ガゴザイマス、即チ主トシテソレヲ指シタノデゴザイマス、要求スルコトヲ得ト云フト幾ラカ達ルト云フコトガ自ラ生シテ來マス、而シテ刑事裁判ニ附イテハ費用杯ヲ遣ルコトハ御承知ノ通刑法ノ附則ニゴザイマス、即チ準用ト云フコトガアリマスルカラ、ソコマデモ及シマシテソレ等ヲ標準ト致シテ往カウト云フコトノ委員ノ御見込ノヤウデゴザイマス、即チソレデ差支ナイト政府委員ニ於テモ其積リテ同意ヲシタ譯デゴザイマス

○箕作麟祥君 唯今特別委員ニ承リマシタラ政府委員カラ御答ガゴザイマシタ、ソレデモ宜シウゴザイマスガ、ドウモ政府委員ハ刑事訴訟法ニハ證人ニ費用ヲ與ヘル云々ト云フコトガ有ルカラソレヲ引イタト言ハレマスガ、ソレハ其懲戒裁判ノ手續ノ費用ニ關スル規定ト云フモノデハアルマイト思フ、所デ唯今政府委員ノ言ハレマスニハ刑法附則ニモ有ルト言ハレマスガ、ソレハ外ニハ無イ、刑法附則ノミデアル、ソレハ私モ心得テ居ル、ソレナラ刑事訴訟法ノ間ニ入レソシテ引張シテ來テ、ソレカラ一段飛シテ刑法附則ヲ引イ

テ來ル、ソレデハ迂遠極シタヤウデアリマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ
○政府委員(男爵末松謙澄君) 委員會デハソレデ宜カラウト云フコトデゴザ
イマスカラ宣シイ積デ即チ刑事訴訟法ノ方デ自ラ大體ヲ極メル、サウシテソ
レカラ先キハ準用シテ行クノデアリマスカラ附則ノ方ヲ準用シテ宜シト思
フ、果シテ惡ルイト云フコトデゴザイマスレバ其文字ヲ御加ヘニナルコトハ
差支ナカラウト思ヒマス、マア行ケル積デゴザイマス
○名村泰藏君 私モ一寸政府委員ニ質問致シマス、證人ノ訊問ノ事ニ附イテ
此間御尋致シマシタガ此十一條ノ修正文ハ便利ガ宜クナシタヤウデアリマス、
被告人ヲ訊問スル時ニハドノ手續デアリマスカ、其被告人ノ訊問、被告人ヘ
送達スル書類其他被告人ガ忌避ヲスルヤウナ事ガ有ツタ時ニハドンナ手續ニ
依リマスカ、唯證人ダケハ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用スル其他ノモノハ特別ニ
御捕ヘニデモナリマスカ
○政府委員(男爵末松謙澄君) ソレハ唯今仰セラレル程ノ細密ノ規程ハ要ラ
ス積デゴザイマス、第四條ニ懲戒裁判ノ手續ハ凡ソ極メテアリマスカラ、ソ
レカラ又忌避ノ場合ノ如キハ殆ト起ラナイダラウト思フテ居リマス、父子兄
弟ノ如キモノハ同時ニ検査官ト爲ルコトハ出來ナイノデゴザイマス、其外ハ
モウ是デ足リル積デゴザイマス
○名村泰藏君 此父子兄弟ノミニ忌避ト云フコトガアルノデハアリマセヌ、
其事件ニ關係シテ隨分検査官ノ懲戒委員ヲ忌避シナケレバナラヌヤウナコト
ガ往々起ラウト思ヒマスガ其時ニハドンナ手續デヤレバ宜シウゴザイマスカ
○政府委員(男爵末松謙澄君) 是ハ唯今名村君カラ餘程先キカラ先キノ事マ
デ御心配ニナルヤウナ御質問デゴザイマスガ或ハ他ノ裁判事件トカ何トカ云
フヤウナ時ニアリマシテハ裁判官ノ數モ多ウゴザイマスカラ色ニ取換ヘ手ヲ
換ヘルコトモ出來マスケレドモ此會計検査官ノ懲戒ノ事ニ附キマシテハ忌避
ガ有ルカラト云々テ外カラ人ヲ持ツテ來ル譯ニハ行カナイ、而シテ此委員ト云
フモノハ御承知ノ如ク會計検査官悉皆ヲ集メテ一ツノ委員ト致シテ居リマ
ス、ソレデ裁判致ス事件ニ格別其不都合ト云フモノハ起リマスマイ、唯今仰
シャル程ニ致シマスレバ一人抜ケテ貰ヒ一人抜ケテ貰フト云フコトモ出來ル
カモ知レマセヌガ、ソレハ補充スルコトハ出來ナイ、而シテ其數モ相應ニ澤山
ゴザイマスカラ逆モ實際ニ於テ一二人足リヌガタメニ裁判ノ結果ヲシテ異ナ
ラシムル程ノムツカシイ事ハ起ラナイ積デアリマス、故ニ是位ノ事デ濟ム積
デゴザイマス、少人數ノ裁判ノ場合トハ大キニ意味ガ違フカト思ヒマス
○村田保君 本員ハ是モ廢案説ヲ持出シマスガ餘リ長クハ言ヒマセヌ、此處
カラ申シマス、先程述ベマシタ理由ト同ジコトデアリマス、今日斯シナモノ
ヲ出ス必要ガナイト思ヒマス、本員ハ廢案説ヲ提出致シマス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマ
ス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 少數ト認メマス、第二讀會ヲ開クベカラザルコ
トニ決シマシタ、次ニ馬四ノ調査及検査ニ關スル法律案、政府提出、衆議院
送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

○伯爵清棲家教君(演壇ニ登ル)
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ委員會ハ去ル二十一日開キマシテ政府委員ニ對シ
テ委員ヨリ一二ノ質問ガゴザイマシタカラ其點ヲ一二申上ゲマスデゴザイマ
ス、本法施行以前ニハドノヤウニシテ馬四ノ調査ノ如キハシテ居フタカト云
フ尋テゴザイマシタガワレニ對スル政府委員ノ辯明ニ依リマスルト徵發令ガ
ゴザイマシテ之ニ伴フ所ノ條例ガゴザイマシテソレニ依クテ徵發物件表ト云
フモノヲ作リマシテ之ニ依クテ陸軍省ハ馬四ノ事ヲ調ベテ居リマシタ、然ル
ニ此度ノ戰役ニ附キマシテ馬四ノ徵發ヲ致シマシタ所ガ大隊動員ニスルニ附
キマシテハ馬四ノ調査モスルソレニ依クテ考ヘレバ百頭ノモノガ五十頭軍馬
ニ適當スル馬四ガ検査ニ合格スル見込デアル趣デアリマス、然ル所ガ實際ニ
臨ミマシテハ百頭ニ對シマシテ十乃至十六頭シカ軍馬ニ適當ナ馬四ハ無カッ
タト云フヤウナ不都合ヲ來シタ故ニ此法律ヲ施行シテ置クノ即チ必要ヲ認メ
タノデアルト云フコトデゴザイマシタ、又之ニ對シテ法案ヲ施行シタナラバ
入費ガドノ位掛カルカト云フ質問モ出マシタガ是ハ三十年度以後ノ軍事費ヨ
リ支辨シテ行クコトガ出來ル即チ其入費ハ五万八千圓餘リデアルト云フ答デ
ゴザイマシタ、其他之ト申スル質問モゴザイマセズ委員會ハ全會一致ヲ以チ
マシテ可決スベキモノト議了致シマシテゴザイマス故ニ滿場諸君ニ於キマシ
テモ御賛成アランコトヲ願ヒマス尙ホ條數モ餘リ澤山ニゴザイマセヌカラ讀
會ノ順序ヲ省略セラレンコトヲ望ミマス

○山田卓介君 賛成

○田中芳男君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○子爵柴原和君 賛成

○子爵一柳末徳君 賛成

○子爵柴原和君 賛成

○子爵秋田映季君 賛成

○子爵中川興長君 賛成

○下鄉傳平君 賛成

○南郷茂光君 賛成

○小原重哉君 賛成

○子爵稻垣太祥君 賛成

○子爵由利公正君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 清棲伯爵ヨリ讀會省略ノ請求ガゴザイマス
規ノ贊成ガコザイマス、讀會省略ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○伯爵大原重朝君 河川法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスガ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待ヲ請ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) (本案特別委員ニ於テ修正ナキヲ以テ略ス、五〇一頁參看)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ銀行合併法案政府提出
衆議院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

(公爵二條基弘君演壇ニ登ル)

○公爵二條基弘君 委員會ノ經過並結果ヲ御報道致シマス、此委員會ハ昨日開キマシテ即ち昨日中ニ決了シタコトゴザイマス、大體此委員會ニ於キマシテハ質問モゴザイマシタケレドモ併シ是ト申シテ今日御報道申スベキダケノコトモアリマセナシダ、デ我ニガ之ヲ贊成致シマシタ趣意ト云フモノモ既ニ此理由書ニモゴザイマスシ又第一讀會ノ初ニ於テ政府委員ヨリ述べラレマシタ如キモノデ、全體是ニテ合併ハ望ムコトガアリマシテモ商法普通ノ手續ニ依リマシテハ非常ニ面倒ナル事デ是ガタメニ容易ニ望ムコトハ出來ナイト云フコトデアリマシタが今度此法案ノ如キコトニナリマシテ見レバ大變ニ便利ナルコトデアリマシテ容易ク合併ガ出來ヤウト思フ、從ツテ何レ此國立銀行處分済ノ後ト云フモノニナリマシタナラバ定メシ合併ニナルコトガ隨分多クナッテ來ヤウト云フ考デゴザイマス、右様ナ譯デアリマシテ委員會ニ於キマシテハ別段一ノ修正モナク衆議院ヨリ廻リマシタ通ニ全會一致ヲ以チマシテ可決致シタ譯デゴザイマス、序ニ申上ゲテ置キマスガ此條數ハ二十二條モ有リマスケレドモ大體ノ事ニ於キマシテハ左ノミムヅカシイ案トモ覽ヘマセヌ、且ツ時日切迫ノ今日デゴザイマスカラ讀會ノ順序ヲ省略致シマシテ速ニ可決セラレシコトヲ希望致シマス

○小原重哉君 贊成
○湯池定基君 贊成
○南郷茂光君 贊成
○柴原和君 贊成
○吉村角次郎君 贊成
○子爵林友幸君 贊成
○武井守正君 贊成
○長谷川貞雄君 贊成
○根岸武香君 贊成
○平山成信君 贊成
○梅原修平君 贊成
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 二條公爵ノ讀會省略ノ請求ハ定規ノ贊成ガゴザイマス讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會省略ニナリマス
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 二條公爵ノ讀會省略ノ請求ハ定規ノ贊成ガゴザイマス讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザリマス、次ニ大阪府下郡廢置法律案以下澤山郡廢置法律案ガゴザリマスガ、大阪府下ヨリ巖手縣下マデノ九ツダケハ一ノ特別委員ニ付シテアツタノデゴザイマス、是ダケヲ約メマシテ連ネテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

○子爵林友幸君演壇ニ登ル

(子爵林友幸君演壇ニ登ル)
委員會ノ御報道ヲ致シマス、此大阪府下郡廢置法律案其他

八縣即チ埼玉、福島、兵庫、群馬、千葉、茨城、栃木、巖手、此大阪府下共ニ

九件デゴザイマスガ、此郡廢置ノ事モ委員會ニ於キマシテ兩度程審査ヲ致シマシテゴザイマスルガ郡區廢置ハドウモツイ此書面ニ依テ見ルヨリ外如何トモ仕様ガゴザイマセヌ、其他ニ附キマシテハ大阪府下邊リハ衆議院ノ修正ガ僅カゴザイマスルソレニ附キマシテ大阪府下ノ納稅議員モゴザイマスカラシテハ別段一ノ修正モナク衆議院ヨリ廻リマシタ通ニ全會一致ヲ以チマシテ可決致シタ譯デゴザイマス、序ニ申上ゲテ置キマスガ此條數ハ二十二條モ有リマスケレドモ大體ノ事ニ於キマシテハ左ノミムヅカシイ案トモ覽ヘマセヌ、且ツ時日切迫ノ今日デゴザイマスカラ讀會ノ順序ヲ省略致シマシテ速ニ可決セラレシコトヲ希望致シマス

○安場保和君 質問ガゴザイマス委員長ニ質問致シマス、福島縣下ノ郡廢置ノ中ニ川前村ト云フノガ原案デハ此三郡合併ノ方ニ組込ムト云フ原案ニナックテ居マシタノガ此節衆議院ノ方デハ元ノ郡ニ据置クト云フ方ニナッテ居リマス、唯今御演説ガゴザイマシタケレドモ餘程議場ガ動搖メキマシテソレガタメニ御説明ガ一向耳ニ這入り兼ネマシタカラ一應御面倒ナガラ御説明ヲ請ヒマスガ右ハ委員會デハドウ云フ理由デ衆議院ノ修正通ニ御決シニナリマシタカ其理由ヲ詳シク拜聽致シタウゴザイマス

○子爵林友幸君 御答致シマセウ、是ハ衆議院ハ固ヨリマア御承知ノ如ク改正ヲ致シタノデアリマス、ソコデ内閣委員ノ方ニ其事ヲ御尋致シマシテ是デ差支ナイカ、是ダケノコトデ差支ナイ、是デ然ルベキコトデヤ、ソレヨリ上ノコトハ席上デ何トモ調ベヤウモアリマセヌサニ其儘ニシテ置キマシタ、委員會ニ於キマシテハ其他ニ議論モゴザイマセズ全會一致デ以テ衆議院通り通シマシタ、左様御承知ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 私モ委員長ニ質問ガゴザイマス、少シ御報告ガ聽キ取リ兼ネマシタガ總テ衆議院修正ノ通委員會デハ可決シタト仰シタルノデゴザイマスカ

○子爵林友幸君 左様、コツチノ委員デハ少シモ直シマセヌ

○安場保和君 唯今報告ニナリマシタナンニ就キマシテハ政府委員ノ方ニ異存ハナイト言ハレタカラ福島縣下ハ其方ニナックタ其他ハ吟味ノ仕様モナイト云フコトデゴザイマシタカラ委員長ノ御報告ハソレデ分リマシタガ、其事ニ就イテ政府委員ニ質問致シタウゴザイマスガ唯今致シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 宜シウゴザイマス

○安場保和君 福島縣下ノ原案ヲ衆議院デ改正ヲ致シマシタノハ政府ニ於テハ最初提出ノ議案ハ衆議院ノ議論ニ對シテ如何ナル所ガ粗漏トカ或ハ調達ヒデアツタカラ御同意ニナツタモノデアリマセウカ、又格別サシテ故障ハナイ調達ヒデハナイケレドモ、サシタル故障ハナイト云フ理由デアリマスカ、其邊ヲ一應承リタウゴザイマス

○政府委員(木内重四郎君) 此席カラ御答致シマスガ此川前村ト云フノハ全村舉グテ磐城郡ニ編入ヲ希望スルノデハナインオデ、大字川前ダケガ磐城郡ニ編入ヲ希望シテ居ルノデ而シテ他ノ數大字ハ田村郡ノ方ニ編入ヲ希望シテ

テ磐城郡ニ編入スルガ宜カラウト云フコトデ、其意見ヲ採シテ原案ヲ提出シ
タ次第アリマス、然ルニ衆議院ノ委員會ニハ私ハ當時他ニ用事がアツテ出
席致シマセヌテシタ、即チ政府委員ガ出席セザル時ニ於テ衆議院ハ修正シテ
仕舞ツタノデ、此一部落ノ利益ノタメニハ原案ガ宜シイノデアリマスガ、是
非磐城郡ニ編入シナケレバナラスト云フ程非常ニ重大ナ事デハアリマセヌ、
衆議院ガ可決シタ以上ハ強テ貴族院デ原案通ニ御賛成ヲ請フト云フ事柄デア
リマセヌカラ成ルベクハ衆議院ノ修正通り可決アランコトヲ希望スル旨ヲ述
ベテ置キマシタ

○男爵渡邊清君 本員モ右ノ川前デハ政府委員ニ一ツ承シテ置キタイト思ヒ
マス、元來檍葉郡ノ川前村ヲ今度新設ノ磐城郡ニ合スルト云フコトハ全體山
脈ノ模様ニ依シテノコトデアリマスカ、或ハ海岸ノ連續シテ居ルト云フコト
デアルカ、マア何カノ理由ニ依シテ檍葉郡ヲ割イテ此磐城郡ニ附ケルト云フ
コトデアツタラウト思ヒマスガ、ソレヲ今度衆議院ノ修正ノヤウニシテ舊ニ
歸スガ宜イト云フノハ何ニ依シテノコトデアラウカ、本員モ一ツ承シテ置キ
タイ

○政府委員(木内重四郎君) 此村ハ檍葉郡ノ一部デアリマスケレドモ山間ノ
孤村ニアツテ郡役所ノ距離ガ遠イカラ磐城郡ノ方ヘ編入ニナレバ郡役所ノ距
離ガ近クナリマスカラ編入ヲシテ貴ヒタイト云フノデ、併シ一箇村ノ希望デ
ハナイ其一部落ノ希望デアツタノデ併シ一箇村ヲ二ツニモ三分ツテハ
到底統治ガ出來ナイカラ原案ノ如ク編成致シマシタ、併ナガラ衆議院ノ方デ
ハ其必要ハナイ從前ノ區域デ一向差支ガナイト云フノデ修正ニナリマシタノ
デアリマス

○子爵曾我祐準君 質問ガアリマス、私ノハ今ノ質問ト少シ違ヒマス、同ジ
福島縣デハアリマスガ、此福島縣磐城ノ國行方郡及宇多郡ヲ廢シテ其區域ヲ
以テ相馬郡ヲ置クト云フコトガアリマスガ、此今度ノ郡ノ名稱ニハ隨分奇妙
奇態ナ名稱ガアリマスガ相馬郡トハドウシテ思附カレタカ、是ハ相馬氏ニ此
所ヲ賜シテ此所ニ居ツタカラ大名ノ時分ニ相馬氏ガ居ツタ邊デアラウト思ヒ
マスガ何カ譯ガアリマスカ

○政府委員(木内重四郎君) 此地方ハ固ヨリ相馬領デアリマシテ土地ノ人民
ハ相馬ノ地方ト呼シテ居リマス、其タメニ高名ナル相馬ノ名稱ヲ附ケルノガ
適當デアラウト云フノデ選定ヲ致シマシタ

○子爵曾我祐準君 尚ホ御尋致シマスガ、奥州へ往クト南部ト云フ所ガ有リ
マスガ南部トハ言ヒマスケレドモ南部ト云フ地名ハ是ハ御承知デモアリマセ
ウ甲斐ノ國ニ有ル、ソレヲ甲斐ノ國ニ居ツタ新羅三郎ノ後トノ一人ガ南部ニ
居ツタノガ奥州ノ取締ニ往シテ其名字ガ南部デアル、其人ガ居ツタ所ヲ南部
ト云フノデアル、此相馬モ下總ノ柏馬デアラウ、其人ノ居タ所デアルカラ相
馬ト云フ名稱ヲ附ケルト云フヤウナコトデアレバ先ツ東京ハ德川郡トデモ言
ハネバナラヌヤウニナツテ來ル、小倉ヲ小笠原郡ト云ヒ薩摩ハ島津郡ト云フ
コトニナラネバナラヌ、是ハ餘程奇態ナ御選ト思フカラ不審デタマラヌ

○田中芳男君 唯今曾我君カラ相馬郡ノ事ニ就イテハドウ云フ御見込デアリ
マスカ修正案デモ出マスルカ唯質問デゴザイマスカ

○子爵曾我祐準君 私ニ御相談デスカ、私ハマ少シ其理由ヲ承リタイデスガ

政府委員ハ別ニ理由ハ説明セラレマセヌカラ改ムベキ時期ガアツタラ是ハ改
メタイト思ヒマスガ何分一瀉千里ダト云フノデスカラ、サウ云フコトニハド
ウモ困ル、若シ贊成ヲ得テ此案ダケヲ御残シニナツテ改メルコトガ出来タラ
私ハ満足ニ思ヒマス
○田中芳男君 本員杯ハ郡名ト云フモノハ成ルベク諸方ニ同一ノ郡名ガ澤山
無イヤウニシタイ考デアリマスカラ若シ曾我君カラ同一ノ郡名ガ他ニ有ツタ
ラ別段ノ郡名ヲ附ケヤウト云フ說ガ出レバ贊成ヲ致シタイト思ヒマスガ、出
ナイ以上ハ贊成スルコトガ出來マセヌガ、意見ダケ述ベテ置キマス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今林子爵カラ讀會省略ノ請求ガゴザイマシタ
ケレドモ別ニ贊成ガ無イヤウデゴザイマス
○子爵由利公正君 賛成致シマス
○子爵土方雄志君 賛成致シマス
○關田可通君 林子爵ニ贊成致シマス
○子爵西五辻文仲君 賛成
○男爵中川興朝君 賛成
○小原重哉君 賛成
○子爵長谷信篤君 賛成
○男爵金子有卿君 賛成
○伯爵大原重朝君 賛成
○子爵柴原和君 賛成
○中村博愛君 賛成
○男爵中川興朝君 賛成
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 林子爵ノ讀會省略ノ動議ハ定規ノ贊成ガアリマ
ス、讀會省略ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三分ノ二以上ト認メマス、是ハ順序ニ決ヲ採リ
マス、大阪府下郡廢置法律案、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
(郡區廢置法律案ニシテ特別委員ノ修正ナキモノハ掲載セス以下
同シ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、兵庫縣下郡廢置及郡界變更
法律案
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 一々起立ニ詰ヒマスノモ大變煩ハシマス譯デア
リマスカラ起立ニ詰ヒマセズ別ニ御發議ノナイモノハ可決ト認メマス、次ニ
埼玉縣下國界變更及郡廢置法律案

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、千葉縣下郡廢置法律案
(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別ニ御異議ガナイト認メマスニ依シテ原案ニ決
シマス、群馬縣下郡廢置及郡界變更法律案
(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、茨城縣下郡廢止及郡界
變更法律案

變更法律案

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、福島縣下郡廢置法律案

○安場保和君 此法案中ノ川前村ト云フモノヲ今度磐城郡ニ組入レニナル

政府提出案デアリマシタノヲ衆議院ノ方デハ之ヲ元ノ通據ヘ置クト云フコトニ修正ニナツテ本院ニ送付ニナツテ居リマスガ、是ハ土地人情ノ實際ニ就イ

テ考案ヲ下シマスレバ即チ政府提出案ガ此節郡ノ廢合ノ趣旨ニ適合シテ居ルト考ヘマス、一村人民ノ望ミ且ツ地勢ノ景況ト言ヒ、ズット是ハ三郡内ニ突

入シテ居ル一村デゴザイマスレバ、成程政府委員ノ辯明ヲ承リマスレバ過ツ

テ提出ニナツタノデハナシ、併シ全村ノ望ミデナカツタノヲ全村組ミ入レタ

ノハ資力ガ弱イニ因ツテ全村組ミ入レタ所ガ、衆議院ノ修正デ小サナコトハアルマイト云フ位ノ實ニ暖昧タル理由ヲ申シタノニハ異議ヲ申シ出ラレマセ

ヌデアリマスガ、併シ積年切望ヲ致シテ居ル事情ハ明瞭ニナツテ居ル次第デアリマシテ、且ツ地形ノ様子モ今度ノ新置ノ郡ニ組入レニナツタ方ガ大ニ便

宜ニナルト云フ實際デアリマスレバ是ハドウゾ政府提出案ノ通復活致シタイト云フ動議ヲ提出致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 安場君ニ申シマスルガサウスルトソレハ修正案トシテ御出シニナラムトナラムノゴザイマス

○安場保和君 左様デアリマスカ、修正案トシテ提出案ノ通ニナレバ別ニソレデ異議ハアリマセヌカラ其通ノ意見デアリマス

○船越衛君 安場君ニ一ツ御尋シマスガ私ハ御同案デゴザイマスガ、何デゴザイマスナ人數ハ……

○安場保和君 唯今ノ修正ニドウゾ御同感ノ御方ハ御賛成ヲ願ヒマスト思ヒマス

○村田保君 本員ノ考デハ安場君ノ原案ニ戻シタイト云フノハ修正デハナイ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ハ唯今衆議院デ修正ニナリマシタモノガ原案ニナツテ居テ外ニ原案ノ有リヤウハナイ、ソレ故ニ修正トスル外ハナイ

○男爵渡邊清君 安場君ニ一應御尋シマスガ、第二項ノ方ハドウナサル、全然政府案ニ復シタイト云フノデアリマスカ

○子爵小笠原壽長君 安場君ニ賛成

○船越衛君 御尋致シマスガ、原案ト申スト修正ニナリマスカ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ト云フノハ衆議院デ議決ニナツテニチラヘ迴ツタ即チ今議シツ、アルノガ原案デアリマス

○子爵曾我祐準君 船越君ニ申シマスガ、斯ウ云フコトデス議長ノ仰セラレルノハ原案ハ朱書デアル、ソレデ言ハミ事實ハ復活スルノデアルガ、即チ修正スルノデ、修正ハ赤イ字ヲ消シテ、消シテアル字ヲ活カス、即チソレガ修正デアル、事實ハ復活デアルガ併シ形デハ修正デアツテ、我ミガ議シテ居ル案ハ衆議院ノ案デ、政府案ニスルト元ト政府案ノ殺シタ字ヲ活スカラ修正案デ宜シ、事實ハ復活デアルガ名稱ハ何處マデモ修正デアル

○安場保和君 唯今私ノ申述ベマシタノハ粗漏ニ屬スル所モゴザイマシテ段混雜ヲ致シマシタカラ甚ダ不都合デアリマスガ、尙ホ一應原案ノ不備ヲ補ヒタイ、即チ此原案ニナツテ居ル所ノ私ノ説ハ川前村ヲ矢張元ノ通ニ今度新置ニナル所ノ三郡ニ置イテサウシテ此第二項ニ至リマシテ矢張原案ノ通ノ修正トドウゾ御認メヲ……

(子爵曾我祐準君「原案デハナシ政府案ダ」ト述フ)

政府案ノ通ニ復活ト申シマシタガ、規則上ニ於テハ政府案ノ通修正説ヲ提出致スコト、御了解ヲ願ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザイマス

○森山茂君 賛成

○松本鼎君 賛成

○子爵本莊壽互君 本員モ安場君ニ賛成

○南鄉茂光君 賛成

○子爵由利公正君 安場君ニ賛成

○村田保君 賛成

○子爵鳥居忠文君 賛成

○子爵堤功長君 賛成

○平山成信君 賛成

○武井守正君 賛成

○根岸武香君 賛成

○子爵新莊直陳君 賛成

○中村雅眞君 賛成

○子爵久留島通簡君 賛成

○船越衛君 一寸政府委員ニ御質問致シタウゴザイマスガ宣シウゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待ニナツテ……

○船越衛君 イヤ唯原案ト修正トノ事ニ就イテ他日……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 併シ今賛成中デアリマシテ成立タヌノデアリマスカラ暫ク御待チ下サイ

○田中芳男君 賛成

○子爵土方雄志君 賛成

○吉村角次郎君 賛成

○子爵堀田正養君 安場君ノ修正ニ賛成ノ意ヲ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 安場君ノ修正ノ動議ハ定規ノ賛成ガゴザイマス

○子爵鍋島直柔君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本員ハ簡単ニ賛成ノ意ヲ……

○船越衛君 然ラバ私ハ更ニ安場君ニ賛成シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 船越君ニ申シマスガ、斯ウ云フコトデス議長ノ仰セラレルノハ原案ハ朱書デアル、ソレデ始終此山ノ東背ヲ爲シテ居ル、即チ山ノ東ニ當ル、ドウモ磐城郡ニ附イテ居ラヌト土木工事其他一切不便デアル、ソレカラ又先キ

○第二項ノ方ノ雙葉郡ヲ染羽郡ト衆議院デ修正ニナツタガ、染羽ト云フコト

ハ一向本員等ハ知ラヌノデ、即チ是ニ雙葉トシテアルノハ兩方ノ此葉ト云フ字ハ兩郡ヲ籠メテ雙葉ト云フノアルガ是モ政府案ノ方ガ穩當デアルト思ヒマス、ソレデ是ハ復スガ宜カラウト本員ハ思ヒマス、聊カ理由ヲ述ベマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今ハモウ既ニ讀會省略ニナツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ修正ガ出マシタニ依テ……一度デ是ハ決スルノデゴザイマス、安場君ノ修正說ニ就イテ決ヲ採リマス、一寸モウ一應安場君ニ確メテ置キマスガ總テ政府案ノ通ニ復活スルト云フ御修正ト考ヘマスガ

○安場保和君 左様デゴザイマス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザイマス、安場君ノ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ巖手縣下郡廢置及郡界變更法律案

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別段御異議ハナイト存シマスニ依テ原案ニ決シマス、次ニ富山縣下郡分離及廢置法律案、政府提出、衆議院送付、以下滋賀縣下マデ即チ八件ダケヲ束ネテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

○船越衛君 議長

(「船越衛君演壇ニ登ル」)

○船越衛君 富山縣、鳥取縣、熊本縣、鹿兒島縣、岡山縣、奈良縣、三重縣、滋賀縣、此八縣ノ郡廢置分合ノ法律案ノ特別委員會審査ノ經過及結果ヲ御報道致シマス、本案ハ委員會ニ於キマシテ政府委員ニ向クテ此度分離或ハ廢置等ノ趣旨フツレく説明ヲ請ヒマシテゴザイマス、政府ノ趣旨モ能ク分リ又衆議院ノ修正ニ於キマシテモ政府ノ同意不同意、差支ノ有無承リマシテゴザイマスルガ、サシテ衆議院ノ修正ニ於テ政府ニ敢テ不同意モナイコトヲ答ヘマシテゴザイマス、ソレデ政府提出案ニ於キマシテ衆議院ノ修正ヲ致サヌ所ハ皆政府ノ提出案通ニ可決致シマシタ、又衆議院ノ修正ニ於キマシテモ多少論ノアツタ名ニ於テ論ノアツタ所モゴザイマスガ是モ成立チマセヌ、其一ツヲ舉ゲマスト三重縣ニ於キマシテ政府案ハ三重縣ノ第二番目デゴザイマスガ、三重縣伊賀國名張郡及伊賀郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ伊名郡ヲ置クト云フ政府案デゴザイマシタ、之ヲ衆議院ハ名賀郡ト斯ウ修正ヲ致シマシタガ是モ成立致シテ三朝郡ト云フ說モ出マシテゴザイマスルガ是モ成立チマセナシタ、ソレセナンダ、ソレカラ第三番目ノ朝明郡ト云フ郡ヲ廢シテ其區域ヲ以テ三重郡ヲ置クト云フニ附イテハ三朝郡ト改メタイト云フ修正說モ出マシタガ、三重郡ヲ三朝郡……其所以ハ三重郡ノ三ヲ取りマシテ、又朝明郡ノ朝ヲ取りマシテ三朝郡ト云フ說モ出マシテゴザイマスルガ是モ成立チマセナシタ、ソレカラ第五番目ノ政府案ノ以比郡ヲ飯南郡ト衆議院ニ於テ修正ヲ致シマシタガ是モ矢張政府案ヲ可トスル說モゴザイマシタガ、是モ修正說ハ成立チマセヌデ矢張此衆議院案通ニ可決致シマシタ、其他此熊本縣ニ於キマシテモ政府案

ハ菊志郡トアツタノラ菊池郡ト改メマシタ、是ハ最モ改メタ方が宜イト云フ大贊成デ衆議院ノ修正案ヲ可決致シマシタ、其他御参考ニ爲ル程ノ別ニ論モゴザイマセヌ、今申シマス通ニ大體政府案ト衆議院ノ修正案ニ可決致シマシタ、此段御報道ニ及ビマス

○田中芳男君 一寸質問ヲ唯今衆議院デ修正ニナリマシタコトニ依テ御辯明ノ理由ガアリマシテ、ドウ云フ譯デ斯ウ名ガ附クト云フコトガ分リマスガ衆議院デ赤クシタ方ニハ理由ト云フモノガナイカラ政府委員ニ伺ハナケレバナリマセヌガ、政府案ニハ郡名ノ改正ニナリマスニハ其郡名ノ改正コトニ附イテ是ハ此方ガ尤ダト言フ御辯明ガアリマシタガ、サウ御辯明ガアレバ腹ニ這入リマスガ、其ナイ所ガ一二箇所アリマスガ、ソレヲ特別委員ナリ政府委員ナリニ御尋ヲ致シタウゴザイマス

○船越衛君 大分尋ネマシタガ委シイ事ハ政府委員ニ御尋ヲ願ヒマスノ政府委員(木内重四郎君) ドノ郡ニ就イテ御尋デゴザイマスカ

○子爵土方雄志君 唯今委員長ノ報告サレタ案ヲ讀會省略ニスル動議ヲ提出致シマス

○子爵鍋島直彬君 贊成
○小原重哉君 贊成
○金澤松右衛門君 贊成
○伯爵大原重朝君 贊成

○男爵金子有卿君 贊成
○男爵中川興長君 贊成
○中村雅眞君 贊成

○飯淵七三郎君 贊成
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 土方子爵ヨリ讀會省略ノ請求ガゴザイマス、定規ノ贊成ガアリマス、讀會省略ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三分ノ二以上ト認メマス、富山縣下郡分離及廢置法律案……是ハ別ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者數名アリ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ原案ニ決シマス、鳥取縣下郡廢置法律案

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ御異議ナシト認メマシテ原案ニ決シマス、熊本縣下郡廢置法律案

○子爵小笠原壽長君 一寸政府委員ニ質問致シマス、此熊本縣ノ第三行ノ

「熊本縣肥後國菊池郡及合志郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ菊志郡ヲ置ク」トナツテ居リマスノヲ衆議院デハ「志」ト云フ字ヲ「池」ト云フ字ニシテ「菊池郡」ト直シテアリマスガ、是ハ政府デハ御同意ニナツタノデアリマスカ

○政府委員(木内重四郎君) 同意ヲ致シマシテゴザイマス
○子爵小笠原壽長君 本員ハ少シ修正説ヲ出シマス、是ハ元ノ「菊池郡」トアル政府案ニ復活ヲシタイト云フ修正デアリマス、是ハ餘程政府案ノ方ガ完備ヲ致シタモノデ菊池郡ト合志郡ヲ廢シテ其區域ヲ以テ置クノデアリマスカラ菊志郡ト云フノガ當然デアリマス、衆議院ノ修正ハ菊池郡ハ高名ナモノデアルカラ菊池郡トシタト云フコトデアリマスガ、サウスルト山鹿郡ト山本郡ヲ廢シテ鹿本郡ヲ置クト云フコトデアリマスガ、山鹿郡モ高名ナ郡デアリマス、ソレヲ鹿本郡トシテアリマス、片一方ニ之ヲ削シテ置キナガラ菊池郡ト云フ名ヲ其儘置クト云フノハ本員ハ不審ナコト、存ジマス、本員ノ聞ク所デハ菊池郡トスルト云フノデ熊本ノ人民ハ餘程激昂ヲシテ居ルト云フコトヲ開キマシタ、依クテ政府カラ出マシタ菊志郡ト云フコトニ復スルノ修正説ヲ提出致シマス、ドウカ満場ノ諸君ニ於キマシテモ事情御洞察アツテ是非コレハ政府案ニ復活ニナルヤウニ希望致シマス

○子爵曾我祐準君 小笠原サン、大變御熱心ニ修正案御提出デアリマスガ本員ハ御氣ノ毒ナガラ全ク反対デアリマス、菊池ト云フ名ハ歴史上餘程名高イ所デアリマス、合志ト云フモ名高クナイデハナイガ菊池ノ方ヲ存シテ置キタ且ソ此郡ト此郡ト頭ト尻尾ト二ツヲ取ッテ名ヲ附ケルト云フハ元來不同意デアリマス、コソナ此蜂取ラズノ事ヲスルハ餘程妙ナ折衷デ本員杯ハ一向感心シナイ折衷デ、一切不同意デアリマス、實ハ葛城トカ生駒ト云フヤウナ名ヲ附ケル方ガ贊成デアリマス、一々反対ヲ言ッテハ居ラレヌガ本員ハ妙ナ

○子爵小笠原壽長君 曾我子爵カラ全ク反対ト云フコトデアリマシタガ

〔子爵曾我祐準君 アナタ一過言フタダヤナイカ」「ト述フ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今修正ノ動議ヲ御出シニナツテ居ルト思フテ居リマス

○男爵伊達宗敦君 小笠原君ガ事情ヲ洞察シテ贊成シテ吳レト云フコトデアルガドウ云フ事情デアリマスカ、熊本ノ誰ニ御聞キニナツタカ分ラズ、ドウカリコノ分ルヤウニ事情ヲ委シク……
○子爵小笠原壽長君 伊達男爵ニ御答辯致シマスガ熊本ハ本員ノ舊ノ領地ノ本家デアリマスカラ委シク事情ヲ知ッテ居リマス、此度ノ熊本ノ……人ヲ申シテモ宜シイガ必要ガゴザイマセヌカラ申シマセヌガ事情ト申シマスノハ人心ノ激昂シテ居ルノヲ事情ト申シタノデアリマス

〔推測ダラウ「ト呼フ者アリ」〕

決シテ推測デハアリマセス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小笠原子爵ノ修正ニハ贊成ガ有リマセヌ……

○柴原和君 私ハ贊成致シマス、一寸前ノ鹿本郡ト申スモノモ山鹿郡ト云フノト山本郡ト云フノ一字ヅツ取ッタノデ二郡有レバ二郡ノ字、三郡有レバ

又ソレニ就イテ名ヲ附ケルト云フガ政府ノ方針デアラウト思ヒマス、小笠原君ノ修正ハ結構デゴザイマス、贊成致シマス

○子爵本莊壽亘君 本員ハ贊成致シマス
○船越衛君 唯今政府案ノ通ニ戻スト云フコトニ贊成ガゴザイマシタガ是ハ唯今曾我君ヨリ御演説ノ通ニ菊池郡ト云フガ能ク知レタ郡デモゴザイマスシ、又

〔御大聲ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ〕
郡杯ハ人ニ知レ能イガ宜イ、成ルベクハ知レ惡イ名ヲ附ケヌガ宜イ、是ハ衆議院ノ修正通希望致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小笠原子爵ノ修正動議ニハ定規ノ贊成ガ有リマセヌ……原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
〔起立者 多數〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ鹿兒島縣下國界竝郡界變更及郡廢置法律案

〔異議ナシ」ト呼フ者數名アリ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別ニ御異議ハナイト認メマシテ原案ニ決シマス、次ニ岡山縣兵庫縣境界變更竝福岡縣大分縣境界變更法律案

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是ハ別段御意見ガナイト認メマシテ原案ニ決シマス、奈良縣下郡廢置法律案
〔異議ナシ」ト呼フ者數名アリ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、三重縣下郡廢置法律案

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、滋賀縣下縣界變更及郡廢置法律案
〔異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、次ニ靜岡縣下郡廢置法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

〔子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル〕
○子爵鍋島直彬君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、此法律案ハ我ニ付託セラレマシタル他ノ二件ト共ニ昨日午前ニ委員會ヲ開イテ審査ヲ致シマシタ、委員會ニ於テハ少々質問等モゴザイマシタケレドモ別ニ此法律案ニ對シテハ異議モゴザイマセズ、修正ノ說モ出マセヌデ即チ原案衆議院ノ修正通ニ全會一致ヲ以テ可決致シマシテゴザイマス、此法律案ハ委員會ニ於テモ極く速ニ一ノ異議モ出マセヌデ決シマシタルモノデゴザイマス、願クハ讀會ノ順序ヲ省略セラレテ速ニ議定アランコトヲ望ミマス

○子爵土方雄志君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○男爵西五辻文仲君 賛成
〔推測ダラウ「ト呼フ者アリ」〕

決シテ推測デハアリマセス

- 南郷茂光君 贊成
 ○子爵山口弘達君 贊成
 ○子爵小笠原壽長君 贊成
 ○男爵玉松真幸君 贊成
 ○男爵金子有卿君 起立者
 ○子爵京極高徳君 贊成
 ○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 鍋島子爵ヨリ讀會省略ノ請求ガゴザイマシテ定規ノ贊成ガゴザイマス、讀會省略ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
 ○田中芳男君 唯今ノ靜岡縣ノ所ニ衆議院デ修正シマシテ此安倍郡ト云フ所ヲ除キマシタコトニ就キマシテハ定メテ政府委員ニ於カレマシテモ斯ヤウナ郡名ニスル方ガ宜イト御同感ニナツタノト思ヒマスガ其御同感ニナリマシタ所ノ理由ヲ承リタイ
 ○田中芳男君 呼び聲ハ「アリヤス」ト呼ビマスカ「アリアン」ト讀ミマスカハッ切り致シマセヌ讀方モハッ切りシナイヤウナ郡名ヲ附ケルト云フノハドウ云フ考デアリマスカドウゼウチットハッ切りト御辯明ヲ願ヒマスナリマシタ、ノデゴザイマス
 ○政府委員(木内重四郎君) 是ハ衆議院デ修正致シタノデ政府ノ原案ハ安倍郡ト有渡郡ヲ合シテ、安倍郡ガ大キクモアリ古來有名ナル郡デアルカラ安倍郡ト致シタ、然ルニ有渡郡ノ一字ヲ取ッテ委員長ハ「ウアン」郡ト言ッタノデ然ルニ他ノ議員ハ「ウアン」郡デハナクシテ「アリヤス」郡ト呼ブノダト云フ發言ヲシマシタ是ハ委員會ノ折ニハ私が出席シテ居リマシタ時ニハ原案通り可決シタガ其後更ニ委員ガ集ツテ斯ウ修正シタサウデス、ワレデアリマスカラ何ト呼ブノガ適當デアルカ呼ビ聲ハ知リマセヌ
 ○田中芳男君 唯今此安倍郡ト云フコトニ就キマシテ政府委員ニ御尋ヲ致シ甚ダ不都合ト考ヘマス而シテ此安倍郡ト云フ名前ハ如何モ彼ノ國ニ於キマシタ、是ハ政府委員モ碌々御承知ニナラヌコトデ衆議院アヤウタト云フコトデアリマスガ併ナガラ讀方モ分ラスト云フモノヲ茲デ議決スルト云フノモシテハ昔カラ名高イ名前デアリマスカラ本員ハ此朱字ヲ削フテ矢張政府ノ原案ノ安倍ト云フ郡ニ復活スルコトノ修正ヲ提出致シマス、同感ノ諸君ハ何卒二十名ノ贊成アランコトヲ希望致シマス
 ○子爵曾我祐準君 贊成ヲシマス
 ○松本鼎君 贊成
 ○村田保君 贊成
 ○男爵金子有卿君 贊成
 ○子爵林友幸君 贊成
 ○森山茂君 贊成
 ○男爵小澤武雄君 贊成
 ○子爵一柳末徳君 贊成
 ○三浦安君 贊成
 ○南郷茂光君 起立者
 ○子爵渡邊清君 贊成
 ○子爵銅島直柔君 贊成
 ○小林小太郎君 贊成
 ○小原重哉君 贊成
 ○澤簡徳君 贊成
 ○宮崎總五君 是ハ民情ニ關係ノアル事デゴザイマシテ……
 ○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御意見ハ御待ヲ願ヒタ
 ○山脇玄君 贊成
 ○子爵小笠原壽長君 贊成
 ○子爵本莊壽巨君 贊成
 ○平山成信君 起立者
 ○宮崎總五君 モウ宜シウゴザイマスカ
 ○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク……
 ○男爵西五辻文仲君 未だ足リマセヌカ……贊成
 ○子爵平松時厚君 起立者
 ○金井之恭君 贊成
 ○磯邊包義君 起立者
 ○宮崎總五君 議長
 ○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宮崎君ハ御意見ヲ御述ベニナルノデゴザイマス
 ○宮崎總五君 議長
 ○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宮崎君
 ○宮崎總五君 私ハ委員ノ一人デ殊ニ私ノ縣デゴザイマスカラ……安倍郡ハ著名デハアリマスガ有渡郡ノ方デ三分ノ二ヲ占メテ居ルノデ大變人氣ニモ關係シマス是非ハ有安郡ト衆議院ノ修正通ニシテ貴イタイト思ヒマス
 ○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是ハ以前ニモ述べマシタ通讀會省略ニナツテ居リマスニ依ツテ一度デ決スルノデゴザイマス、有安郡ト云フコトガ安倍郡ト云フコトニ修正ニナルダケデ後ハ衆議院ノ修正通ニナルノデゴザイマス、修正ガ成立テバサウナル田中君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
 正ガ成立テバサウナル田中君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
 ○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 判然ト致シマセヌ氏名點呼ヲ行ヒマス
 (書記官氏名點呼ヲ行フ)
 ○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 氏名點呼ノ結果ハ出席總數百二十四、可トスル議員七十六、否トスル議員四十八、田中君ノ修正ニ決シマス、次ニ島根縣下郡廢置法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長起立者
 ○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ハ過刻御報道致シマシタ富山縣下外七縣郡ノ分合廢止法案ト共ニ審査ヲ致シマシタ譯デ其經過結果ヲ御報道致シマス、本案ニ就キマシテハ郡ノ是マデ聯合致シテ居リマシタノヲ分離致シテ各獨立ニ致シマスノト矢張從來ノ通ニ合併致シテ即チ一郡ト致シタイト云フコトニ就キマシテハ雙

(船越衛君演壇ニ登ル)
 ○船越衛君 本案ハ過刻御報道致シマシタ富山縣下外七縣郡ノ分合廢止法案ト共ニ審査ヲ致シマシタ譯デ其經過結果ヲ御報道致シマス、本案ニ就キマシテハ郡ノ是マデ聯合致シテ居リマシタノヲ分離致シテ各獨立ニ致シマスノト矢張從來ノ通ニ合併致シテ即チ一郡ト致シタイト云フコトニ就キマシテハ雙

方郡民互ニ望ガゴザイマシテ諸君モ御承知デゴザイマセウ一方ハ是マデノ聯合ヲ離レタトイト言ヒ一方ハドコマデモ從來ノ通ニ合併致シタ、電報ナリ或ハ其周旋ヲスル人ナリ双方共ニ熱度モ高マリマシテ競争致シテ居ルコトデゴザイマス、特別委員會ニ於キマシテモ最モ注意ヲ致シテ審査致シタコトデ此中衆議院デ修正ニナリマシタ「島根縣出雲國仁多郡及大原郡ヲ廢シ其區域ヲ以テ鐵上郡ヲ置ク」ト是ハ聯合ニ致シマセズニ即チ各獨立ニ致ス即チ衆議院ノ修正案ニ可決致シマシタ、委員中一人矢張聯合ニ致サウト云フ説ハ起リマシテゴザイマスが此仁多郡ト大原郡ハ郡ノ境界ニナル山ガゴザイマス、餘程雙方往來ノ不便ヲ感シテ是マデニモ頗ル困難ヲ極メル趣デゴザイマス、從ツテハ風俗人情モ異テ居リマシテ、ソレヲ強テ合併致スノハ宜シクアルマイト申シテ終ニ衆議院ノ修正通ニ可決致シマシタ、ソレカラ其次ノ大國郡ヲ鐵川郡ト衆議院デ改メマシテゴザイマス、是ハ一體大國郡ノ方ガ善クハナイカト云フ論モ起リマシタガ終ニ成立チマセヌデ衆議院修正通鐵川郡ニ可決致シマシタ、其次邇摩郡ト安濃郡ヲ政府案ハ合シマシテ石東郡ヲ置クト云フ案ニ就キマシテハ即チ前ニ申シマスル通ニ最モ雙方ノ人民ハ激昂致シマシテ居リマス、ソレデ一方分離ヲ好マス、即チ石東郡ノ一郡トナランコトヲ望ミマス方ノ趣旨ト申シマスルモノハ德川ノ初政ヨリ……德川ノ初カラ此邇摩郡ト安濃郡ト云フモノハ一ノ代官所ノ支配デアシテ即チ殆ド三百年モ共ニ聯合ノ郡デ今日マデ經過シテ來ッタ程デアルカラ之ヲ今日分離スルノハ甚ダ好マシクナイ又其上ニ第一之ヲ分離致ス以上ハ邇摩郡ノ經濟モ立行キ難イ又是ニテ共同事業ヲ共ニ致シテ居ルコトモアリ又道路环モ兩郡聯合シテ今日マデ致シテ居ッタ事柄モアルデ彼ヤ是ヤヲ以テ何レニモ分離ハ望マヌ今日マデ聯合致シテ居タノヲ即チ一郡ト爲シテ貰ヒタトイト云フ斯ウ云フマア大體ノ趣意八九千石是ハ五万石程四郡併シテ這入ッタ、ソレデ一ノ代官所デ治メタトハ云フモノ、言ハマ小ナル大名デ大名ノ領地ノ中ニハ郡モ澤山有ルコトデアッテ、丁度小大名ニ當ッテ居ッタヤウナコトデ各郡ニ庄屋等ガ有ツテ今ノ郡長ノ如キモノデ治メテ居ッタ、加之四郡一代官デ治メテ居ッタノヲ維新後三四年頃デゴザイマスカ邑智郡ト那賀郡ハ各、獨立致シタ、其中邇摩郡ト安濃郡ガ即チ聯合デ今日マデ來ッテ居ッタノデアルガ必シモ舊幕ノ初政カラ共ニミテ居ルトハ云フモノ、他ノ分ハ既ニ離レテ居ル、然ル上ハ今日分離ヲスルノハ敢テ面白クナイコトデアル、又共同事業ガアルト云フ是ハ聞ク所ガ北海道開拓ノ事ヲ邇摩郡安濃郡ノ人民ガ共同シテ工ヲ起シテ居ル趣デアリマス、是ハ即チ郡總體デスルノデハナイ、畢竟共同事業デ言ハマ會社ノヤウナモノデアル以上ハ假令郡ハ分離シテモ此共同事業ハ共同事業デ共ニヤル又道路モ兩郡共ニ修繕ヲシテ居ルケレドモ是モ郡ヲ離レタトイトモ別ニ此事ヲ止ルト云フコトハスベキモノデナシ又出來モセヌ、他ノ各郡ニモ共ニ申合フテ道路ヲ修繕スルト云フコトハ往々有ル事デアルカラ必ズ郡ヲ離レタカラト云フテ道路ノ修繕仕來リヲセヌト云フコトハアリハシナイ、要スルニ斯ク府縣郡制

ヲ行ハレル以上ハ成ルベク獨立シテ自治ノ精神ヲ發達致シタ、斯ウ申ス一方ノ趣旨デゴザイマス、即チ一方ハ離ルベカラヌ趣旨デ前ニ申述ベル通申シ一方ハ離レント欲シテ今述ベル趣旨ヲ申シ、雙方道理ガアル、ソレ故ニ段々審査ヲ遂ゲテ論議モ盡シマシタ所結局離レタトイト云フモノヲ強テ附ケテ置クノハ宜シクアルマ、サリナガラ又如何ニ離レルト云フテ經濟ノ立タヌコトデハ又獨立ガ覺束ナカラウ然ラバドレ程ノ人口、戸數、段別ガ有ツタラ獨立ガ出来ルカト言フモニ其程度ハナイ、是ハ政府委員ニ於キマシテモツコノ程度マスト言フモノヲ強ユルト云フコトハ甚ダ宜クナイ、即チ前ニ言フ所ノハドウモ明言ハ出來マセヌ、併シ政府ニ於キマシテハ成ルベク郡ヲ大ギクシテ經濟ノ豐カルコトヲ希望致シマス、是ハ尤モ私ニ於テモソレヲ好マヌデハナイ、好マヌデハナイガ現ニ獨立モ出來ル、彼ト共ニ合シルコトヲ好マヌト言フモノヲ強ユルト云フコトハ甚ダ宜クナイ、即チ前ニ言フ所ノ自治ノ精神ニ反スル、ソレデ他ニモ斯ウ云フ例ガ有ル此位ノ小郡ニモスヘモ段々說キ諭シマシタガ一向其說諭ニモ應ジズ、此機ヲ幸ニ獨立ガシタイ、又人ノ獨立ヲ望ムト云フコトハ最モ好ムコトデアル以上ハ之ヲ強ユル譯ニ行カヌ、ソレデ遂ニ其節上申シテ前ニ述ベル通各獨立致シマシタ、其中最ザイマス、其節モ成ルベク經濟ノタメニハ郡ガ大キイ方ヲ好ミマスカラ人民モ小サイノガ宮城縣瓦理郡ト云フ是ハ戸數ガ三千二百七十三戸デ人口ガ二万四千五百八十九人有リ段別ガ一万二百町歩位デアル、ソレカラ玉造郡ト云フモノハ戸數ガ前ノヨリ少イ、二千八百七十五戸デ人口ガ二万一千二百六十三人、段別ハ少シク多イ又黒川郡、是モ戸數ハ三千六百五十戸位、人口ハ二万六千、其外山形縣ニ於キマシテモ隣分小サイ郡ヲ獨立サシタ、南置賜郡ガ四千百四十戸位デ人口ハ二万四千二百六十七人、福島縣ニモ有ル、福島縣ノ南會津郡环ハ戸數ハ四千四百七十五戸デ人口ガ二万八千百二十幾人、マダ其他ニモ斯ウ云フ小郡ヲ獨立サシタ所ガ多數ゴザイマス、然ル所此度分離セントスル所ノ仁多郡ハ四千四百三十五戸、人口ガ二万一千、段別ハ三万六千八百町步、大原郡ハ戸數ガ六千三百、人口ガ二万九千幾人デ、殆ドマア三万人、人口ガ三万九千、人口ハ殆ド四万、總段別ガ一万六千五百六十六町步、先づ此段別モ一万九千町步餘リゴザイマス殆ド二万町モ有リマス、安濃郡ニ於キマシテモ戸數ハ五千七百七十一戸、人口ハ二万六千七百二十七人、段別ハ一万四千七百七十九町モゴザイマス、又邇摩郡モ戸數ハ七千八百二十九戸、人口ガ三万九千、人口ハ殆ド四万、總段別ガ一万六千五百六十六町步、先づ此ノ如キ比例デゴザイマスニ誠ニ喜ンデ居ル、初メ大郡ニナラヌト經濟ガ持ツマイト思フシテモ戸數ハ五千七百七十一戸、人口ハ二万六千七百二十七人、段別ハ一万四千七百七十九町モゴザイマス、又邇摩郡モ戸數ハ七千八百二十九戸、人口ガ三万九千、人口ハ殆ド四万、總段別ガ一万六千五百六十六町步、先づ此ノ如キ比例デゴザイマスニ誠ニ喜ンデ居ル、初メ大郡ニナラヌト經濟ガ持ツマイト思フシテモ戸數ハ五千七百七十一戸、人口ガ二万一千、段別ハ三万六千八百町步、大原郡モ戸數ガ六千三百、人口ガ二万九千幾人デ、殆ドマア三万人、現ニ宮城縣ハ一昨年カラ縣制ヲ行フテ居マンシテ頃日小郡ガ獨立シタ、人民ニ承リマスニ誠ニ喜ンデ居ル、初メ大郡ニナラヌト經濟ガ持ツマイト思フタ程ノ氣遣ハ決シテナイ、大ニ喜ンデ共ニ協和シテ郡制ニ力ヲ入レルト云フコトデアリマス、ト見レバ此安濃郡邇摩郡モ即チ衆議院ノ修正通り各獨立サス方ガ至當ト考ヘマス、即チ特別委員會ニ於テ全會一致ニナシタ所以テアリマス、ソレデ此ノ如キ紛擾ガ起ツタ以上縱令押ヘテ合郡ニシタ所ガ到底永ク持テルコトデハアルマイト存ジマス、益々紛擾ヲ起シテ折角經濟ヲ宜クシテ遣ラウト思クテ合郡サセタノガ人民ハ紛擾ノ絶エヌヨリ不幸ガ重ナラニテ人民ハ

迷惑少ナカラヌコト、存ジマス、卑近ノ例デアリマスガ嫌ガル妻ヲ強テ夫婦ニシテ置イタ處ガソレデ一家ノ幸福ハ得ラレナイ、一家ノ經濟ニモナラナイ、ソレト同様ニ一方ハ是非獨立シテ一郡ヲ立テ、一郡人民ノ幸福ヲ得ヤウト云フモノヲ強ニルコトハ甚ダ好マヌコトデゴザリマスカラ即チ衆議院ノ修正通リ特別委員會デモ可決致シマシタ、右ノ趣旨ヲ諸君御了承アシテ衆議院○村田保君 委員長ニ少々質問ガゴザリマス、委員長ニ於キマシテハ此地方經濟ヲ御調べニナリマシタカ知リマセヌガ是ガ一番大事ト思ヒマス、例ヘバ此二郡ガ分レマシタトキハ經濟ハ立タナケレバナラヌト思ヒマスガ段々委員長カラ承ル所ニ依リマスレバ宮城縣或ハ三重縣邊リノ戸數トカ人口ガ多イトカ人口ノ多少戸數ノ多少ヲ以テ御論ジニナリマシタガ是ハ本員等ハ一向當テニナラヌト思フ、幾ラ人口ガ多クテモ漁村杯ニ參リマスト金持ハ少イ、戸數ハ少クテモ金持ノ多イ處ト貧乏人ノ多イ處トハ大層違ヒマスカラ此兩方分ケタ處デ地方經濟ハ保ツテ往ケルト云フコトハ御調べニナリマシタカ、其事ヲ一應承リタク、尙ホ其他ニモ伺ヒタコトガアリマスガ先づ是ダケ伺ヒマス○船越衛君 今始ノ御尋ハ能ク分リマセヌカラモウ一應……○村田保君 今分離シマシテ兩方トモ一郡ニナカッテ其郡ノ經濟ガ立ツカ、例ヘバ邇摩郡ハ邇摩郡デ經濟ハ立ツカト云フコトデゴザイマス○船越衛君 ソレタケデゴザリマスカ……邇摩郡ハ分離スル經濟ガ立タヌト人民ハ言フノデ併ナガラ物ハ比較的ニ見ナイデハナラヌ一方ハ立ツ、獨立シテ立ツ、又ソレハ双方望ミデアルカラ他ニ例ガ有ルナラ比較シテ見ナクテシタヤウニ存ジマスガ雙方相似タモノデ邇摩郡ノ方ハ段別杯ハ多イ、邇摩郡ハナラヌ他ニコソナ例ガ有ル、有ルドコロデハナイ、前ニ述べタ例ノ外ニマダ舉ゲレバ有ルソレデ矢張邇摩郡モ獨立シテ往カウト思フ、ソレデ金持ノ有無ハサウ細マシウコンナコトハ調ベラレルモノデナイ、段別杯ハ前ニ舉ゲマシタヤウニ存ジマスノ例ガ有ル、有ルドコロデハナイ、前ニ述ベタノ外ニマダス、安濃郡ガ獨立スル以上ハ各別ニ於テ邇摩郡ノ方ガ多イカラ安濃郡ガ獨立スルコトガ出來ルナラ尙ホ邇摩郡ハ出來ヤウ、勿論人口ノ……引當テニハナラヌガ人民無クシテ一ノ區畫ハ出來マセヌカラ人口ハ大事ナモノデゴザイマス○田中芳男君 質問ガゴザリマス、一寸委員長ニ御尋致シマス、此案ハ過日第一讀會ノ節ニモ本員ハ政府委員ニ質問致シタ處モゴザリマスガ唯今委員長カラシテ懸々比例ヲ立テ、御述ベニナリマシテ原案ノ儘ニ行クト云フコトハ分リマシタガ併シ本員ハ過日來電報ヲ受ケタリ種々ノ刺擊ヲ受ケマシテ考ヘテ見マスルト唯今委員長ノ仰しゃルヤウナ譯ニ見エマスケレドモ亦一方カラ考ヘマスルト此夫婦喧嘩ト云フモノハ昨今始ダモノデ、從來仲ハ善カタ者ガ今度登錄稅ヲ出シタクメニ喧嘩ガ起シタヤウニ見エマスガ從前カラ斯様ニ軋轢シテ居ツタ譯デアリマスカ今度急ニ起リマシタ譯デアリマスカ其邊ハ御辯明ガナイカラ一應御答ヲ願ヒマス○船越衛君 御答致シマス、從來ハ夫程仲ハ惡ルクナカタラシウゴザイマス、ソレデ斯ウ云フコトハ愈々獨立ニナラウト云フコトニナルト、早ヤモウ分カレルコトハムツカシイカラ論が起ル、郡ノミデゴザリマセヌ、是マデ町

村制ニ於キマシテモ聯合町村ノ時ハ論ガナイ、是ヲ木マノ合郡ニシテ一ツノ名ノ下ニ町村ヲ合シルト餘程苦情ガ起ル、私ハ是マデ町村制ヲ施イテ是ヲ合シマスルニハ困ツタコトガアル、ソレト一ツデモ合シマスル時ニ必ズ論ガト起ル、現ニ先刻ノ千葉縣ノ郡ノ廢置ニ一ツノ何ガゴザリマス是ハ出タノアハゴザリマセヌ、千葉縣ノ海上郡並蹉郡ト云フ郡ガ有ル是ヲ一所ニ是マデ合郡デハナイカト云フテ尋ねマシタ所ガ一方ノ人民ハ好マナイ、好マヌ皆ガアル一小サン郡デ唯今讀上グタ位ノ郡デゴザリマス、是ヲ一體言フト今度尙ホシナイカト云フテ尋ねマシタ所ガ一方ノ人民ハ好マナイ、好マヌ皆ガアル一方ニハ郡役所ガ有リ一方ニハ郡役所ガ置イテナイカラ始終其方ニ引附ケラレルソレヨリハ寧ロ物ガ入ツテモ獨立シテ自治ノ精神ヲ行フト云フコトカラ合郡ヲ好マナイ、ソレ故ニ合郡シナイト云フ斯ウ云フ答デゴザリマシタ、ソレニ從來ソレ程仲モ惡ルクナイ今度是ヲ一郡トシテ一郡ノ下ニ置クト云フコトニナツテ即チ離縁ヲ請フタ、ソレト一ツ事デ是モ是マデノヤウニ聯合シテ置ケバ強テ論ハゴザリマセヌ、ハヤ一郡トナツテ名モ變リ一方ニ制セラル、コトニナルカラ是ハ人情嫌フノハ尤モ……併ナガラ前ニ申ス通經濟ガ眞ニ立タナケレバ如何ニ言ツテモ合郡セナケレバナラヌカモ知レマセヌガ立タヌコトハ決シテアルマイト存ジマスノハ前ニ述ベマシタヤウナ例モゴザリマスカラドウゾ原案ニ田中君モ御贊成アランコトヲ希望致シマス○男爵千家尊福君 私ハ極ク簡単ニ申述ベタインノデゴザイマス村田君ノ御質問ガ濟ンデカラニナスツテハ如何デゴザイマス○村田保君 本員モ意見ヲ述ベタイト思ヒマスガ……○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) マダ質問ガアルト先刻仰シヤツタガ……○村田保君 政府モ此衆議院ノ修正ニ對シテ同意シテ居ルカラニナステ本員モ意見ヲ述ベタイト思ウテ居ル○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) ソレナラ宜シウゴザリマス、長ク講場ノ○村田保君 政府委員ニ前ニ質問シマシテ其答ヲ得マシテカラニ願ヒタク等ノ事ハ認メテ居リマセヌ、多少ソレハ町村組合杯ニ議論ハアツタノデスケレドモ兩郡ガ共ニ一緒ニナツテハ此先キイケヌト云フ甚シキ軋轢ハナインデ、而シテ原案通ニスル方ガ郡ノ資力モ相當ニアリ、又交通ノ不便モナイカラト言フノデ原案ヲ出シマシタノデ、然ルニ衆議院デハ兩郡トモ各々獨立ヲモ衆議院ノ通デアレバ強テ反対ヲ致サヌノデアリマス○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 千家男爵○男爵千家尊福君 此席テ宜シウゴザイマスカ○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) ドウゾ演壇ヘ御出ヲ願ヒマス○男爵千家尊福君 至ツテ短イノデ……

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 長短ニハ拘ラヌノデス

(男爵千家尊福君演壇ニ登ル)

○男爵千家尊福君 私ハ此島根縣ノ郡ノ廢置法律案ニ就キマシテハ衆議院ノ修正ニ掛ル所ハ諸君モ御承知ノ通出雲國仁多郡及大原郡ヲ廢シテ其區域ヲ以テ鎌上郡ヲ置クト云フノヲ削除ヲ致シマシテ即チ出雲國仁多郡ヲ獨立サセルト云フコトニ修正ニナリマシタ、ソレカラ石見國ノ方デモ遍摩郡安濃郡ヲ廢シテ其區域ヲ以テ石東郡ヲ置クト云フノヲ修正ヲ致シマシテ安濃郡ヲ獨立サセルト云フコトニナリマシタ、之ニ就イテ先刻來委員長船越君カラ繕々委員會ノ模様ヲ御報告ニナリマシタ所ヲ承リマスニ、委員長ノ御報告モ重モニ石見國ノ安濃郡遍摩郡ノ關係ヲ御述ベニナツテ居ル、ト言フノハ私ノ手許ヘモ安濃郡ノ獨立ニ附イテハ遍摩郡ノ人民カラ數通ノ電報ヲ送ラテ參リマシタ、即チ諸君ニ御送リ申シタノト同様ノモノデアル又安濃郡ノ人民カラ繕々委員會ノ模様ヲ御報告ニナツタ次第アラウト思ヒマスガ私ノ恐レマスヘ數通ノ電報ヲ送ラテ居ルヤウナコトデアル、此安濃遍摩ノ關係ニ就イテハ餘程地方ノ模様ガソノ喧マシイ、喧マシイニ附イテ自然ト諸君ノ視聽モ遍摩安濃ノ方ヘ重モニ御移シニナツテ居ルコト、思フ、ソレ故ニ委員長モ私ノ手許モ安濃ノ關係ノ事ヲ御報告ニナツタ次第アラウト思ヒマスガ私ノ恐レマスノハ出雲國仁多郡ノ獨立ニ附イテハ從來仁多郡ト共ニ一郡役所ノ下ニ立ツテ居ル所ノ大原郡ニ於キマシテモ、仁多郡ノ獨立スルニ對シテハ餘り異議ハナリノデ、ソレ故ニ仁多郡ノ獨立云々ニ對シテハ格別世間ニ運動抔ト云フヤウナコトモ聞エマセヌ故ニ自然ト委員長ノ御報告モ先づ喧マシイ遍摩安濃ノデ免ニ角仁多郡ノ獨立ニ對シテハ大原郡ノ人民モ異議ガナイト云フ次第アルノデ、ソレ故ニ仁多郡ノ獨立云々ニ對シテハ格別世間ニ運動抔ト云フヤウナコトモ聞エマセヌ故ニ自然ト委員長ノ御報告モ先づ喧マシイ遍摩安濃ノ方ヲ委シク御陳述ニナツタラウト思ヒマスガ、此仁多郡ト云フノハドレダケノ郡カト言ヘバ郡ノ區域ガ東西ガ殆ト九里許リニ瓦ツテ居ル、南北ガ七里餘リ殆ト八里近クニ瓦ツテ居ル郡デアツテ、小サイ郡トモ申シ難イ方デアル、然ラバ人口或ハ段別等ハドウカト云フト先刻委員長カラ御述ベデアツ通デアリマスカラ略シマスガ、此郡ハ是マデドウ云フ經濟ヲ以テ立ツテ居ルカト申シマスルト云フト郡内ノ田畠山林等ハ總て仁多郡ノ人民ノ所有スルモノデアリマシテ、他郡ノ人民ノ所有物ニナツテ居ルモノハ地價ニ於テ申シマスルト云フト僅ニ三千圓ヨリ外ニ他郡ノ人民ノ所有ニ係ツテ居ルモノハ無イ郡デアル、サウシテ仁多郡ノ人民ノ資産ハドウカト云フト島根縣下ニ於テ十五人ノ多額納稅者ノ内二人マヂハ仁多郡ニ居住シテ居ルト云フヤウナコトデアル、云フト僅ニ三千圓ヨリ外ニ他郡ノ人民ノ所有ニ係ツテ居ルモノハ無イ郡デアル、サウシテ仁多郡ノ人民ノ資産ハドウカト云フト島根縣下ニ於テ十五人ノアルデ決シテ貧窮ノ者ガ集ツテ一郡ヲ爲シテ居ルト云フ郡デハナイノデアル、ワレ故ニ仁多郡ノ人民カラ他郡ヘ出テ所有シテ居ル田畠山林等ノ地價ガド然ラバ貧富ノ懸隔ガ大ニ隔ツテ居ルデアラウト云フ御論モアリマセウガサウデナイ、全體仁多郡ノ人民ハ生活ノ度、富ノ度ガ中等以上ニ當ツテ居ルコトデヤウナコトデアル、右様ナ郡デアリマシテ此郡ハ隨分其資産ノ上ニ取リマシテハ不足ハアルマイト私ハ信シテ居ル次第アリマス、尙ホ又此郡ハ郡ノ基本財產ト申シマスモノモ既ニ五万圓許リハ蓄積ヲ致シテ居リマシテ追々之ヲ増殖シテ往ク所ノ方法等モ大ニ講ジテ居ルト云フヤウナ次第ノコトデアリ

マシテ長クハ申シマセヌガ右様ノ次第アリマスデ、幸ニ諸君ノ御贊同ヲ得マシテ獨立スルコトヲ得マシテナラバ大ニ郡民ノ多年ノ希望ヲ達スルノミナラズ、又經濟上ニ於キマシテモ郡ノ獨立ヲ維持スルコトガムゾカシイト云フ虞ハナイコトデアラウカト存ジマスデ贊言ナガラ聊カ私ノ見マス所又承ツテ居ル所ヲ述ベマシテ諸君ノ御参考ニ供シマス、此上ハ公平ノ御判断アランコトヲ希望致シマス

(村田保君演壇ニ登ル)

○村田保君 唯今千家君カラ致シマシテ、此出雲國ノ郡ノ獨立ノ事ヲ段々御述ベニナリマシタガ本員杯モ、是ハ至極千家君ノ言ハレル通ダト存シマス、何故ト申スノニ是ハ地方デ今迄一向サウ人民モ激動ヲ致シテ居リマセヌヤウデアリマス、地方人民ガ激動シテ居ラヌコトアリマスレバ、雙方是ハ協議上ト云フコトデゴザイマスレバ是ハ分離致シテ宜カラウト考ヘマス、併ナガラ此石見國遍摩郡安濃郡デス、是ハ成程先程委員長カラ述ベラレマシ通、又其他ノ諸君モ御存シテハアリマセウガ、實ニ此兩郡デハ非常ニ運動ヲシ殊ニ此遍摩郡ノ人民ハ非常ニ激昂シテ居ルヤウデアリマス、ソレト申スモノハ先日來アノ通り電報ハ數通參リ、或ハ書翰等モ參リマシテ餘程遍摩郡邊リハ容易ナラヌ激昂ヲシテ居ルヤウニ思ハレマス、併ナガラ本員杯ハ一向島根縣ニ關係ハゴザイマセヌカラ、何レニドウナリマシタ所ガ自分ノ身ニハ一向關係ハナイ、ドウ爲ツテモ宜イヤウナモノデアリマス、固ヨリ是ハ本員バカリデハナイ、満場ノ諸君モ、併シ或一二ノ御方ハ兎ニ角、満場ノ諸君一向關係ハナリ、何レニ爲ツテモ宜イヤウデゴザイマスガ、併ナガラ今雙方デ争ツテ居ルモノヲ何レニカ議サナケレバナラヌ、何レニカ極メナケレバナラスト云フコトニナリマスルトドウモ我ニモ黙ツテハ居ラレヌ、何カ言ハナクチヤアナラス、サウシテ見マスルト云フトドウモ是ハ公平ナル眼ヲ以テ、公平ナ考ヲ以テ、サウシテ極メルヨリ外ニ仕方ハナイト思フ、ソレデ此遍摩郡ニ安濃郡ト申シマスルモノハドウモ先程委員長カラシタ通數百年來今日デ一緒ニナツテ居リマシタ郡ノ様子デゴザイマス、先程丁度夫婦ノ關係ヲ言ハレマシタガ、成程本員杯モ丁度此今日遍摩安濃ヲ比ベテ見ルト夫婦ノ關係ノヤウナモノダト思フ、數百年來一緒ニナツテ來タモノヲ片方ヲ今突キ離シテ仕舞フ、サウ云フ譯デアツテ此丁度夫婦ノ關係ト同シ事デ、數百年來一緒ニ夫婦ニナツテ居タノヲ嫌ヤニナツタカラシテ女房ニ出テ行ケ、去ツテ仕舞ヘトスウ云フ形デ、片方ハ實ニ行カレテハ困ル、是非は其縋リ付イテモ居タノヲ片方ハモウ嫌ヤニナツタカラオ前ハ出テ行ケト云フ話ト同シ關係ヲ持ツテ居ルダラウト思フ、實ニ此本員杯ガ考ヘルト、此今日安濃郡ヲ離サウト云フノハ不人情極マツタコト、思フ、共ニ今日マデ一緒ニナツテ居タモノヲ之ヲ離サウト云フノハ餘程不人情ノ話デ、譬ヘテ言フト元ニ共ニニ困ツテタインノヲ片方ハモウ嫌ヤニナツタカラオ前ハ出テ行ケト云フ話ト同シ關係ヲカラ出テ行ケト云フノト同ジコトデスカラ、此一事ヲ以テモドウモ本員杯ハ分離サセルト云フコトハ餘程不人情極マツタ事ト思フ、固ヨリ是ハ其双方此居タカモ知レナイ、困ツテ居タケレドモ今日ハ自分がモウ相應ニ懷モ肥ヘタト思フガ、ドウモ嫌ヤダ一緒ニ居ルノハ嫌ヤダ兩方承知デ別レルノハ宜ガ、片方が嫌ヤダ、片方が引キ著イテ居ヤウト云フノヲ離スノハ無理ナ話

テ、是ハ實ニサウ云フ者ヲ分離サセルノハ無理デハナカラウカト思フ、ソレ
デ一體本員杯ガ考ヘマスニハ郡杯ト云フモノハ成ルタケ大キクシテ置クガ宜
シ、成ルタケ大キクスル、ソレヲ細カク割クト云フコトハ一體面白クナイ、
ソレデ先程委員長カラモ言ハレマシタガ、假令之ヲ分離シテモ一向事業上ニ
差支ハナイ、例へバ北海道移住民杯モ一緒デアル、道路モ一緒ニスルトカ云
フノデ、假令分離シテモ是マデノ通差支ハナイト言ハレタ、是ハ餘程間違
テ居ル、本員杯ノ考デハ之ヲ分離サセルコトニナリマシテハ事業ガ餘程小ク
ナル、大キク固ツテ居レバ大キイコトガ出來ルガ、ソレガ小クナツテハ兩方
デスルカラ事業ガ小サクナル、譬へテ見ルト二郡集タツノ郡役所ヲ拵ヘ
ルトカ、或ハ一つノ學校ヲ拵ヘルトカ、或ハ道路ヲ拵ヘルトカ云フトキニ之
ヲ一郡デスルノト二郡デスルノトハ、二郡合セテヤクタ方ガ大キクナル、其
他ノ事業モ其通デ之ヲ二郡別カレ、ハ縮マツテ大キイ事ハ出來ナイ、ソレ故
ニ成ルベク是ハ其サウ云フモノヲ分離シテサウシテ細カニシテ、力ヲ細クス
ルト云フヤウナコトハ好シクナイ事デアル、併ナガラ先程モ言フ通雙方共ニ
丁度夫婦ノ關係ノヤウナモノデ雙方添ツテ居ルト云フ場合ニハ仕方ガナイ、
ソレハドウモ仕方がゴザイマセヌケレドモ、一方ハ是非附イテ居タイ、一方
ハ不同意ナモノヲ無理ニ別ツト云フコトハ甚だ是ハ宜シクナイト思フ、ソレ
デ一體郡ノ廢置ト云フコトハ政府ヲ信用スルノガ最モ宜イト思フ、何ゼカト
云フニ是マデ政府ガ此案ヲ出サレマスルニハ相應ノ調べガアリマセウ、或ハ
地方長官ニモ照會シタコトモアリマセウ、サウシテ此末ニモアル通民情ト
カ或ハ地形トカ云フモノガドウシテモ之ヲ一郡ニシテ置クガ宜イト云フコト
ガ理由書ニモアリマスガ、ドウシテモ是ハ民情地形ト云フモノカラシテドウ
モ一緒にシテ置クノガ宜イト云フノデ政府ガ之ヲ出シタ、ソレ故ニ是ハドウ
モ政府案ガ私共ハ宜イト思フ、ソレノミナラズ一體郡ノ廢置トカ云フモノヲ
法律ニシテ議場デヤルノハ本來面白クナイ、行政處分ニ任セテ置イタ方ガ宜
シ、何ゼカト云フニ地方長官主務大臣ニ於テハ或ハ人が始終殖エルコトモ
アリ、減ルコトモアルカラ時ニ依リ或ハ合セルコトモアリ、或ハ別ケナケレバ
ナラヌコトモ出來ルカモ知レハセヌ、サウ云フ事ハ一體行政處分ニ任セテ置
クガ當然ト思セマスカラ、ドウゾ是ハ本員杯ハ成ル可ク之ヲ離サヌデ一ツニ
シテ置キタイト云フノガ本員ノ考デアルデス、ソレデ詰リ申セバ本員杯ハ一
口ニ申セバ今日コンナ事ヲスル必要ハナイ、數百年來今日マデ一緒ニナツテ
居ツタモノヲ別ツニハ及バヌ、矢張一緒ニシテ置クガ宜イト思フ、本員ハ實
ニ本案ノ如キハ不必要デアルト云フ考ヲ持ツテ居ル、併ナガラ此案ニ附キマ
シテハ本員ハ竊ニ承ツテ居ル、或ル一二ノ人が非常ニ運動ヲシテ居ツテ貴族
院中ニモ大層是ハ熱心ニ衆議院ノ修正ノヤウニシタイト言フテナンデモ朝晩
駆カ歩ルイテ居ル、サウシテ非常ニ澤山贊成ヲ得ラレテ居ルト云フコトヲ聞
キマシタ、ソレ故ニ本員ハ猶ホ更言ハナケレバナラヌト思ツテ此演壇ヘ登ツ
タクデ、其通段々運動ヲナシ、サウシテ大層ニ贊成者ガ有ルト云フコトデア
リマスカラ、假令本員ガ此所デ幾ラ言ツタカラト言ツテ到底多數ニハ爲リマ
スマイト思ヒマスカラ、是ハドウモ本員ガ黙ツテ居ツテモ定メテサウ云フ御
方ハ本員ニ對シテ反駁ノ御議論が出マセウト思ヒマス、其時ニ…
○子爵曾我祐準君
先ヅ村田君唯今ノ修正案トシテ其處デ御提出ニナツタラ

如何デス、此案ニ對シテハ修正案ト云フモノガマダ…
○村田保君 本員ハ此原案ヲ復活スル修正…
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 船越君ニ發言ヲ許シマシタ
○船越衛君 唯今村田君ノ御演説中ニ少シ私ガ申シタ主意ト達フヤウニ考ヘ
マスカラ一言致シテ置キマス、今ノ夫婦ノコトデゴザイマス、嫌ヤナモノヲ
強テ夫婦ニスルノハイカナイト斯ウ申シタノデ、今マデ夫婦ニナツテ居ルモ
ノヲ引ッ解カウト云フノデハナイ、是マデ連合シテ居ルダケデマタ本マノ夫
婦デナイ、雙方姓ヲ名乗ツテ言ハマア見合ヒトデモ言ヒマセウ
(村田保君) 所ガ數百年來一緒ニナツテ居ツタ場合デ…「ト述フ」

○船越衛君森山茂君同時ニ發言ヲ求ム
○船越衛君(侯爵蜂須賀茂韶君) 船越君ニ發言ヲ許シマシタ
○船越衛君 唯今村田君ノ御演説中ニ少シ私ガ申シタ主意ト達フヤウニ考ヘ
マスカラ一言致シテ置キマス、今ノ夫婦ノコトデゴザイマス、嫌ヤナモノヲ
強テ夫婦ニスルノハイカナイト斯ウ申シタノデ、今マデ夫婦ニナツテ居ルモ
ノヲ引ッ解カウト云フノデハナイ、是マデ連合シテ居ルダケデマタ本マノ夫
婦デナイ、雙方姓ヲ名乗ツテ言ハマア見合ヒトデモ言ヒマセウ
(村田保君) 所ガ數百年來一緒ニナツテ居ツタ場合デ…「ト述フ」

○村田保君 ソレナラバ宜シ
○森山茂君 村田君ニ一ツ御相談ガアリマス、私モ此案ニ就キマシテハ不贊
成ナノデ、就キマシテハ修正ト云フコトニナルト、原案ニ復スルノ話デアリ
マスガ、唯今其演壇ヘ御出マシニナリマシタニ附キマシテハ、第二讀會ニ付ス
ルヤ否ヤト云フコトニ就イテドウカ廢案ニシタイ、其所以ハ先刻政府委員モ
申サレル通又千家君ノ如キ實地ヲ御承知ノ人ガ郡ノ情實ハ紛糾シテ居ルト云
フコトヲ明言セラタ位ゴザイマスルカラ、是ハ何分責ニ任ジテ議案ヲ維
持スルカ此未紛争ガアツテハ人民ニ直接ノ利害ニ關係スルコトデアリマスカ
ラ内務省ニ於テモ地方ニ於テモ實地ニ調ヲシテ愈々分ツベキモノデアルヤ又
ハ合スベキモノデアルカト云フコトヲ調ベテカラ出スガ宜イ、何モ唯今之ヲ
決シナケレバナラヌト云フコトハナイト思ヒマスカラ、ドウカ第一讀會ノ終
ニ於テ第二讀會ニ移ルヤ否ヤト云フ時ニ否決シタイト考ヘル、万ソレガ成
立タナインラバ其時ニハ原案ニ復スルヨリ外ニ仕方ガナイ、我ニハ其紛争ノ
中ニ在ツテ如何トモ決スルコトガ出來マセヌカラ、矢張責任ヲ持ツテ居ル所
ノ政府案ニ同意スルヨリ仕方ガナイト云フコトニナリマスルカラ、ドウカ村
田君ニハソレダケニ御演説ガアツタ位ナラバ第二讀會ニ移ラスト云フ決議ニ
ナルコトヲ願ヒマス

○村田保君 ソレハアナタノ御考デ私ガ茲デ述べル譯ニハイカナインデゴザ
イマス
○船越衛君 森山君ニ一寸質問ヲ致シマスガ、森山君ノ唯今ノ御説ハ廢案ニ
スルカ或ハ原案ニ復スルカト云フ、廢案ヲ主トスルノカ分リマセヌカラ一言
○森山茂君 何デゴザイマスカ一寸分リマセヌ、希望ヲ述ベタノデゴザイマ
ス

○船越衛君 森山君カラ廢案等ニナリマシタナラバ地方ノ人民ハ困難シヤウ
ト思ヒマス、ト申スノハ唯今(聽取スルヲ得ス)ソレデ雙方互ニ望ヲ起シテ居
レバ若シ之ヲ此儘デ廢案等ニナリマスレバ地方ノ人民ハ矢張請願ヲシ種々競
争ヲシテ殊ニ空シク費用モ費シ、其極大ナル害ヲ生ジヤウト思ヒマス、ドウ
カ是ハ可決ニ爲ランコトヲ望ミマス

- 森山茂君 意見ヲ述ベテ宜シウゴザイマスカ
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今御意見ヲ御述ニナシタト思ヒマスガ
○森山茂君 唯今質問ト云フコトデゴザイマシタカラソレニ附キマシテ
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 質問ニ答ヘルノハ宜シウゴザイマス
○森山茂君 答ダケハ宜シウゴザイマスカ
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザイマス
○森山茂君 唯今船越君カラ御質問カ何カ出マシタガ其要領ヲ得ヌノデ、私
ハドウカシテ二讀會ニ移ル時ニ當クテ諸君ニ御立下サルナト云フコトヲ希望
致シマス、ソレハ現ニ互ニ紛争シテ居リマスルカラ政府ニ於テハ最モ能ク調
ベテカラデナケレバナラスト云フコトハ船越君ニ於テモ是位ノ事ハ大抵御熟
知ニアラウト思ヒマス、紛争シタカラ分ケルト云フコトニナシタラ小郡デモ
争フタラソレハ分ケナケレバナラスト云フコトニナリマス、デソレハ責任ヲ
持テ居ル人ガ分ケルガ宜イトカ分ケテハ宜クナイト云フコトヲ更ニ調べテ
出サル、ガ宜イト云フ我輩ノ考デアル
- 箕作麟祥君 一寸質問ヲ致シマスガ、起立スルナト云フ御注文デゴザイマ
スガ此島根縣出雲國島根郡秋鹿郡何ミ是等モ皆イケナイト云フ譯デゴザイマ
スカ
- 森山茂君 其通デゴザイマス、此ノ如ク紛争シテ居ルノガ一つノ議案デア
リマスカラ、争クテ居ル所ガ二ツ有リマス故ニ……
- 瀧口吉良君 唯今廢案說ガ出マシタカラ私ハ反對ノ意見ヲ述ベマス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 廢案說ト云フモノハ別ニ修正デモ何デモナイノ
デス
- 瀧口吉良君 ソレザヤ二讀會ノ時ニシマセウ
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本
案第一讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 村田保君 (議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ
子爵曾我祐準君 贊成
- 男爵楨村正直君 (此他「贊成」ト呼フ者多シ)
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス
○男爵千家尊福君 (此他「贊成」ト呼フ者多シ)
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、直ニ第二讀會ヲ開キマス、
是ハ短簡ナル案デゴザイマスニ依クテ全部ヲ問題ニ供シマス、朗讀ハ省略致
シマス
-
- 瀧口吉良君 (左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
島根縣出雲國島根郡、秋鹿郡及意宇郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ八束郡ヲ置ク
島根縣出雲國出雲郡、楯縫郡及神門郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ簸川郡ヲ置ク
- 附則
- 瀧口吉良君 (左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
成スルノ一人デゴザイマスルガ此元ノ政府ノ提出ノ原案ノ通ニ復活スルト云
フ村田君ノ御說ガ議題ニ爲リマシタニ附キマシテハ一言反對ノ意見ヲ述ベル
デゴザイマス、デ最早會期モ僅ニ二日ヲ餘スニ拘ラズ議案ガ堆積シテ居リ
- 田中芳男君 贊成
○子爵土方雄志君 贊成
○子爵曾我祐準君 贊成
○子爵林友幸君 贊成
○森山茂君 贊成
○子爵堤功長君 贊成
○子爵久留島通簡君 贊成
○子爵平松時厚君 贊成
○松本鼎君 贊成
○子爵鳥居忠文君 贊成
○子爵堀田正養君 贊成
○子爵京極高典君 贊成
○武井守正君 贊成
○子爵一柳末德君 贊成
○子爵本莊壽巨君 贊成
○侯爵細川護成君 贊成
○子爵長谷信篤君 贊成
○伯爵萬里小路通房君 贊成
○南鄉茂光君 (此他「贊成」ト呼フ者アリ)
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 村田君ノ修正意見ニハ定規ノ贊成ガゴザイマシ
テ問題トナリマス、依クテ此島根縣石見國邇摩郡及安濃郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以
テ石東郡ヲ置クト云フ一項ヲ置ク、斯ウ云フ修正ニナルノデゴザイマスニ依ク
テ是タケハ初ノ出雲國ト云フノト分割ヲシテ決ヲ採ル積デゴザイマス、唯今
ハ島根縣出雲國島根郡秋鹿郡云々ト云フノトソレト第二項ノ島根縣出雲國出
雲郡楯縫郡及神門郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ云々此二項ヲ問題ニ供シマス、念
ノタメニ申シテ置キマスガ、即チ此政府ノ原案ニアツタ所ノ仁多郡大原郡ヲ
云々是ハモウ消エテ居リマスルカラ今ノ二項ダケヲ問題ニ供シマシタノデゴ
ザイマス、……原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ唯今ノ村田君ノ修正說
ヲ問題ニ供シマス
- 瀧口吉良君演壇ニ登ル
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ唯今ノ村田君ノ修正說
ヲ問題ニ供シマス

マスカラ此理由ヲ長シク述べマシテ議場ノ妨ヲレテモ相成リマセカラ簡單ニ一言贊成ノ理由ヲ申述ベヤウト思ヒマス、此邇摩ト安濃ノ二郡ノ變更ノ事ニ就キマシテハ邇摩郡ト安濃郡ト互ニ意見ヲ異ニシテ居ルノデアリマスル、此邇摩郡ガ安濃郡ノ獨立ニ反對スルノ理由ト云フモノハ即チ邇摩郡ノ中ニ郡役所ガ有ル、郡役所ガ邇摩郡ノ中ニ有リマス、邇摩郡ノ利害ノ方カラ考ヘマスレバ獨立ニ反對スルト云フコトハ尤ト思ヒマス、ソレカラ又安濃郡ノ獨立ヲ欲スルノハ邇摩郡ハ元來一郡治ノ下ニ在ルニ拘ラズ人情ト云ヒ風俗ト云ヒ總テノ關係ヲ異ニシテ居ル、其一例ヲ申シマスレバ現ニ行政ノ區域ハ邇摩郡ト一區域ナルニモ拘ラズ裁判所ノ區域ヲ見マスレバ邇摩郡ノ區裁判所ノ管轄ト安濃郡ノ區裁判所ノ管轄ト異ニシテ居リマス、サウシマシテ邇摩郡ノ一管轄ニ安濃郡ガナリマシタナラバ裁判所ノアル所マデ四里五里デアルニ拘ラズ十里モアル區裁判所ノ管轄ニ甘ンジテ居リマス、是ハ即チ安濃郡ト邇摩郡ト人情ヲ異ニシテ居ル、ツノ證據アラウト思ヒマス、ソレカラシテ兎ニ角是マデ數百年來一郡治ノ下ニ立ツテ在ツト云フ邇摩郡カラ電報ヲ貰テ居リマスガ之ニ附イテハ私ノ脳髄ヲ刺戟シテ居リマスカラ事實ヲ取調べテ見マシタ所ニ一郡ハ委員長ノ報告ノ通決シテ數百年ノ間一郡治ノ下ニ支配サレクト云フ譯デハナイ、其二郡ノ外ニマダ邑知郡トカ那賀郡トカ云フモノヲ合シテ一つ代官ノ下ニ支配サレタコトハ舊藩治ノ頃有ルサウデアルガ此邇摩郡安濃郡ガ一郡治ニ支配サレタト云フコトハ明治維新後ノコトデアリマス、サウシマシテ兔ニ角舊來ノ關係ハドウアリマセウトモ舊來ノ關係カラシテ此廢置分合ノ判断ヲスルト云フヨリハ現在ノ事情カラシテ判断ヲスル方が必要デアラウト考ヘマス、丁度特別委員長ノ御報告ノアラタ通ニ實際今日ノ現在ノ事實ト云フモノヲ調べテ見マスルト二郡ノ間ガ決シテ協和シテナイ、軋轢ヲ生ジテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、ソレデ此二郡ノ軋轢ヲ生ジテ居ルニモ拘ラズ此軋轢ヲ生ジテ居ル二郡ヲ無理ニ合併シテ一郡ニスルト云フコトデ隣保團結ノ實ヲ全ウスルノ目的ヲ達スルコトガ出來マセウカ、決シテ其目的ヲ達スルコトハ出來ナイデアラウ、即チ此法案ノ出マシタノハ詰リ郡制ヲ施行スルタメノ準備ノ法案ト思ヒマスガ郡制ヲ施行スル上ニ附イテ之ヲ合併シテ隣保團結ヲ全ウシ郡ノ公益ノ實ヲ進メルコトガ出來マセウカ是ハ蓋シ木ニ縁ツテ魚ヲ求ムルガ如ク目的ヲ達スルコトハ出來ナカラウト私ハ信ズルノデアリマス、丁度一ツ二つぶノ中ニ水ト油ト云フ性質ノ違ツテ居ル物ヲ入レタヤウナモノデ此水ト油ト和合スルコトハ出來マイト思ヒマス、ドウシテモ性質ノ變ツタモノヲ圓滑ニ運用スルト云フコトハ出來マセウカ、決シテ出來ナイト思ヒマス、若モ今日斯ノ如ク兩郡ガ爭端ヲ開カナイ以前デアツタナラ免ニ角デアリマスガ既ニ一旦互ニ鎔ヲ削ツテ雙方共ニ費用ヲ掛ケテ運動スル今日ニナリマシタ上ハドウシテモ二郡ヲ一箇ニ集メマシテ圓滑ニ郡ノ行政ヲ行ツテ往カウト云フコトハ出來ナイト考ヘマス、ソレカラ又二郡ヲ割イテ獨立サセルト云フ議論ト云フモノハ獨立ノ資格ガアルヤ否ヤノ問題デアリマスガ、ソレニ附イテハ委員長ガ明瞭ニ統計ヲ舉ゲテ御話ニナッタヤウナ譯デ決シテ獨立ガ出來ナイコトハナイト信ジマス、ト言フモノハ二郡ノ段別地價等ヨリモ遙ニ小イ所ノ宮城縣ノ瓦理郡トカ玉造郡トカハ現ニ郡制ガ實施ニナツテ立派ニ獨立シテヤツテ居リマスカラ、ソレ等ニ比較シテ

考ヘマシテモ獨立ガ出來ナイコトハアリマスマイト思ヒマス、ソレカラシテ此獨立ノコトニシテ修正サレタノハ衆議院デ修正ヲサレタノデアリマス、衆議院ニ島根縣カラ選出サレタ代議士ガ幾人カ有リマセウガ残ラズ之ニ贊成シタヤウデ尙ホ院議ニ上ツタ時モ衆議院中ニ一人ノ反對モ無カツタ、斯ノ如キ事情ニ委シイ島根縣ノ代議士ガ贊成スルノミナラズ衆議院ニ一ノ異議者ガ無カツタト云フノモ即チ獨立シテ差支ノナイト云フ理由トシテ宜カラウト思ヒマス、殊ニ本月十八日ニ本院ニ於キマシテ安濃郡ノ獨立ノ請願ヲ採擇スベキモノトノ院議ハ通過シテ居ルデハゴザイマセヌカ、然ラバ今日ニ於テ之ニ反對シテ獨立ガ不都合デアルト言フテ反對スルハ前後撞著デアラウト信ジマスル、附キマシテハドウカ私ガ望ム所ハ此法案即チ衆議院修正案ノ通ニ満場ガ御贊成ニナリマシテ、ドウカ本月十八日ノ此院議ニ於テ獨立ノ請願ヲ可決セラレタ所ノ主意ヲ終始一貫スルヤウニ願ヒタインデアリマス、尙ホ之ニ附カラ安眠スルコトハ出來ナイヤウニナル、甚ダ無禮ナ仕方デアル、十分ニ陳述シタケレバ十分ニ陳述スル方法ガアルニモ拘ラズ電報ヲ寄越ス杯ト云フハ無禮ナコト、存シマス、又十八日ノ院議ガ有ルニモ拘ラズ、ソレニ反對ヲシテ政府ノ原案ノ通復活スルト云フコトハ受取ルコトノ出來ナイ説ト思ヒマス、ドウカ満場ノ諸君ニ於キマシテハ特別委員長ノ報告ノ通ニ御贊成下サルヤウニ敢テ希望致シテ置キマス○子爵曾我祐準君 本員ハ村田君ノ修正說ヲ贊成スル者デアリマスガ今其理由ヲ喋々辯ズル必要ハアリマセヌ、併ナガラ今瀧口君ガ過日請願ガ當院ヲ通過シテ居ル、サウシマシテ本院ノ議が撞著シテ居ルデハナイカ、十八日トカニ通過シテアルトスケ論ゼラレマシタ此論ニ附イテハ一言申シテ置キマセウト本員等修正案ヲ贊成スルノニ少シ理由ガ立タヌヤウデゴザイマスカラソレダケヲ辯シ置キマス此總テ請願ト云フモノハ如何デゴザリマス、是ハ政府ノ参考ニ出スノデアラテ必シモソリガ院議斯ノ如クナルベシ斯ノ如クナラザルベカラズト云フノ決議ヲ以テ何時モ請願モ通過スルモノデハナイ、政府ノ参考ノタメニ出スノデアル、貴族院ノ請願が通過スル毎ニ貴族院ガソレヲ熱心ニ贊成シタト云フ事實ハ無イノデアル、唯參考トシテ出スノデアル、ソレ故本員等假令十八日ニ請願書ガ通過シタルニモセヨ決シテ此村田君ノ修正案ニ贊成シテモ撞著セヌト心得居リマスカラ此コトヲ一言申シテ置キマス○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 表決ニ付シマス、村田君ノ修正說ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待チ下サイ……多數デゴザイマス
(「異議ヲ申立マス」ト呼フ者アリ)
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 氏名點呼ヲ行ヒマス
(書記官氏名點呼ヲ行フ)
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 氏名點呼ヲ行ヒマス
百二十三、可トスル議員五十九、否トスル議員六十四依ツテ修正ハ消滅致シ

第九 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許
可ニ關スル法律案(丁)(政府提出衆議院送付)

第十 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許
可ニ關スル法律案(戊)(政府提出衆議院送付)

第十一 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許
可ニ關スル法律案(己)(政府提出衆議院送付)

第十二 森林法案(政府提出衆議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
輸入羊毛海關稅免除法律案(衆議院提出)

第十四 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第十五 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第十六 社寺上地林保管法案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
國勢調査ニ關スル建議案(船越衛君外一名發議)

第十八 農商工會設置ニ關スル建議案(前田正名君發議) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第十九 神祇ニ關スル官衙設置ノ建議案(丸山作樂君外一名發議) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第二十 會議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本日ハ散會

午後六時一分散會